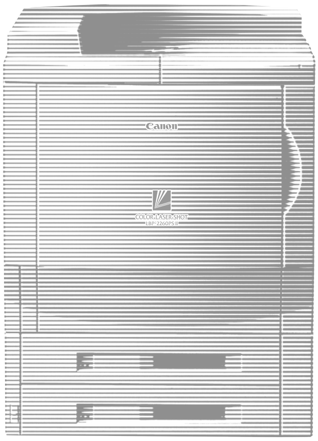
Canon

カラーレーザビームプリンタ

COLOR LASER SHOT
LBP-2260PS II

Adobe PostScript 3

COLOR LASER SHOT



はじめにお読みください

本体／オプション品 設置ガイド＆ネットワーク設定ガイド

お願い：
プリンタをお使いになるまえに、本書をよくお読みください。本文中の注意事項は必ずお守りください。
本書は、必要なときにすぐに取り出して読めるように大切に保管しておいてください。

マニュアルの構成について

キヤノン COLOR LASER SHOT LBP-2260PSIIをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本プリンタには、次のようなマニュアルが用意されています。目的に応じてマニュアルをお読みいただき、本プリンタを十分にご活用ください。また、マニュアルはお読みいただいた後も、大切に保管しておいてください。

本体添付のマニュアル

プリンタを設置したい
パソコンと接続したい
ネットワークと接続したい
→ **本体/オプション品設置ガイド&ネットワーク設定ガイド（本書）**



プリンタの基本的な使いかたを知りたい
困ったときには
→ **ユーザーズガイド**



プリンタドライバをインストールしたい
印刷したい
添付ソフトウェアの使いかたを知りたい
→ **ソフトウェアガイド**



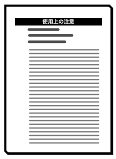
より詳しく知りたい
→ **プリンタ機能マニュアル**

操作パネルによるメニュー機能の使いかたなどを解説しています。プリンタが持つ機能に関するリファレンス的なマニュアルです。



最新情報や注意事項を知りたい
→ **使用上の注意**

本プリンタの設定や使いかたに関する最新情報や注意事項が記載されています。



その他のマニュアル

＊別売のマニュアルやオプション品のお求めについては販売店にご相談ください。

オプション品に付属のマニュアル

オプション品に付属されております取扱い説明書は、本プリンタ専用には記載されておりません。オプション品を本プリンタと合わせてご使用になる場合は、本プリンタに付属の取扱い説明書をご覧ください。

●本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
●本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

設置ガイドの使いかた

第1章　設置する前に　必ずお読みください

本プリンタを設置する前に必要な準備や、注意事項、オプションの概要を説明しています。

第2章　プリンタの設置　必ずお読みください

本プリンタをパッケージから取り出し、使えるようにするまでの手順を説明しています。

第3章　ネットワークの設定　必要に応じてお読みください

本プリンタをネットワークに接続する場合のネットワーク情報の設定方法を説明しています。

第4章　オプションの取り付け　必要に応じてお読みください

本プリンタの代表的なオプションの取り付けかたを説明しています。オプション品を取り付ける前に第1章「設置手順について」（→P.20～21）をお読みになり、オプション品の取り付け位置と設置手順をご確認ください。

付録　必要に応じてお読みください

本プリンタとオプション製品の主な寸法、保守契約制度のご案内を掲載しています。

お願い

● **オプションの使いかたについては、ユーザーズガイドをご覧ください。**

Canonは、本書の仕様に従って本製品を使用することが既存または将来の特許権を侵害しないと表明するものではなく、また本書の記述が同記述に基づく装置またはソフトウェアの制作、使用、販売の認可を意味すると表明するものでもありません。
本書記載のソフトウェアはCanonまたは同社の認可ライセンス会社からの書面による使用許可に基づいてのみ、所有、使用またはコピーが許可されるものとします。

Patents: 5,867,179; 5,835,788; 5,666,436; 5,553,200; 5,543,940; 5,537,516; 5,517,334; 5,506,946; 5,424,754; 5,343,311; 5,212,546; 4,941,038; 4,837,722; 4,500,919; D406,1170

商標

LASER SHOT はキヤノン(株)の登録商標です。
Canon、Canon ロゴ、Color Gear、LBP、 NetSpot はキヤノン(株)の商標です。

EFI、EFIロゴ、Fiery、Fieryロゴ、Fiery Driven、Fiery Drivenロゴ、EFICOLOR、ColorWise、Rip-While-PrintはElectronics For Imaging, Incの米国での登録商標です。AutoCal、Starr Compression、Continuous Print、Memory Mutlipier、VisualCal、NetWise はいずれも Electronics For Imaging, Inc. の商標です。

Acrobat、Acrobat Reader、Adobe、Adobe Illustrator、Adobe ロゴ、Adobe Persuasion、Adobe Photoshop、Adobe Type Manager、Aldus、Pagemaker、PostScript、PostScript3 は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。Apple、Apple LaserWriter、AppleTalk、ColorSync、Macintosh、True Type は Apple Computer, Inc. の商標または登録商標です。Centronics は Centronics Data Computer Corporation の商標です。Century Oldstyle、Century Schoolbook、Cloister Black、Goudy Oldstyle はKingsley-ATF Type Corporationの商標です。Dutch 801、Swiss 721、Snowcap、Bitstream Cataneo は Bitstream Inc. の商標です。EPS (Encapsulated PostScript)は Altsys Corporation の商標です。Ethernet は Xerox Corporation の登録商標です。IBM は International Business Machines Corporation の商標です。ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC Zapf Chancery、ITC Zapf Dingbats は International Typeface Corporation の商標です。Java は Sun Microsystems, Inc. の商標です。Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOS は Microsoft Corporation の米国およびその他の諸国における登録商標または商標です。Netscape および Netscape Navigator は Netscape Communications Corporation の商標です。NetWare と Novell は Novell Inc. の登録商標であり、Internetwork Packet Exchange (IPX)は同社の商標です。PANTONEはPantone, Inc.の登録商標です。ScrifaはFundiction Tipografica Neufville SAの登録商標です。Times と Helvetica は、Linotype-Hell AG およびその子会社、あるいはいずれかの商標です。UNIX は X/Open カンパニーリミテッドが独占的にライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。

本製品に含まれる、American Garamond、Century Oldstyle™、Dutch 801™、Goudy Oldstyle™、Bodoni、Century Schoolbook™、Clarendon、Poster Bodoni、Prima Serif、Serifa®、Prima Mono、Prima Sans、Swiss 721™、 ZapfHumanist 601、Bitstream Cooper Black、Exotic 350、Snowcap™、Bitstream Cataneo™、Commercial Script、Bitstream Roundhand、Staccato 222、Staccato 555、Ribbon 131、Cloister Black、Commercial PI、Symbol Proportional、Holiday PI、これらの書体はBitstream Inc.の1991-2000年の著作権で保護されており、同社によってキヤノン(株)に使用が許諾されています。

下記の書体名は株式会社モリサワとアドビシステムズ社が共同開発したフォントです。承認外の複製は禁止されており、それらの書体名は株式会社モリサワの商標です。
リュウミン L-KL、中ゴシック - BBB

その他の商標および登録商標はそれらを保有する各社の所有物です。

本書記載のソフトウェアは使用許可書または非開示合意書の元に提供されています。ソフトウェアは合意条件を遵守する場合にのみ使用またはコピーすることができます。

Apple Computer, Inc（以下 Apple 社）は、Apple ソフトウェアに関して、特定の目的に関する商品性や適合性についての黙示的保証を含み、明示的、黙示的を問わず何らの保証もしません。Apple 社は、Apple ソフトウェアの使用あるいは使用結果の正確さ、精度、信頼性、最新性、その他の保証をしません。Apple ソフトウェアの結果や性能に伴うリスクはすべてお客様の負担とさせていただきます。黙示的保証の適用除外は米国の州によって認められない場合があります。お客様にはこのような適用除外条項は適用されないこともあります。

Apple 社の役員、管理職、一般社員、代理人は、Apple 社のソフトウェアを使用した結果や使用できないことによって、お客様に、結果的、付随的、あるいは間接的な損害（業務上の利益の損失、業務の中断、業務情報の損失、その他の損害）が引き起こされた場合、仮にそのような損害の可能性についてApple社が知らされていたとしても、それに対する責任は負いません。米国の州によっては結果的または付随的損害の責任の適用除外や制限が認められない場合があり、その場合は、上記の制限条項がお客様に適用されないこともあります。

いかなる原因であれ、実際の損害についてのお客様に対する Apple 社の責任は、行為の形態に関係なく（契約違反、不法行為（過失など）、製造物責任、その他）50 ドルを上限とします。

日本国印刷

限定権利条項（米国においてのみ適用）

防衛機関の場合：限定権利条項。使用、複写、開示は252.227-7013の技術データとコンピュータソフトウェアの条文の補助条項(c) (1)(ii)に規定した限定内容に従うものとします。

民間機関の場合：限定権利条項。使用、複写、開示は52.227-19の商業コンピュータソフトウェア限定権利の条文の補助条項(a)から(d)に規定した限定内容、および本ソフトウェアに関するElectronics for Imaging, Inc.社の基準商業契約に規定した限定内容に従うものとします。文書に記載されていない権利は、合衆国の著作権法にもとづいて留保します。

FCC（連邦通信委員会）

ケーブル：本装置への接続はFCCの規範および基準を満たす金属製RFI/EMIコネクター付の密封ケーブルでなければなりません。

Electronics For Imaging, Inc. ソフトウェア使用許諾

本使用許諾書は、LBP-2260PSIIに内蔵されているか同梱のCDに含まれているElectronics For Imaging, Inc.または同社のサプライヤに所有権がある以下のソフトウェアおよびそのアップデート版またはアップグレード版にのみ適用されます。

<Windows95/98 ／ Windows NT4.0 ／ Windows 2000>
Windows 95/Windows 98：Adobe PostScript ドライバ
Windows NT 4.0：Adobe PostScript ドライバ
Windows 2000：Microsoft PostScript ドライバ
CMYK/PANTONE Color Reference Files：CMYK/PANTONE 色見本
Windows 95/Windows 98/Windows NT 4.0 ：インストーラ
autorun.inf
Adobe PostScript3 TrueType フォント
Adobe PostScript3 Type l フォント
Windows 95/98：Adobe Type Manager
ICC カラープロファイル

<Macintosh>
Adobe PostScript プリンタドライバ
CMYK/PANTONE 色見本
Adobe PostScript3 TrueType フォント
Adobe PostScript3 Type l フォント
和文スクリーンフォント
Adobe Type Manager
Adobe 欧文フォントダウンローダ
ColorSync ICC カラープロファイル

本書はお客様とElectronics For Imaging, Inc.（以下「Electronics For Imaging」という）とのあいだの法律上の合意です。Electronics For Imagingは、Adobe Systems Incorporatedが提供するPostScript(r)ソフトウェアなど、LBP-2260PSII（以下「プリンタ」という）に内蔵されているか同梱のCDに含まれているソフトウェア（以下「ソフトウェア」という）のサプライヤです。

CDの包装を開封する前に、必ず以下の諸条件をお読みください。この包装を開封すると、本使用許可書の諸条件の受諾を認めたことになります。本書の諸条件を受諾できないか受諾しない場合は、包装を開封せずに、プリンタの購入元に連絡し、購入元の指示に従ってください。

Electronics For Imagingはお客様に、以下の諸条件に基づいてソフトウェアを使用する非独占的使用を認めます。

以下の内容がお客様に認められています。

a.　本ソフトウェアは、お客様自身の日常業務のため、並びに本プリンタにおいてのみ使用できます。
b.　お客様自身の日常業務のためにのみ、本プリンタに同梱の、特別なコードフォーマット（以下「コード化フォントプログラム」という）によりデジタルコード化された機械語によるアウトラインプログラムとビットマッププログラム（以下「フォントプログラム」という）を使用して、文字、数字、記号のデザイン、書体、ウェイト、バージョン（以下「書体」という）を、本プリンタで使用するモニタ上に再生、表示できます。
c.　ソフトウェアから再生されるコード化フォントプログラムと書体を表示するために、Electronic For Imaging, Inc.の商標（以下「商標」）を使用できます。
d.　本プリンタの販売または譲渡の一環である場合に限り、本プリンタの受取人に本契約に基づくお客様のすべての権利を永久に譲渡できます。ただし、その場合には、以下の条件をすべて満たす必要があります。(i)アップグレード版も含め、ソフトウェアのコピーをお客様が保持しないこと、(ii)本プリンタに同梱されているアップグレード版も含めたソフトウェア、メディア、印刷物をすべて受取人に譲渡すること、(iii)受取人が本契約の条項に同意していること。

以下の内容はお客様には認められていません。

a.　プリント解像度600dpi以上で直接または間接的なあらゆるコピーの作成をするため、あるいは本プリンタ以外で使用するためにフォントや書体を生成する目的でソフトウェアを利用すること。
b.　お買上げいただいた本プリンタの使用に必要な場合を除き、ソフトウェア、コード化フォントプログラム、文書、あるいはそれらの一部のあらゆるコピーを作成すること、あるいはそれを許可すること。ただし、プリンタコントローラーボードのROMに組み込まれたソフトウェアの特定箇所については、全体一部を問わず、あらゆるコピーの作成を行うこと、あるいはそれを許可することはいかなる場合も認められません。
c.　ソフトウェア、コード化フォントプログラムを変更、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングすること。
d.　ソフトウェアをレンタル、リースすること。

財産権

ソフトウェア、コード化フォントプログラム、書体、商標、文書については、EFIとその供給元が持つものとし権利やその他知的財産権はEFIとその供給元が保有します。上記で認められた権利を除いて、本契約ではソフトウェア、コード化フォントプログラム、書体、商標、文書に関する特許権、著作権、営業秘密、（登録、未登録を問わず）商標、その他権利、フランチャイズ、ライセンスを認めません。EFI、あるいはその供給元の商標や商号と類似した、あるいは混同を生じさせるような商標や商号を創作したり使用すること、あるいはEFIやその供給元の商標権を損なうような行為をすることを禁じます。商標はコード化フォントプログラムのプリント出力を識別する目的にだけ使用できます。EFIから妥当と考えられる要求があった場合、お客様は商標で識別された書体の見本を提供するものとします。

守秘義務

お客様は、ソフトウェアとコード化フォントプログラムの秘密を守り、ソフトウェアとコード化フォントプログラムを使用する必要があると本契約で認められたお客様だけにソフトウェアとコード化フォントプログラムを開示するものとします。またお客様は第三者に対する開示を防ぐため、妥当と考えられる全ての予防措置を講ずるものとします。

救償

ソフトウェア、コード化フォントプログラム、書体、商標、文書を許可なしで使用、コピー、開示すると、本使用許可は自動的に中止され、EFIに対しては他の法律上の救済が適用可能となります。

限定保証

本ソフトウェアがお客様に頒布されてから90日間は、通常の使用形態の下では本ソフトウェアは使用不可能になるほどの致命的な異常なしに動作することをEFIは保証します。この保証の下でEFIの責任およびお客様に対する救済を行使するため（お客様がプリンタをEFIまたはEFIの正規の代理店に返却することを前提として）EFIの選択により、異常を回復しまたは正常化を目指して妥当と考えられる商業的努力を尽くすか、本ソフトウェアを同等の機能を有するソフトウェアと交換するか、あるいはお客様が製品に支払った代価を払い戻し本使用許可を中止させます。米国の州によっては黙示的保証の期間に関する限定を認めない所があり、その場合は上記の限定は適用されません。

上記の明示的保証を除き、製品について明示的、黙示的、あるいは法令にもとづく保証または条件をもEFIは設定せず、かつお客様はそれを受けることができません。特に特定目的に関する商品性、適合性について、いかなる黙示的保証や条件も放棄します。

保証サービスについては正規の代理店またはサポートセンターにお問い合わせください。

上記の明示的限定保証を除き、ソフトウェア、コード化フォントプログラムについて、明示的、黙示的、法令または本契約によって定められたいかなる条項、あるいはお客様との話し合いにもとづく保証または条件をもEFIは設定せず、かつお客様はそれを受けることができません。特に特定目的に関する商品性や適合性について、いかなる黙示的保証や条件も放棄します。EFIはソフトウェアが停止せずに動作すること、異常が存在しないこと、あるいはソフトウェアがお客様の特定の要件に適合することについては、これを保証しません。

限定責任

いかなる場合にも、ソフトウェアまたはコード化フォントプログラムから生じたデータの損失、利益の損失、回復費用、その他特別な、付随的、派生的、あるいは間接的損害をはじめとするあらゆる損害について、それがどのような事由によって引き起こされたものであり、その根拠としてどのような責任の理論があろうとも、Electronics For Imaging, Inc.またはそのサプライヤは責任を負いません。この限定条項はElectronics for Imaging, Inc.がそのような損害の可能性を知らされていた場合にも適用されます。本プリンタの価格はこのリスク配分を反映したものであることに同意するものとします。ただし、米国の州や管轄区によっては派生的、あるいは付随的損害賠償の責任の除外や限定を認めないところがあるため、その場合は上記の限定は適用されません。

輸出管理

お客様はいかなる形態であれ、アメリカ合衆国と当該国政府の許可なしにソフトウェアやコード化フォントプログラムを輸出、再輸出しないことに同意するものとします。本条項に従わない場合は、本契約の実質的な違反となります。

政府による使用

合衆国政府による使用、複写、開示はDFARS 252.227.7013の技術データとコンピュータソフトウェアの条文の補助条項(c) (1) (ii)、あるいはCFR52.227-19の商業用コンピュータソフトウェアー限定権利条項の補助条項(c) (1) と(2)に規定した限定内容が適用できる場合、それらに従うものとします。

第三者受益者

カリフォルニア法人 Adobe Systems Incorporated（以下 Adobe 社）（住所：345 Park Avenue, San Jose, California 95110-2704）は、本契約によって使用許可が得られるフォント、コード化フォントプログラム、書体、商標などのユーザ使用に関して本契約に規定される条項の範囲で、本契約における第三者受益者であることをここに通知します。以上の条項はAdobe社の利益のために明示的に設定されたものであり、EFI以外にもAdobe社がこれを行使することができます。

解約

お客様が本契約の諸条件を遵守しない場合は、その他のいっさいの権利を損なうことなく、EFIは本契約を解約することができます。その場合、お客様にはアップグレード版も含め、ソフトウェアのすべてのコピーを破棄する義務があります。

一般条項

本契約はカリフォルニア州法に準拠します。

本契約はお客様と Electronics For Imaging とのあいだの完全な合意であり、本ソフトウェアおよびコード化フォントプログラムに関するその他の通知や広告に代わるものとします。

本契約の一部の条項が無効になった場合でも、本契約のそれ以外の部分は効力を有します。

本契約に関して疑問をお持ちの場合は、Licensing Dept. 気付けで Electronics For Imaging, Inc. まで書面でご連絡いただくか、Electronics For Imaging のウェブサイト、www.efi.com をご覧ください。

お客様はここに、本書がエンドユーザであるお客様と Canon Inc. ではなく、Electronics For Imaging とのあいだのソフトウェア、フォントプログラム、コード化フォントプログラム、書体、商標に関する法律上の合意であることを明示的に認めることになります。Electronics For Imagingは、上記の限定保証に関して単独かつ最終の責任を有し、キヤノン（株）、その子会社または系列会社、代理人、販売店、取扱店はいずれもソフトウェア、フォントプログラム、コード化フォントプログラム、書体、商標に関する責任を有しません。

Electronics For Imaging
303 Velocity Way
Foster City, CA 94404

包装を開封する前によくお読みください。

キヤノンソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、COLOR LASERSHOT LBP-2260PSII（以下「プリンタ」という）に同梱のＣＤに含まれている、キヤノン株式会社に所有権があるカラーマッチングソフトウェア「ColorGear」とネットワークマネジメントソフトウェア「NetSpot」（以下総称して「ソフトウェア」という）にのみ適用されます。

本契約はお客様とキヤノン株式会社（以下「キヤノン」という）とのあいだのライセンス契約です。ＣＤの包装を開封する前に、必ず本契約をお読みください。ＣＤの包装の開封をもって、お客様は本契約に同意したことになります。お客様が本契約に同意できないかまたは同意しない場合は、ＣＤの包装を開封せずに「プリンタ」の購入元に連絡し、購入元の指示に従って下さい。

１．使用許諾

(1)　キヤノンは、お客様に対して、「プリンタ」とともにのみ「ソフトウェア」を使用する非独占的ライセンスを許諾します。
(2)「プリンタ」の販売または譲渡の一環である場合に限り、「プリンタ」の譲受人に本契約に基づくお客様のすべての権利を永久に譲渡することができます。ただしその場合には、以下の条件の全てを満たす必要があります。(i)お客様が「ソフトウェア」のコピーを保持し続けないこと、(ii)「ソフトウェア」のすべてと本契約を「プリンタ」の譲受人に譲渡すること、および(iii)「プリンタ」の譲受人が本契約の条項に同意していること。
(3)　本契約に明示的に定める場合を除き、お客様は「ソフトウェア」を第三者に譲渡、再実施許諾、販売、賃貸、リース、貸与もしくは譲渡すること、または「ソフトウェア」を翻訳もしくは他のプログラミング言語に変換してはならないものとします。
(4)「プリンタ」の使用に必要な場合を除き、お客様が「ソフトウェア」もしくはその一部分のいかなるコピーを作成すること、もしくは作成させること、またはそれらを許可してはならないものとします。
(5)　お客様は「ソフトウェア」を改変、修正、逆アセンブル、逆コンパイルまたはリバース・エンジニアリングすること、および第三者にこのような行為をさせてはならないものとします。
(6)　お客様は「ソフトウェア」に含まれているキヤノンの著作権表示を修正、移動または除去してはならないものとします。
(7)　お客様は、アメリカ合衆国または外国政府の必要な許可なしに、「ソフトウェア」を直接または間接に輸出または再輸出しないことに同意するものとします。
(8)　本契約に明示的に定める場合を除き、キヤノンのいかなる知的財産権も、明示たると黙示たるとを問わず、キヤノンによってお客様に許諾あるいは譲渡されるものではありません。

２．サポートおよびアップグレード

キヤノン、キヤノンの子会社および関係会社、それらの販売代理店および販売店は、お客様による「ソフトウェア」の使用を支援することについて、いかなる責任も負うものではありません。「ソフトウェア」に対してアップグレード、バグの修正あるいはサポートがなされることはありません。

３．限定保証および補償の否認

限定保証：「ソフトウェア」は、商品性および特定目的への適合性の黙示的な保証を含め、明示たると黙示たるとを問わずいかなる保証もなしに、「AS-IS（現状のまま）」の状態で提供されるものとします。「ソフトウェア」の品質および性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。「ソフトウェア」に欠陥があることが判明した場合、お客様がすべての必要なサービスまたは修正のすべての費用を負担するものとし、キヤノン、キヤノンの子会社および関係会社、それらの販売代理店および販売店は一切の費用を負担しないものとします。

キヤノン、キヤノンの子会社および関係会社、それらの販売代理店および販売店は、「ソフトウェア」に含まれる機能がお客様の要求に適合すること、または「ソフトウェア」の操作に中断またはエラーが発生しないことを保証するものではありません。ただしキヤノンは、領収書あるいはその他のものによって証明されるお客様の購入日から９０日の間は、通常の使用の下では「ソフトウェア」が記憶されているＣＤに物理的な欠陥が発生しないことを保証します。

顧客の救済：キヤノン、キヤノンの子会社および関係会社、それらの販売代理店および販売店のすべての責任およびお客様の唯一の救済は、上記の限定保証を満たしていないＣＤの交換です。お客様が本条項に基づきＣＤの交換を求める場合、キヤノンの子会社であるキヤノン販売株式会社にご連絡下さい。但し、上記の限定保証は、事故または「ソフトウェア」の誤用から生じたＣＤの不具合については適用されません。また「ソフトウェア」のオリジナルの被許諾者以外のいかなる者にも拡張されることはありません。

付随的損害に対する免責：「ソフトウェア」、その使用またはその使用不能から生ずるいかなる損害（事業利益の喪失、事業情報の損失、事業の中断またはその他の付随的もしくは派生的損害を含むがこれらに限定されない）について、キヤノン、キヤノンの子会社および関係会社、それらの販売代理店および販売店はその責任を負わないものとします。たとえキヤノン、キヤノンの子会社および関係会社、それらの販売代理店および販売店が、かかる損害の可能性を知らされていた場合も同様です。

補償の否認： キヤノン、キヤノンの子会社および関係会社、それらの販売代理店および販売店は、「ソフトウェア」またはその使用が自らの知的財産権を侵害していると主張する第三者によってなされるいかなる請求または訴訟に対し、お客様を補償する義務を一切負わないものとします。

４．期間

本契約は、ＣＤの包装を開封した時点で発効し、本契約が終了するまで有効に存続します。お客様は、「ソフトウェア」およびその複製物のすべてを破棄および消去することによって、本契約を終了させることができます。また、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、本契約は終了します。その場合、キヤノンは自らが持つ法律上の権利を行使できるとともに、お客様は「ソフトウェア」およびその複製物のすべてを速やかに破棄するものとします。

５．U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS NOTICE: The Software is a "commercial item," as that term is defined at 48 C.F.R. 2.101 (Oct 1995), consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (Sept 1995). Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.72024 (June 1995), all U.S. Government End Users shall acquire the Software with only those rights set forth herein. Manufacturer is Canon Inc./30-2, Shimomaruko 3-chome, Ohta-ku, Tokyo 146-8501, Japan.

６．一般条項

本契約のいかなる条項が無効となった場合でも、本契約のそれ以外の部分は効力を有するものとします。

ＣＤの包装の開封をもって、お客様は本契約を読み、理解しかつ本契約の条件に同意したことを承認するものとします。お客様はさらに、本契約が「ソフトウェア」に関するお客様とキヤノンとのあいだの完全かつ唯一の合意の声明であり、口頭あるいは書面による、すべての提案、従前の契約またはその他のお客様とキヤノンとのあらゆるコミュニケーションに代わるものであることに合意するものとします。本契約のいかなる修正も、キヤノンの正当に授権された代表者による署名がなければ発効しないものとします。

本契約に関してご不明の点がございましたら、キヤノン販売株式会社に書面にてご連絡いただきますようお願い申し上げます。

開封前に必ずお読み下さい。

弊社では、ソフトウェア製品について、ライセンス契約を設けており、お客様がライセンス契約にご同意された場合にのみソフトウェア製品をご使用いただいています。お客様がお買い上げになったプリンター製品に同梱されるソフトウェア製品のパッケージを開封する前に、下記契約を十分にお読み下さい。ソフトウェア製品のパッケージを開封された場合には、お客様が下記契約にご同意いただいたものとします。下記契約にご同意いただけない場合には、ソフトウェア製品のパッケージを未開封のままお買い上げいただいた販売店に速やかにご返却ください。

ソフトウェア製品ライセンス契約

本契約は、お客様とキヤノン株式会社（以下、キヤノンといいます。）との間の契約です。キヤノンは、お客様がお買い上げになったプリンター製品（以下、「プリンター製品」といいます。）に同梱されたCD-ROMのTrueTypeディレクトリに格納されている表示用フォント（以下、「表示用フォント」といいます。）、CIDディレクトリに格納されているプリンタ内蔵用フォント（以下、「内蔵用フォント」といいます。）および「内蔵用フォント」の「プリンター製品」へのダウンロード・プログラム（以下、「ダウンローダー」といいます。）（以下、これらを併せて「許諾ソフトウェア」といいます。）について、非独占ライセンスを下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意頂くものとします。「許諾ソフトウェア」およびその複製物に関する権利はキヤノンまたはキヤノンのライセンサーに帰属します。

１．ライセンスの許諾

(1)　お客様は、「プリンター製品」と直接またはLANを介して接続されたコンピュータ上に「表示用フォント」をインストールし、使用することができます。
(2)　お客様は、「内蔵用フォント」を「プリンター製品」にダウンロードして使用することができます。
(3)　お客様は、「内蔵用フォント」を「プリンター製品」にダウンロードする目的および「表示用フォント」を(1)のコンピュータにインストールする目的にのみ、コンピュータ上で「ダウンローダー」を使用することができます。
(4)　お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用または利用させることはできません。
(5)　お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また、第三者にこのような行為をさせてはなりません。

２．保証の否認・免責

(1)　キヤノンおよびキヤノンの販売店は、「許諾ソフトウェア」に瑕疵が無いこと、「許諾ソフトウェア」がお客様の特定の目的のために適当であることまたは有用であること、もしくはその他「許諾ソフトウェア」に関していかなる保証もいたしません。
(2)　キヤノンおよびキヤノンの販売店は、「許諾ソフトウェア」の複製、使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、「許諾ソフトウェア」の複製、使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

３．輸出

お客様は、日本国政府または関係各国の政府より必要な認可等を得ることなしに、全部または一部を問わず、「許諾ソフトウェア」を直接または間接に輸出できません。

４．契約期間

(1)　本契約は、お客様が「許諾ソフトウェア」の格納されたCD-ROMのパッケージを開封した時点で発効し、下記(2)または(3)により終了するまで有効に存続します。
(2)　お客様は、キヤノンに対して30日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。
(3)　キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。
(4)　お客様には、本契約の終了後直ちに、「許諾ソフトウェア」およびそのすべての複製物を廃棄または消去していただきます。

５．一般条項

(1)　本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分には影響を与えないものとします。
(2)　本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

以上

キヤノン株式会社

目次

第 3 章　ネットワークの設定

第 4 章　オプションの取り付け

付 録

本書の読みかた

■マークについて

本書では、絶対にしないでいただきたいことや注意していただきたいこと、参考にしていただきたいことの説明には、次のようなマークを付けています。これらのマークの箇所は必ずお読みください。

警告

● 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意

● 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

お願い

● 操作上必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。

メモ

● 操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

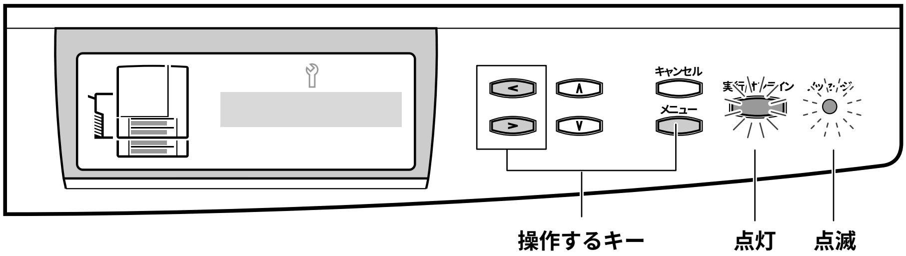
■キーの表記について

本書の説明文中で、操作パネルのキーを表すときは、キーの名称を ◯ の枠で囲んでいます。

例) メニュー : 操作パネルの「メニュー」キーを表しています。

■イラスト内のキーやランプ表示について

本書の説明文中に使用している操作パネルのイラストで、ランプの状態は次のように表しています。



■略称について

本書では、Microsoft® Windows® を Windows と記述しています。
COLOR LASER SHOT LBP-2260PSII を LBP-2260PS と記述しています。

設置サービスのご案内

本プリンタの設置は、本体＆オプション品設置ガイドおよびユーザーズガイドをご一読いただくことで簡単に行えますが、設置について不安な場合、遠隔地に設置をご希望される場合には、専門のサービスマンが設置を有償で行います。本プリンタをお買い求めの販売店などへ依頼してください。
また、2000枚ペーパーデッキ、2×500枚ペーパーデッキ、2×500枚ペーパーデッキ-C1L、本プリンタ専用ペディスタル、7ビンソータを7ビンソータ用ペディスタルに取り付けて使用する場合は、専門のサービスマンが設置します。ご購入の際は、本プリンタをお買い求めの販売店に設置を依頼してください。お客様による設置はできません。

無償保証について

・本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より6ヶ月です。
・定期交換部品は無償保証の対象外となります。定期交換部品については、ユーザーズガイド　付録「定期交換部品のご案内」をご覧ください。
・無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

第 1 章

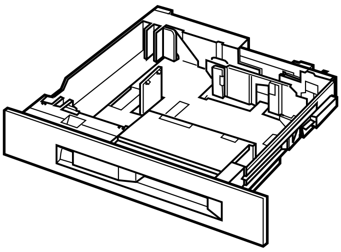
設置する前に

オプションについて

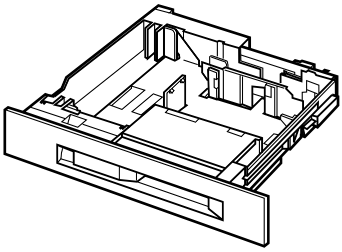
本プリンタの機能をフルに生かしてお使いいただくために、以下のオプション品を用意しています。
必要に応じてお買い求めください。オプション品の詳細やご注文については、本プリンタをお買い上げになった販売店にお問い合わせください。

■ 500枚カセット（→ P.116）

B5またはA5の用紙を縦送りするための給紙カセットです。用紙サイズ毎に2種類の専用給紙カセットが用意されており、普通紙（64g/m²）を最大で500枚までセットできます。プリンタ本体の上段カセット（カセット1）および2×500枚ペーパーデッキの上段カセット（カセット3）と差し替えて装着します。



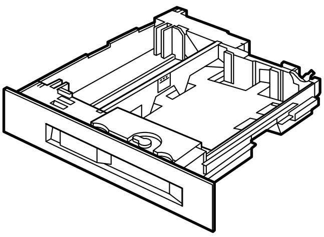
500枚カセット CS-82 B5R



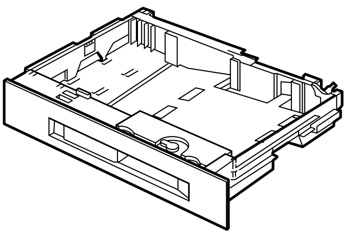
500枚カセット CS-82 A5R

■ 500枚ユニバーサルカセット（→ P.116）

標準カセットと同等の用紙サイズ変更が可能な給紙カセットです。500枚ユニバーサルカセット UC-82は、A4/B4/レター/リーガルサイズの定形用紙、500枚ユニバーサルカセット UC-82Kは、A4/B4/A3/レター/リーガル/11X17サイズの定形普通紙を最大で500枚（64g/m²）までセットできます。



500枚ユニバーサルカセット
UC-82



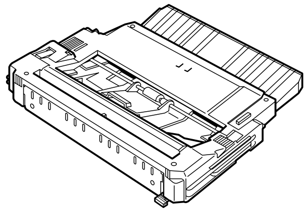
500枚ユニバーサルカセット
UC-82K

■両面ユニット（→ P.119）

（→ P.119）

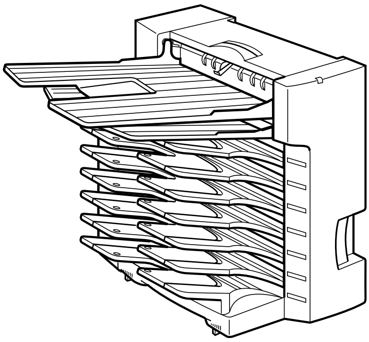
両面プリントを可能にするためのユニットです。定型サイズ（A5R、B5R、A4、B4、A3、レター、リーガル、11x17）の用紙に両面プリントができます。両面ユニットは、本プリンタの内部に取り付けます。

両面ユニット DU-82



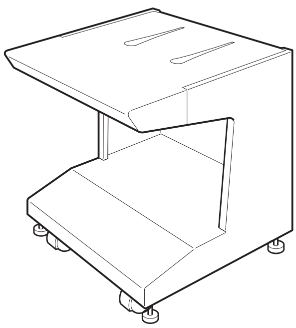
■ 7 ビンソータ -H1（→ P.132）

7つのビンを装備した7ビンソータユニットです。それぞれのビンには約120枚まで積載可能で、7つのビンをさまざまに使い分けて排紙することができます。7ビンソータはサブ排紙トレイを取り外し、プリンタ本体側面に装着します。7ビンソータ装着時は、オプションコントローラの取り付けとプリンタ本体とは別のコンセントが1つ必要です。



■ 7 ビンソータ用ペディスタル

2000枚ペーパーデッキまたは2×500枚ペーパーデッキ装着時に、7ビンソータを装着するための専用台です。ペディスタルを固定するためのアジャスタと7ビンソータを開くためのスライドトレイが付いています。

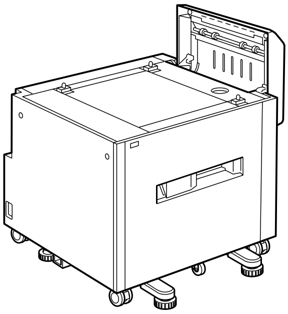


■ペーパーデッキ

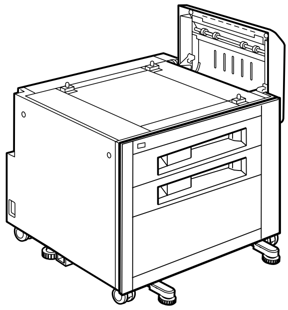
ペーパーデッキは、給紙元を増設するためのプリンタ本体の下に装着するユニットです。2000 枚ペーパーデッキと 2 × 500 枚ペーパーデッキ、2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L の 3 種類があり、いずれか 1 つを装着できます。2000 枚ペーパーデッキを装着すると、A4/B4/A3/ レター / リーガル /11x17 サイズの普通紙を約 2000 枚までセットできます。2 × 500 枚ペーパーデッキまたは 2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L を装着すると、500 枚給紙カセットを 2 つ追加することができます。

ペーパーデッキには、キャスターとプリンタを固定するためのアジャスタ、ペーパデッキを安定させるための転倒防止脚が付いています。また、ペーパデッキ装着時は、オプションコントローラの取り付けとプリンタ本体とは別のコンセントが 1 つ必要です。

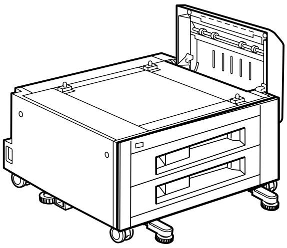
2000 枚ペーパーデッキ -N1



2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1



2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L

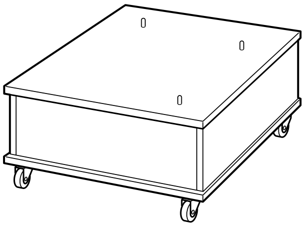


お願い

- **2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L と 7 ビンソータを組み合わせて使用することはできません。**
- **2000 枚ペーパーデッキ、2 × 500 枚ペーパーデッキ、2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L、本プリンタ専用ペディスタル、7 ビンソータを 7 ビンソータ用ペディスタルに取り付けて使用する場合は、専門のサービスマンが設置します。ご購入の際は、本プリンタをお買い求めの販売店に設置を依頼してください。お客様による設置はできません。**

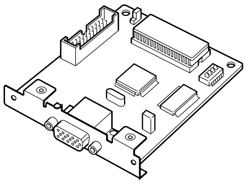
■ペディスタル

本プリンタを、操作しやすい高さで設置するための専用台です。キャスターとプリンタを固定するためのアジャスタが付いています。



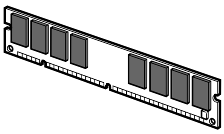
■オプションコントローラ -A1（→ P.127）

オプションの 2000 枚ペーパーデッキ、2 × 500 枚ペーパーデッキ、2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L、7 ビンソータを使用するときに必要なコントロールボードです。



■拡張 RAM（→ P.123）

本プリンタのメモリ容量（標準 64MB）を拡張するための RAM です。本プリンタには RAM 増設口が 3 つあり、メモリ容量を最大 256MB（64MB × 3 枚増設時）まで増加できます。

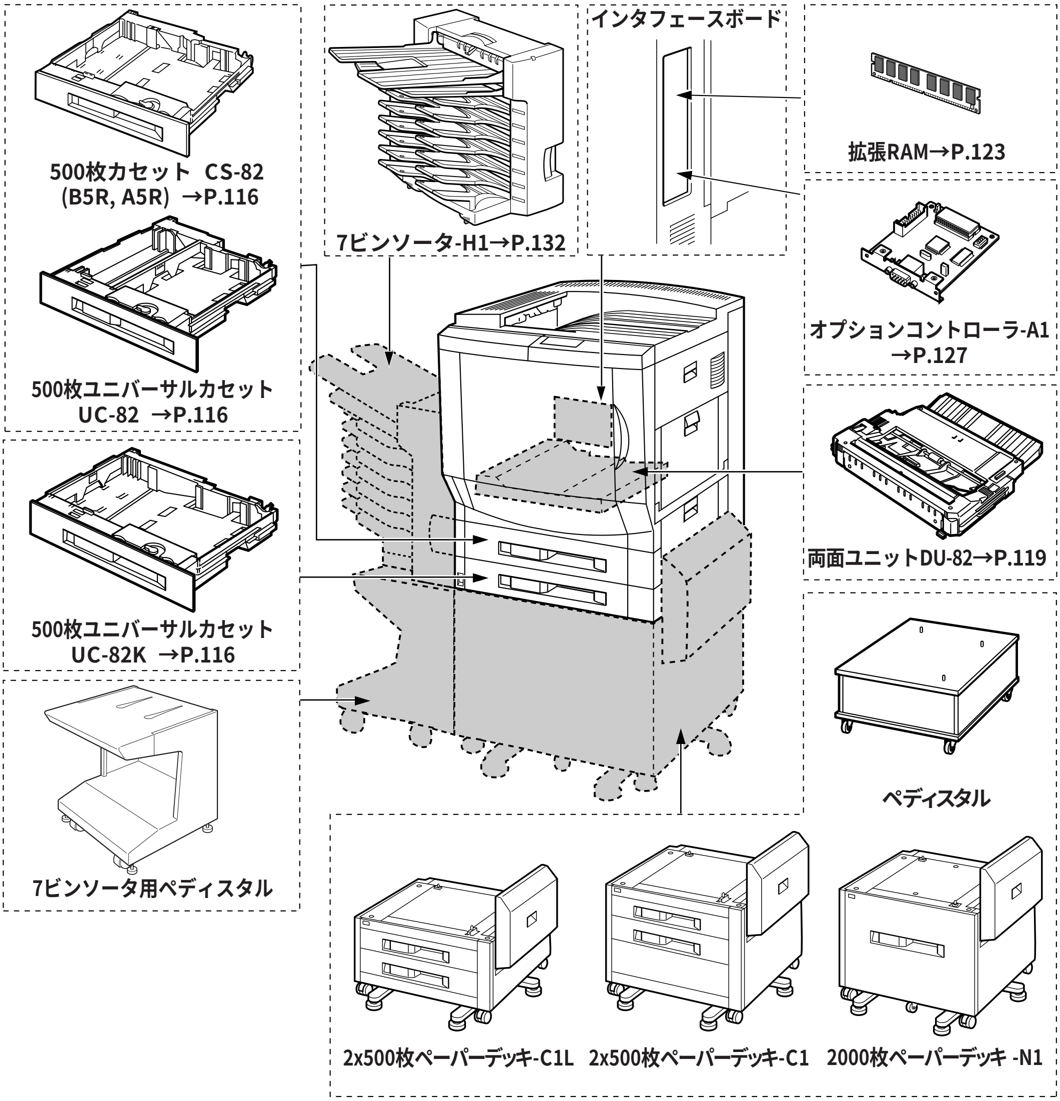


64MB RAM（RD-64MP）

設置手順について

本プリンタは、オプションの装備状態によって、設置する手順が多少異なります。お買い求めになったオプションの内容を確認し、次表の手順で作業を行ってください。

■オプションの取り付け位置



■設置の手順

1 プリンタ本体の設置 P.28

2 電源ケーブル、アース線の接続 P.37

3 K（ブラック）トナーカートリッジのセット P.42

4 ドラムカートリッジのセット P.45

5 カラートナーカートリッジのセット P.48

6 用紙のセット P.53

7 （オプション品）
オプションコントローラの取り付け P.127
RAMの取り付け P.123

8 （オプション品）
両面ユニットの取り付け P.119

9 （オプション品）
7ビンソータの設置 P.132

10 本体とオプションの接続 P.138
本体とパソコンの接続 P.57

メモ

- お客様の設置状況に合わせ、手順に沿って該当する作業を進めてください。装備しないオプション品の手順は読みとばしてください。
- 2000枚ペーパーデッキ、2×500枚ペーパーデッキ、2×500枚ペーパーデッキ-C1L、本プリンタ専用ペディスタル、7ビンソータを7ビンソータ用ペディスタルに取り付けて使用する場合は、専門のサービスマンが設置します。ご購入の際は、本プリンタをお買い求めの販売店に設置を依頼してください。お客様による設置はできません。

設置場所について

本プリンタを安全かつ快適にご使用いただくために、十分なスペースが確保でき、風通しがよく、平坦で水平な場所を選んで設置してください。

お願い

● **本プリンタを設置する前に、付属の「⚠安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。**

設置環境

■設置場所の温度／湿度条件

温度、湿度が以下の範囲内の場所でご使用ください。

- **周囲温度：10 ～ 30℃**
- **周囲湿度：20 ～ 80%RH（結露のないこと）**
- **本プリンタのある部屋を急激に暖めた場合や、本プリンタを温度や湿度の低いところから高いところへ移動した場合、プリンタ内部に水滴が生じる（結露現象）ことがあります。このような場合、本プリンタを周囲の温度や湿度に慣らすために、1時間以上放置してからご使用ください。**
- **プリンタ内部に水滴が生じると、用紙の搬送に不具合が起り、紙づまりの原因となったり、プリント不良となることがあります。また、「サービスコール nn-nn」（nn は2桁の数字）というメッセージが表示され、プリント処理が停止することがあります。（→ユーザーズガイド　第4章「メッセージが表示されたときは」）**

- 超音波加湿器をご使用のお客様へ -
超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。

■電源環境

本プリンタの最大消費電力は1030W* 以下(AC100V, 50/60Hz ± 2Hz)です。電気的なノイズや許容範囲を超える電源電圧の降下は、本プリンタだけでなく、パソコン本体の誤作動やデータ消失の原因となることがあります。電源を取るときは、次のような点にご注意ください。

- **必ず 15A 以上のコンセントから、プリンタの電源をお取りください。**
- **一つのコンセントを本プリンタ専用にしてください。同一コンセント上の他の差し込み口は使用しないでください。**
- **パソコン本体の補助コンセントから電源を取らないでください。**
- **複写機やエアコン、シュレッダーなど、消費電力の大きな機器や電気的ノイズを発生する機器と同じコンセントから電源を取らないでください。**
- **お使いの電源について不明な場合は、ご契約の電気会社またはお近くの電気店などにご相談ください。**

* 起動時の瞬間的なピークを除いた値です。

警告

● **感電防止のため、必ずアースコードを専用のアースに接続してください。なお、アースコードは絶対にガス管や水道管、電話線のアース、避雷針などには接続しないでください。感電の原因になります。**

■設置できない場所

本プリンタは次のような場所に設置しないでください。おもわぬ火災や故障の原因となることがあります。

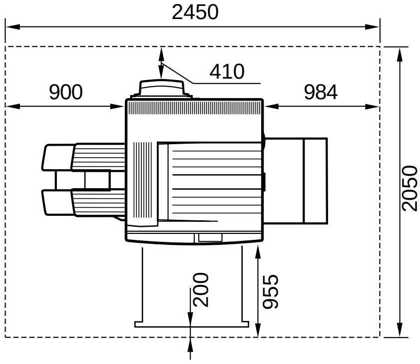
- **直射日光が当たる場所や高温な場所**
- **急激な温度変化や湿度変化がある場所**
- **風通しの悪い場所**
- **火気や水気のある場所**
- **振動がある場所**
- **ほこりが多い場所**
- **磁気や電磁波を発生する機器の近く**
- **実験室など、化学反応を起こすような場所**
- **空気が塩分や、毒性のガスを含んでいるような場所**

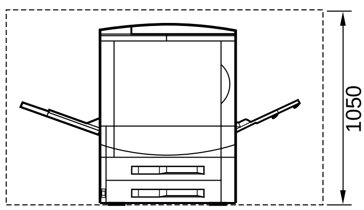
設置スペース

本プリンタの周囲には、次のような空間を確保し、本プリンタの質量に耐えられる場所を選んでください。各部の寸法、および周囲に必要な寸法、足の位置は次のようになっています。（単位は mm）

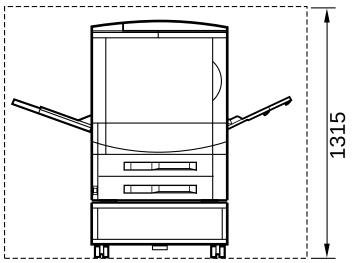
■周囲に必要なスペース

●標準状態

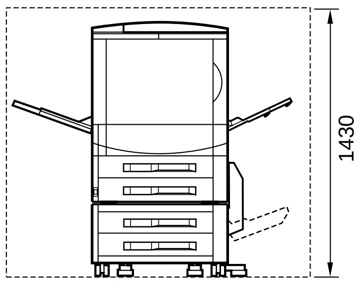




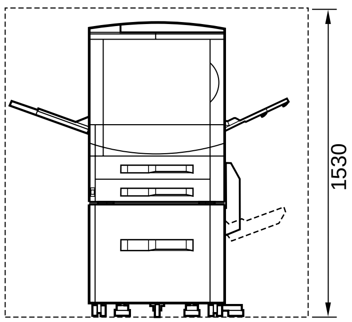
●ペディスタル装着状態



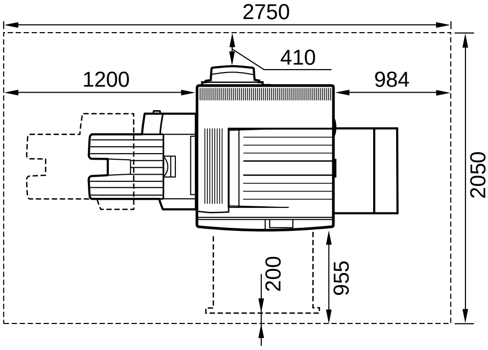
● 2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L 装着状態

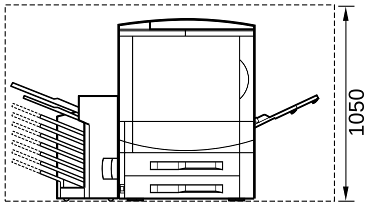


● 2000 枚ペーパーデッキ -N1 または 2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1 装着状態

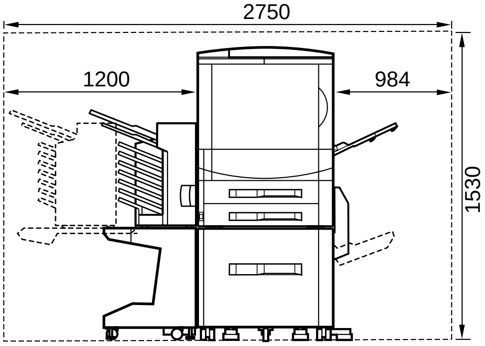


●7 ビンソータ -H1 装着状態



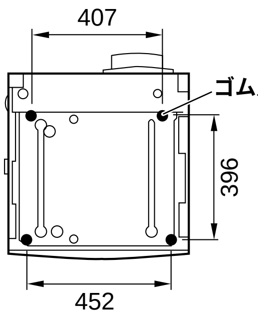


●7 ビンソータ -H1 ＆ 7 ビンソータ用ペディスタル＆ペーパーデッキ装着状態

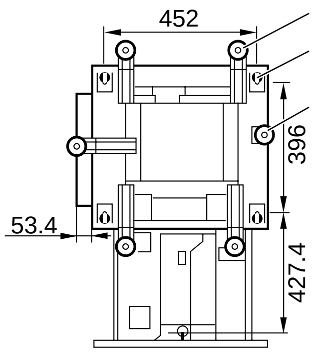


■足の位置

●本体底面のゴム足の位置



●ペーパーデッキのキャスター、アジャスタ、
転倒防止脚アジャスタの位置

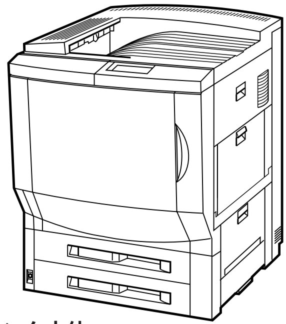


第 2 章

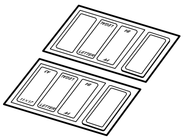
プリンタの設置

パッケージの内容を確認する

プリンタを設置する前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているかどうかを確認してください。万一不足しているものや損傷しているものがあった場合には、お買い上げの販売店までご連絡ください。

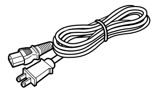


プリンタ本体
（給紙カセットが取り付けられています。）

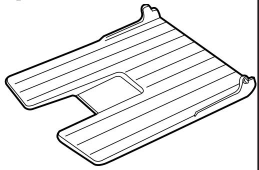


用紙サイズ表示カード

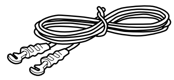
エンジンキット



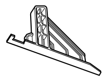
電源コード



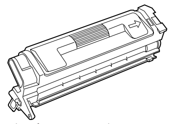
サブ排紙トレイ
（フェイスアップトレイ）



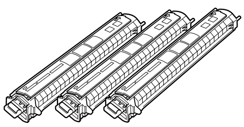
アースコード



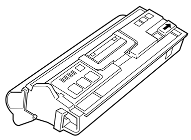
部材（定着器加圧レバー
下げ忘れ防止用）



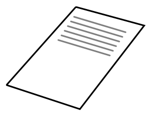
K（ブラック）
トナーカートリッジ



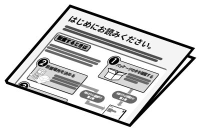
C（シアン）、M（マゼンタ）、
Y（イエロー）トナーカートリッジ



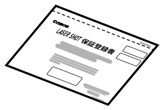
ドラムカートリッジ



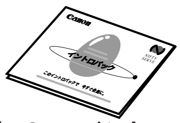
同梱の部材について



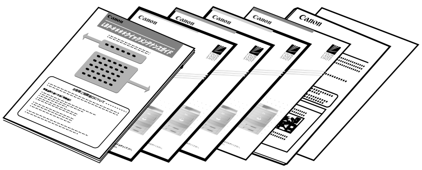
マニュアルガイド



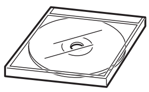
保証登録書／封筒セット



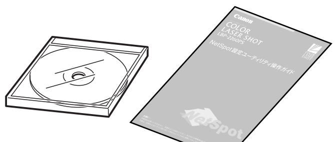
Nifty-Serveイントロパック



クイックメンテナンスガイド
本体/オプション品設置ガイド＆ネットワーク設定ガイド
ユーザーズガイド
プリンタ機能マニュアル
ソフトウェアガイド
⚠安全にお使いいただくために
使用上の注意



User Software CD-ROM
- **Windows用プリンタドライバ**
- **Macintosh用プリンタドライバ**
- **和文フォント**
- **欧文フォント**
- **フォントダウンローダ**



NetSpot設定ユーティリティガイド
NetSpot CD-ROM
- **Windows用NetSpot**
- **Macintosh用NetSpot**

メモ

- **本プリンタのパッケージは、プリンタ本体と消耗品等が入っているエンジンキットの２つのパッケージで構成されています。**
- **本プリンタには、インタフェースケーブルは付属していません。お使いのパソコン、または接続方法に合わせてご用意ください。**
- **オプション製品については、第1章「オプションについて」(P.16)をご覧ください。**

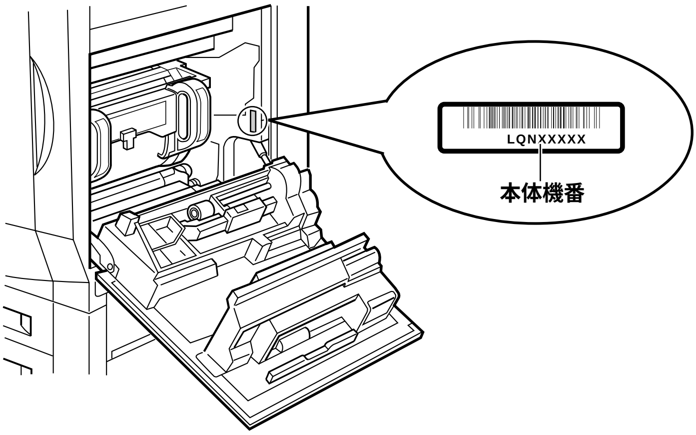
本体機番の表示位置について

本プリンタの保守やサービスをお受けになるときは、本体機番が必要になります。本プリンタの本体機番は、下図の位置に表示されています。

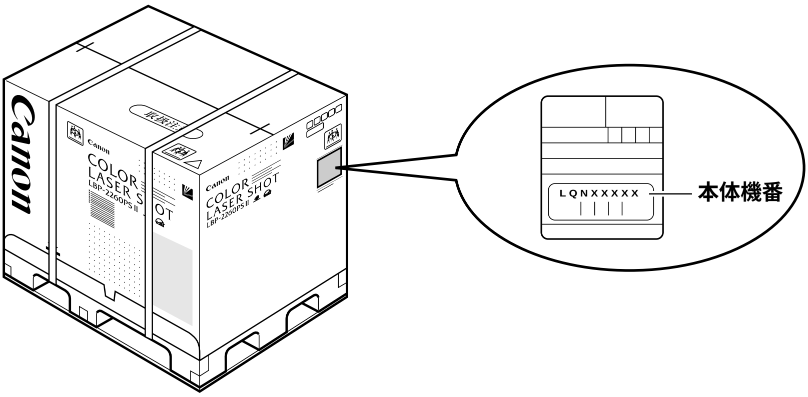
お願い

- 本体機番が書かれたラベルは、サービスや保守の際の確認に必要です。絶対にはがさないでください。

●本体右カバー内



●梱包箱外側

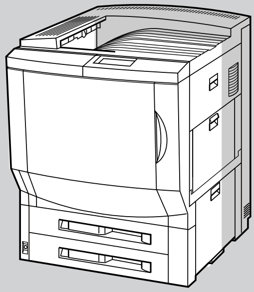


設置場所に運ぶ

設置場所が確保できたら、本プリンタをパッケージから取り出し、設置場所へ運びます。

注意

- 本プリンタは、本体のみで約 84.2kg あります。必ず 4 人で、腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 本プリンタは、本体背面側が重くなっています。持ち上げるときにバランスをくずさないように注意してください。
- 絶対に、給紙カセットなど、把手以外の部分を持たないでください。プリンタを破損したり、落下してケガをするおそれがあります。



お願い

- 2000 枚ペーパーデッキ、2 × 500 枚ペーパーデッキ、2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L、本プリンタ専用ペディスタルを取り付けるときは、本体をパッケージから取り出す前に、ペーパーデッキまたはペディスタルを設置場所に設置してください。
- 2000 枚ペーパーデッキ、2 × 500 枚ペーパーデッキ、2 × 500 枚ペーパーデッキ-C1L、本プリンタ専用ペディスタル、7ビンソータを7ビンソータ用ペディスタルに取り付けて使用する場合は、専門のサービスマンが設置します。ご購入の際は、本プリンタをお買い求めの販売店に設置を依頼してください。お客様による設置はできません。
- プリンタ本体のみを設置する場合は、本体の重さに耐えられる机などに設置してください。
- 階段を使うような移動が必要な場合は、本体のみの場合でも、必ず専門の運送業者に依頼してください。

1

プリンタ本体をパッケージから取り出します。

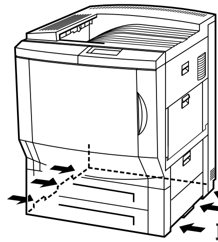
お願い

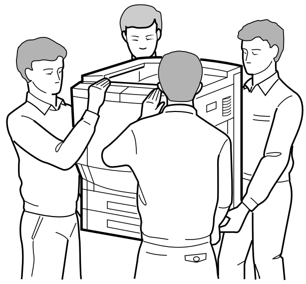
- プリンタ本体の取り出し作業は、周囲に十分なスペースがある広い場所で、必ず 4 人で行ってください。

2

プリンタ本体を設置場所へ運びます。

プリンタ本体は、図のように本体両側面下部の取っ手に手を掛け、必ず4人で持ち運んでください。





お願い

● **給紙トレイやカバーを止めてあるテープやスペーサなどの梱包材は付けたままで持ち運んでください。**

3

設置場所にゆっくりとおろします。

注意

● **手を挟まないように、ゆっくりと慎重にプリンタ本体を設置場所におろしてください。**

お願い

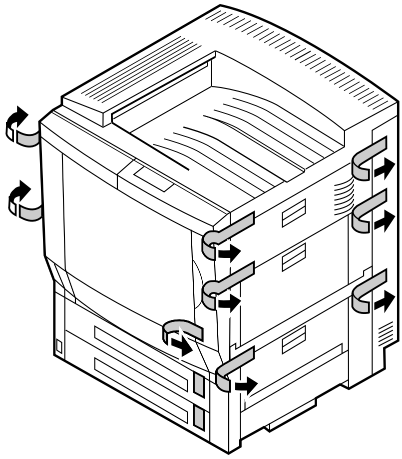
● **オプションの取り付けやケーブルの接続などを行うためのスペースを確保しておいてください。**

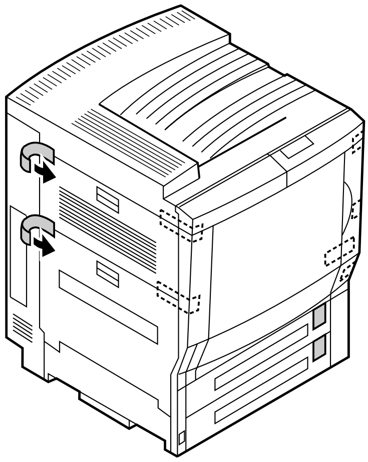
梱包材を取り外す

本プリンタには、輸送時の振動や衝撃から装置を守るために保護テープやスペーサ、ストッパなどの梱包材が取り付けられています。設置場所へ運んだら、これらの保護テープやスペーサ、ストッパを取り外してください。

1

前カバーや左右のカバー、給紙カセットなどを止めているテープを取り除きます。

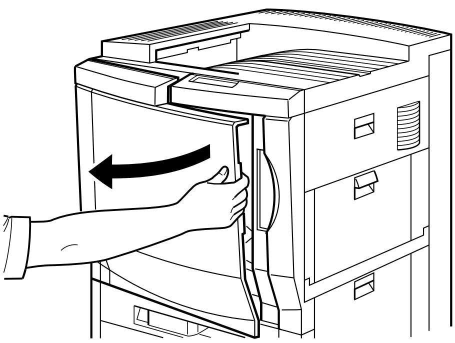




2

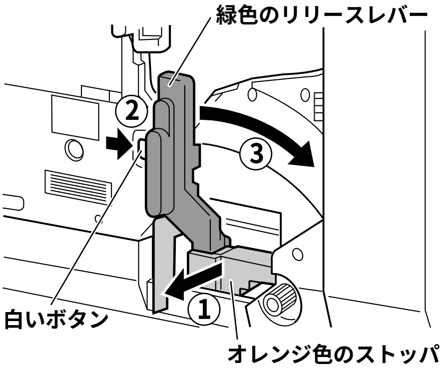
前カバーを開きます。

前カバーは、図のように手をかけ、手前に引くと開きます。



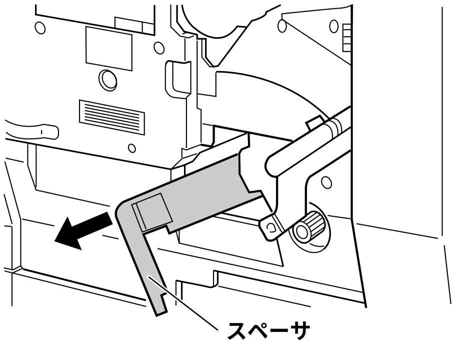
3

①のストッパ（オレンジ色）を取り除き、②の白いボタンを押し込みながら③の緑色のリリースレバーを矢印の方向へ倒して開きます。



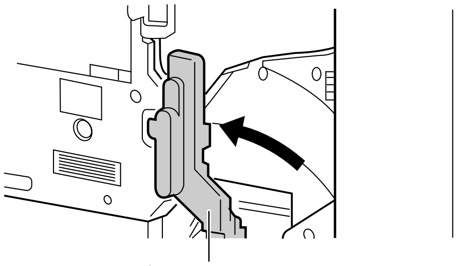
4

スペーサを引き抜いて、取り除きます。



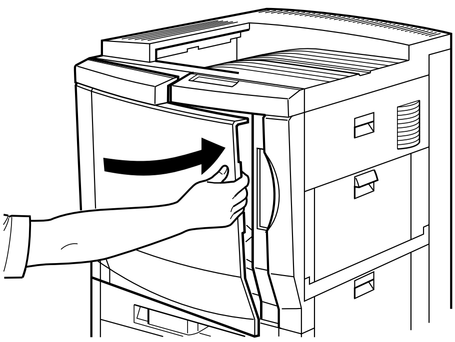
5

緑色のリリースレバーを元の位置へ戻します。



6

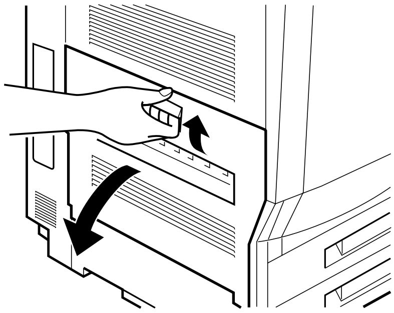
前カバーを閉じます。



7

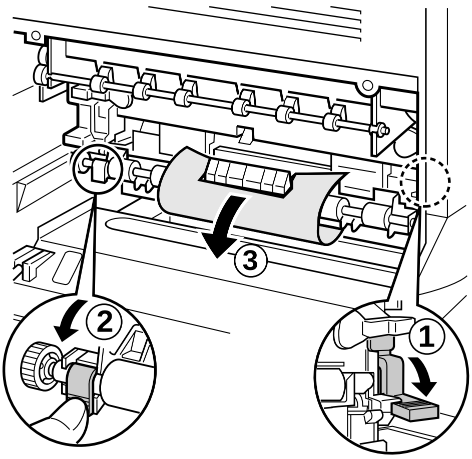
左下カバーを開きます。

左下カバーは、ハンドルに手をかけ、奥のレバーを手前に引くとロックが外れます。そのままゆっくりと下まで開きます。



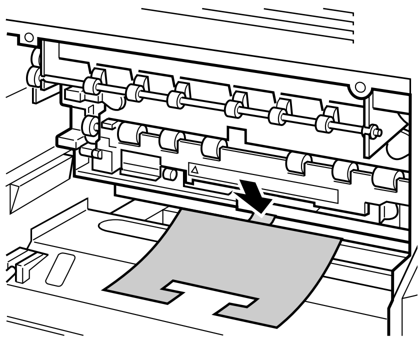
8

定着器右側の加圧解除レバー①と定着器左側の緑色のレバー②を下げ、保護フィルムを手前に引きます③。



9

保護フィルムを抜き取ります。



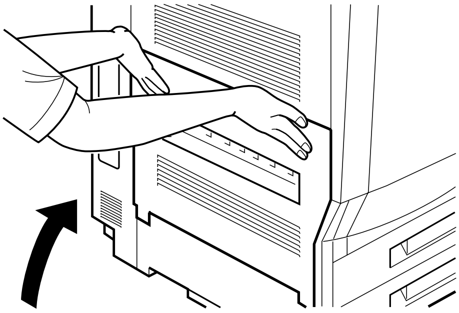
お願い

- **必ず、保護フィルムの注意文をよく読み、加圧解除レバーを下げてから保護フィルムを抜き取ってください。**

10

左下カバーを閉じます。

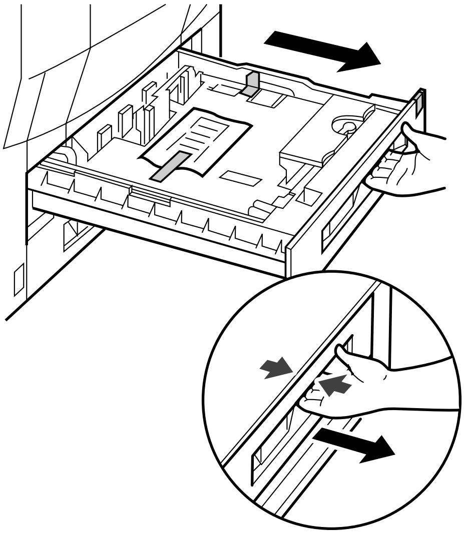
カチッと音がするまで両手でしっかりと押さえて閉じてください。



11

給紙カセットをいっぱいに引き出します。

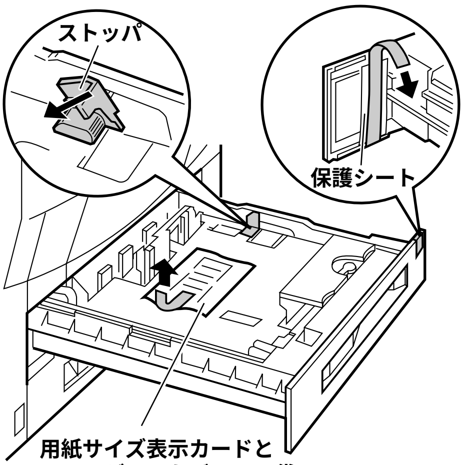
給紙カセットは、前面のハンドルに図のように手を入れ、奥のロックレバーを引いて引き出します。止まるまでいっぱいに引き出してください。



12

給紙カセット内部のストッパと保護シート、ビニール袋を取り除きます。

ストッパは、カセット内の金属プレートを押し下げながら、ストッパを左奥方向へ倒して取り外します。



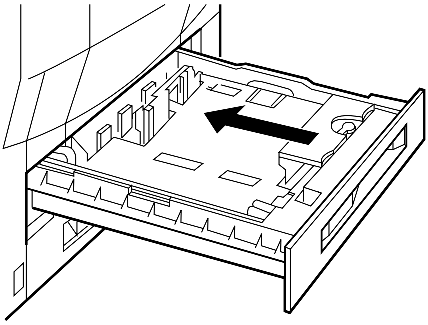
お願い

● **ストッパや保護シート、ビニール袋は、上段、下段両方の給紙カセットに取り付けられています。必ず両方の給紙カセットを引き出し、残さずに取り除いてください。**

13

給紙カセットをしっかりと奥まで押し込みます。

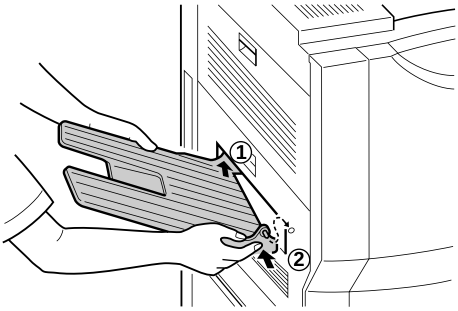
給紙カセットの前面が、プリンタの前面と合うまで、しっかりと奥まで押し込んでください。



14

本体左側面に、サブ排紙トレイ（フェイスアップトレイ）を取り付けます。

サブ排紙トレイは、左側のタブをプリンタ本体のスロットに入れ①、右側のタブを内側に軽く押しながらプリンタ本体のスロットに入れて②、取り付けます。



お願い

- **本体内部にスペーサやストッパが残っていると、プリント動作時に印字不良やプリンタが損傷する原因となりますので、必ず残さずに取り除いてください。**

メモ

- **取り外したストッパやスペーサは、移転や移設、修理などの輸送時に必要になります。無くさないように保管しておいてください。**

電源コードを接続する

電源コードとアースコードを接続します。接続する際には付属の「⚠安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

⚠ 警告

次の事項を必ず守ってお使いください。守られない場合、火災や感電の原因になります。

- **電源スイッチがオフになっていることを確認してから作業を行ってください。**
  感電防止のため、必ずアースコードを専用のアースに接続してください。なお、アースコードは絶対にガス管や水道管、電話線のアース、避雷針などには接続しないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- **電源電圧や周波数の許容範囲は、AC100V±10%（50/60Hz±2Hz）です。本プリンタの最大消費電力は1030W以下（起動時の瞬間的なピークを除いた値）です。**
- **必ず15A以上のコンセントから、プリンタの電源をお取りください。一つのコンセントを本プリンタ専用にしてください。同一コンセント上の他の差し込み口は、使用しないでください。**
- **電源コードの上にものを置いたり、踏んだりしないでください。**
- **電源コードやケーブル、本体内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。**
- **電源プラグを抜きやすいように、コンセントの回りには物を置かないでください。**
- **電源コードを抜くときは、必ずプラグの部分を持ってください。電源コードの部分を持って抜かないでください。**
- **発火するおそれがありますので、電源コードを束ねたままで使用しないでください。**
- **延長コードの使用はできるだけ避けてください。やむをえず使用する場合は次の注意をお守りください。**
  a. 延長コードの使用定格電流を越えないようにしてください。
  b. 延長コードはできるだけ短いものを使用してください。
  c. 延長コードをつなぎ合わせて使用することは絶対におやめください。

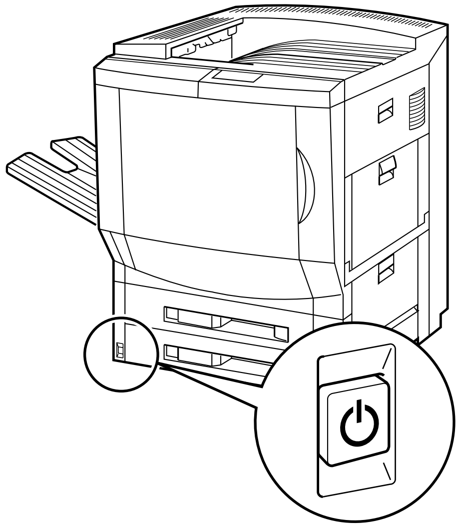
お願い

- **アース線を接続するときは、プリンタ、パソコン双方とも接続を行ってください。片方だけ接続すると、機器間に電位差が生じ故障の原因になることがあります。**

1

プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認してください。

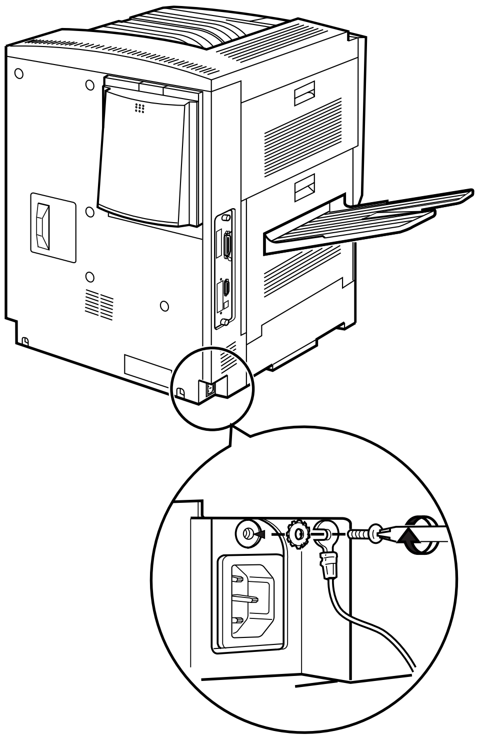
電源スイッチは、飛び出した状態になっています。



2

アースコードを接続します。

アースコード接続部のネジをゆるめて取り外し、付属のアースコードをネジ止めします。



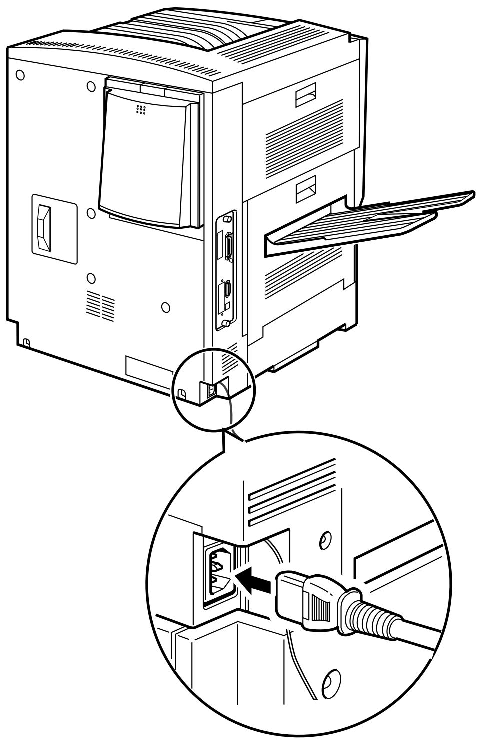
お願い

● **アースコードが、電源コード接続部にかからないようにアースコードの向きに注意してください。**

3

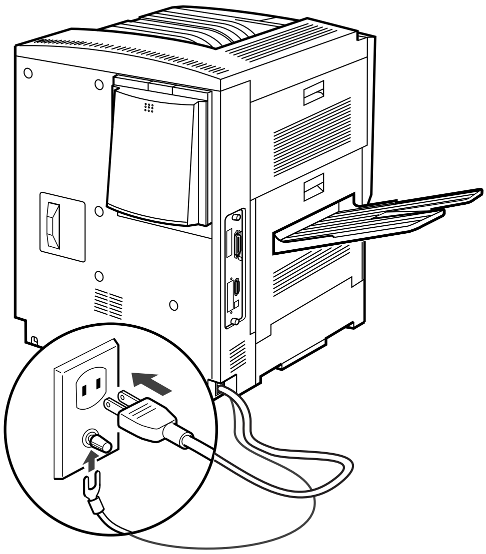
電源コードを接続します。

電源コード接続部に、付属の電源コードをしっかりと差し込みます。



4

電源コードをコンセントに、アースコードを専用のアース端子に接続します。



注意

- **必ず、アースコードを接続してください。アースコードが接続されていないと、万一漏電した場合、感電の原因となることがあります。**

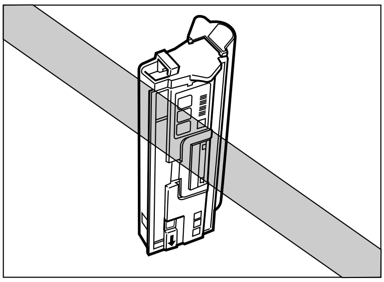
カートリッジをセットする

本プリンタは、工場出荷状態ではトナーカートリッジやドラムカートリッジは取り付けられていません。本プリンタを初めて使用される場合、必ずエンジンキットに同梱されているK（ブラック）、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）の4色のトナーカートリッジ、およびドラムカートリッジを取り付けてください。
トナーカートリッジやドラムカートリッジは精密な機構の部品で構成されています。また、光に対して非常に敏感です。取り扱いを誤ると、内部の感光ドラムが劣化し、印字品質が低下します。

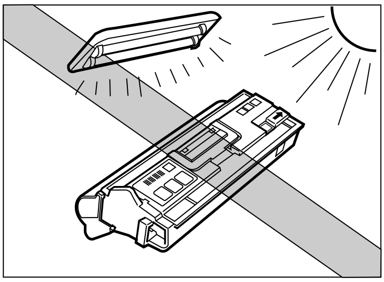
お願い

ドラムカートリッジを取り扱う際には、次の点に注意してください。

- **ドラムカートリッジは、本体にセットするまでは保護袋から出さないでください。またメンテナンスなどのために使用中のカートリッジを本体から取り外したときは、すみやかに遮光用の保護カバーを取り付けてカートリッジが入っていた保護袋に入れてください。**
- **ドラムカートリッジは、感光ドラムの品質が劣化しますので、絶対にドラム保護シャッターを開けないでください。**
- **ドラムカートリッジを立てたり、裏返したりしないでください。必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。**



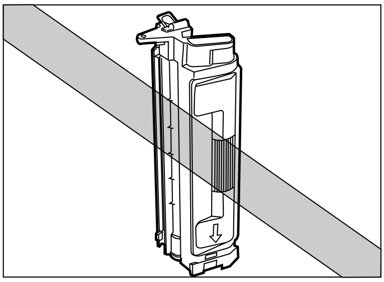
- **ドラムカートリッジは、絶対に直射日光や強い光に当てないでください。**



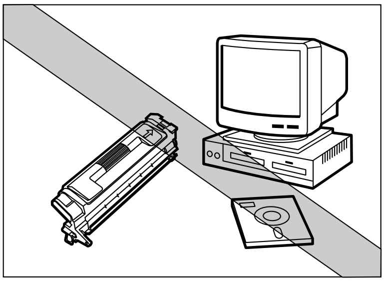
お願い

トナーカートリッジを取り扱う際には、次の点に注意してください。

- 必ず本プリンタに付属、または専用のトナーカートリッジを使用してください。
- メンテナンスなどのために使用中のトナーカートリッジを本体から取り外したときは、すみやかにカートリッジが入っていた保護袋に入れてください。
- トナーカートリッジを立てたり、裏返したりしないでください。必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。



- K（ブラック）トナーカートリッジは磁気製品です。イメージデータを破損する恐れがありますので、パソコン本体やディスプレイ、フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品には近づけないでください。

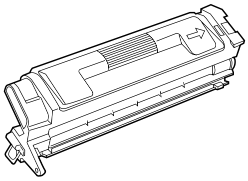


注意

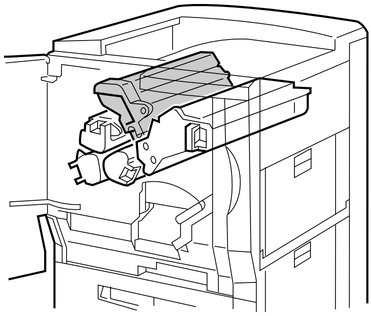
- 万一、手や衣服がトナーで汚れた場合は、すぐに水で洗い流してください。このとき、温水は使わないでください。トナーが融着してとれなくなる恐れがあります。

K（ブラック）トナーカートリッジの取り付け

エンジンキットに同梱されているK（ブラック）トナーカートリッジは、次の手順で取り付けます。



K（ブラック）トナーカートリッジ

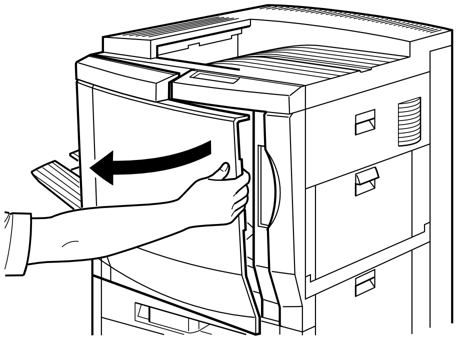


取り付け位置

1

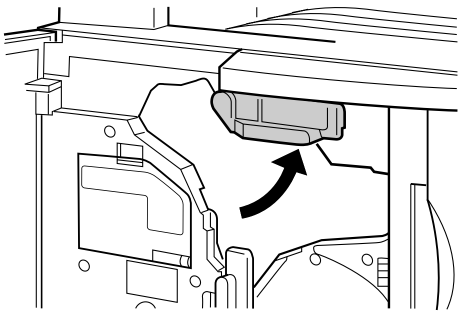
前カバーを開きます。

前カバーは、図のように手をかけ、手前に引くと開きます。



2

青色のリリースレバーを図の矢印の方向へ押し上げます。

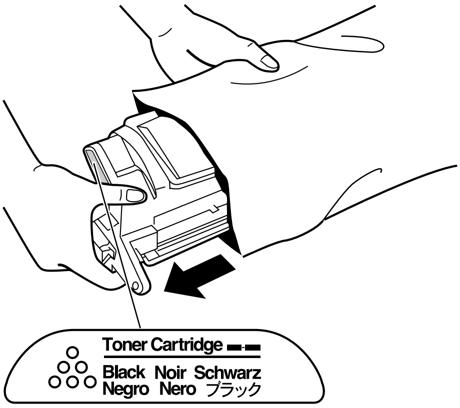


お願い

● **青色のリリースレバーが押し上げられていないとK（ブラック）トナーカートリッジの取り付けができません。**

3

K（ブラック）トナーカートリッジを保護袋から取り出します。

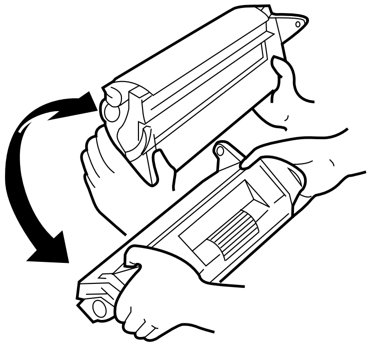


お願い

- **トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。本体のメンテナンス等、トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。**

4

K（ブラック）トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと5～6回振って、内部のトナーを均一にならします。



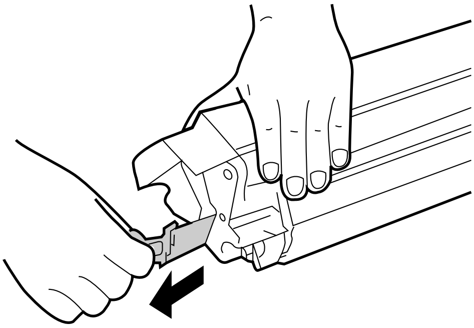
メモ

- **トナーが均一でないと、印字品質が劣化します。**

5

K（ブラック）トナーカートリッジを平らな場所に置き、カートリッジを押さえながらタブに指を掛けて、シーリングテープをまっすぐ引き抜きます。

シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。

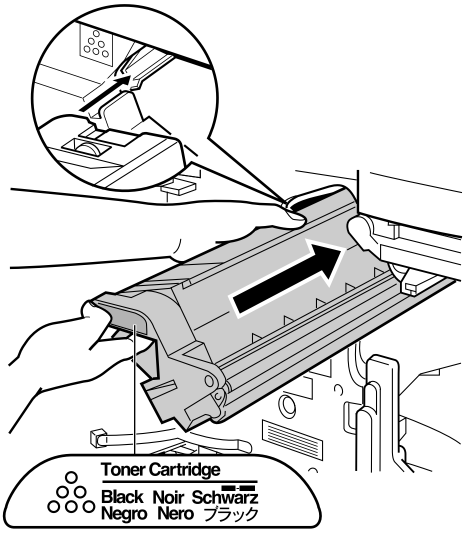


お願い

- **曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張ったりすると、シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。**
- **シーリングテープを抜き取ったK（ブラック）トナーカートリッジは絶対に振らないでください。**
- **手や衣服をトナーで汚さないように十分に注意して作業を行ってください。**

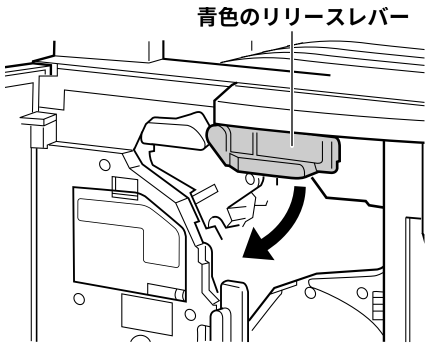
6

K（ブラック）トナーカートリッジを図のように水平に持ち、スロット内側の金属のガイドに合わせ、しっかりと奥まで差し込みます。



7

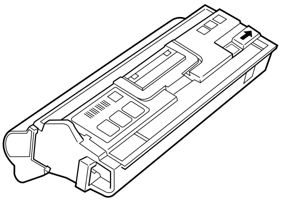
青色のリリースレバーを元の位置へ戻します。



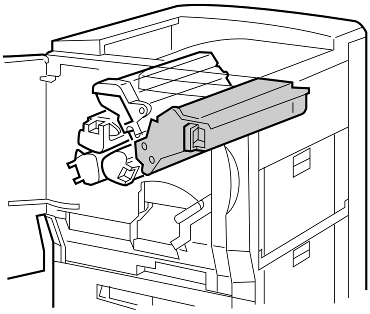
引き続き、ドラムカートリッジを取り付けます。前カバーは閉じないでください。

ドラムカートリッジの取り付け

本プリンタは、工場出荷状態ではドラムカートリッジは付属していません。本プリンタを初めて使用される場合、K（ブラック）トナーカートリッジの取り付けに引き続き、エンジンキットに同梱のドラムカートリッジを取り付けてください。



ドラムカートリッジ



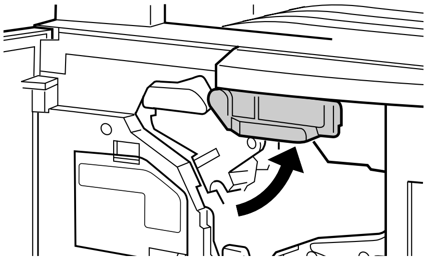
取り付け位置

お願い

- **ドラムカートリッジは光に非常に敏感です。光が当たると性能が劣化し、プリントの品質が低下します。プリンタに取り付ける準備ができるまで保護袋から取り出さないでください。**

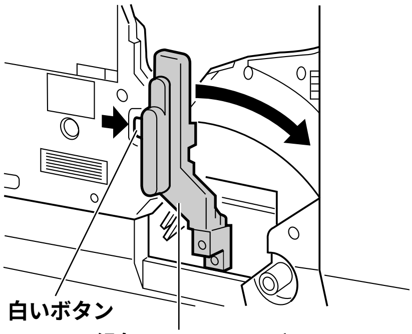
1

青色のリリースレバーを図の矢印の方向へ押し上げます。



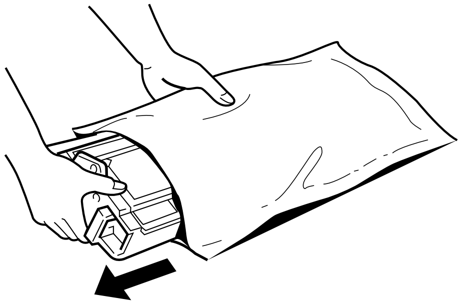
2

緑色のリリースレバーを、白いボタンを押し込みながら、矢印の方向へ倒します。



3

ドラムカートリッジを保護袋から取り出します。



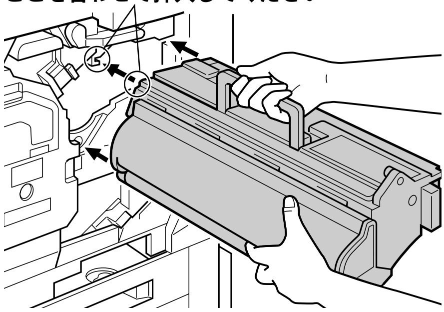
お願い

- **ドラムカートリッジは光に非常に敏感です。光が当たると性能が劣化し、プリントの品質が低下します。プリンタに取り付ける準備ができるまで保護袋から取り出さないでください。**

4

ドラムカートリッジのハンドルを起こして図のように持ち、ドラム挿入部に合わせます。

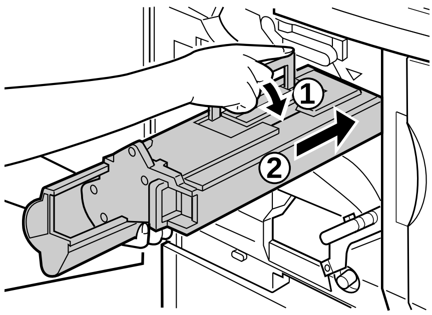
ここを合わせて挿入してください



5

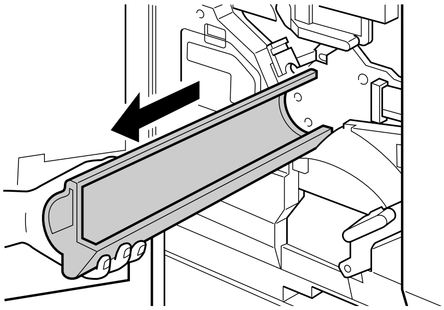
保護カバーを片手で支えながら、ハンドルを元の位置へ戻し①、ドラムカートリッジ本体を水平にゆっくりと押し込みます②。

カチッと音がしてロックされるまで、しっかりと押し込んでください。



6

ドラムカートリッジを完全に押し込んだら、保護カバーを取り外します。

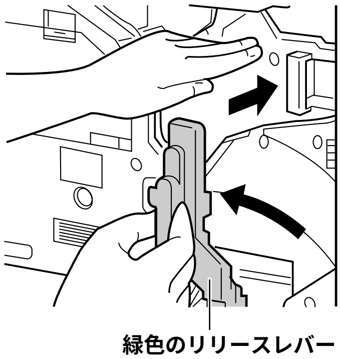


お願い

- 保護カバーは、ドラムカートリッジの交換時に必要になります。捨てずに保護袋といっしょにパッケージに入れて保管しておいてください。
- 保護カバーを取り外すときに、ドラムの表面を手で触らないように注意してください。

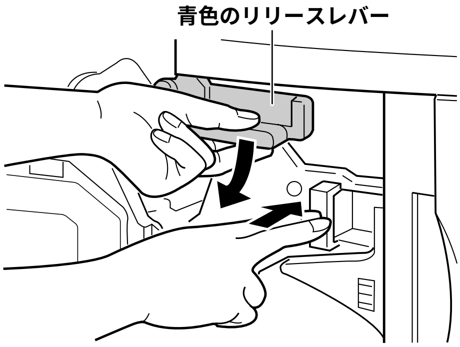
7

緑色のリリースレバーを元の位置へ戻します。



8

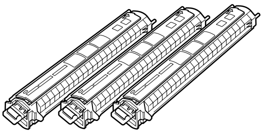
青色のリリースレバーを元の位置へ戻します。



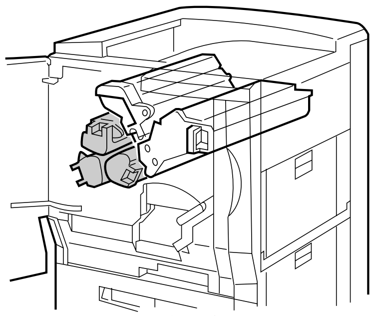
引き続き、カラートナーカートリッジを取り付けます。前カバーは閉じないでください。

カラートナーカートリッジの取り付け

エンジンキットに同梱されているC（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）のカラートナーカートリッジは、次の手順で取り付けます。



C（シアン）トナーカートリッジ
M（マゼンタ）トナーカートリッジ
Y（イエロー）トナーカートリッジ



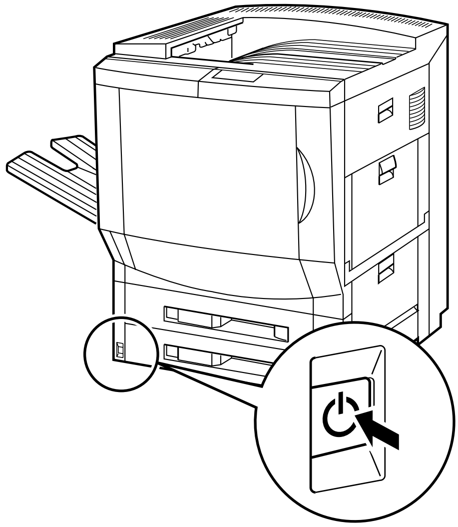
取り付け位置

C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）のカラートナーカートリッジは、それぞれに同じ手順で取り付けてください。

1

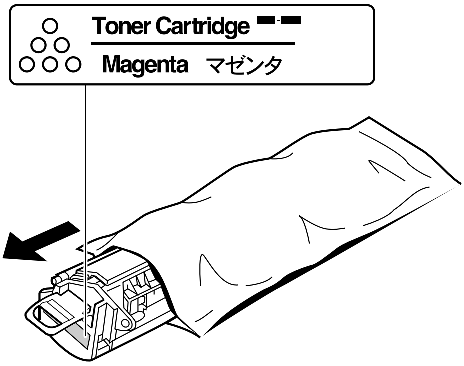
プリンタの電源スイッチを押して電源を入れます。

プリンタの準備が終わると、「トナーカートリッジナシ」というメッセージが表示されます。



2

カラートナーカートリッジを保護袋から取り出します。

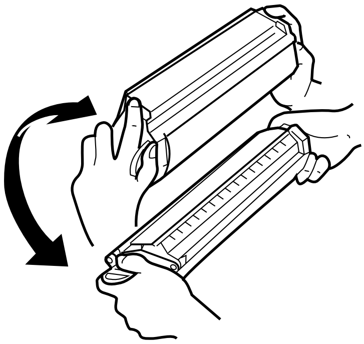


お願い

- **トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。本体のメンテナンス等、トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。**

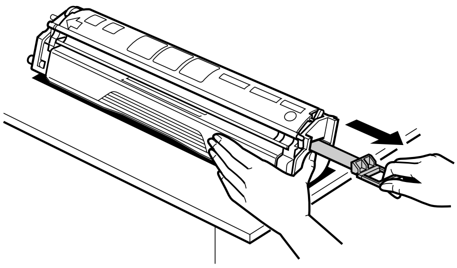
3

カラートナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと5〜6回振って、内部のトナーを均一にならします。



4

カラートナーカートリッジを平らな場所に置き、カートリッジを押さえながらタブに指を掛けて、シーリングテープをまっすぐ引き抜きます。



シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。

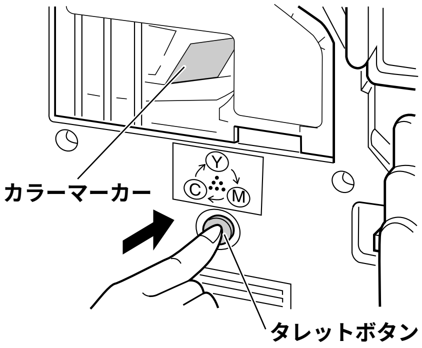
お願い

- **曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張ったりすると、シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。**
- **シーリングテープを抜き取ったカラートナーカートリッジは絶対に振らないでください。**
- **手や衣服をトナーで汚さないように十分に注意して作業を行ってください。**

5

タレットボタンを押し、セットする色のカラーマーカーを選択します。

例えば、シアンのカラートナーカートリッジをセットする場合は、カラーマーカーの色がシアンになるまでタレットボタンを押します。

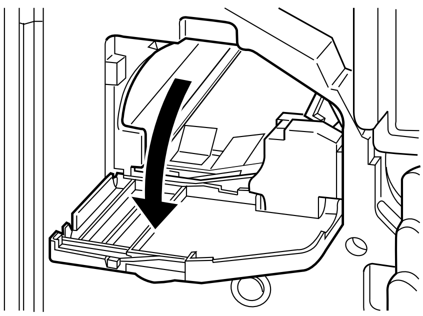


お願い

- カラートナー交換カバーをセットするときは、必ず一度タレットボタンを押してください。一度もタレットボタンを押さずにロックレバーを解除すると、ロックが正しく開かずに破損の原因となります。
- カラートナー交換カバーが開いているときは、必ず閉じてからタレットボタンを押してください。
- ドラムカートリッジおよびK（ブラック）トナーカートリッジがセットされていないとタレットは回転しません。必ず、先にドラムカートリッジおよびK（ブラック）トナーカートリッジをセットしてください。

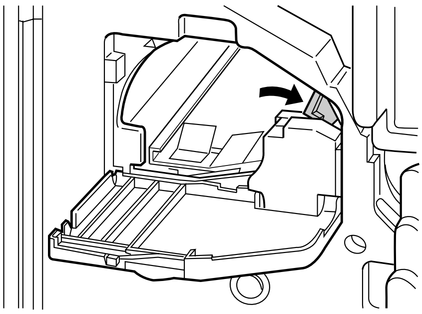
6

カラートナー交換カバーを開きます。



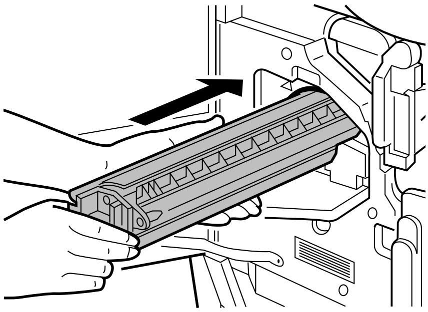
7

タレット右側の青いロックレバーを右側へ開きます。



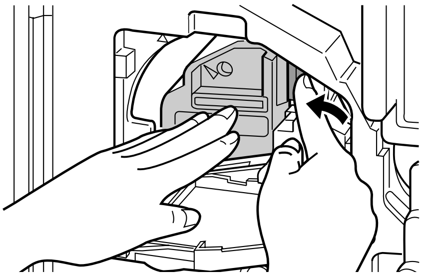
8

タレット内のカラーマーカーと同じ色のトナーカートリッジを図のように水平に持ち、しっかりと奥まで差し込みます。



9

トナーカートリッジを奥へ押しながら、ロックレバーを左側へしっかりと押して固定します。

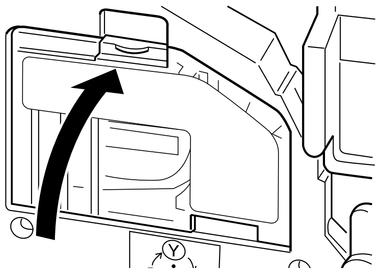


お願い

- ロックレバーはパチンと音がするまで左へ押して、しっかりとロックしてください。ロックが不十分な場合は、タレットが回転しません。

10

カラートナー交換カバーを閉じます。



11

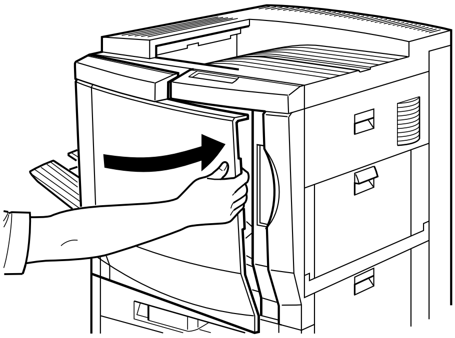
1 から *10* の手順を繰り返し、3 色のトナーカートリッジをセットします。

お願い

- 必ずトナーカートリッジの色とカラーマーカーの色を合わせて取り付けてください。違う色のトナーカートリッジはセットすることができません。

12

前カバーを閉じます。

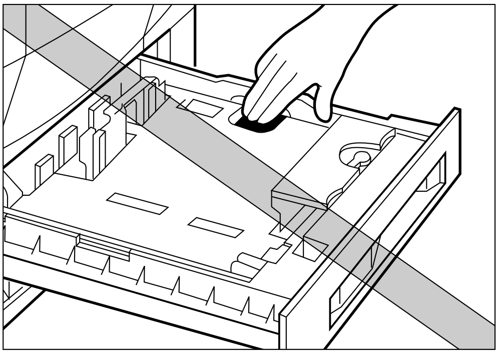


用紙をセットする

本プリンタは、自動切り替えで給紙可能な2種類の給紙カセットを装備しています。給紙カセット1には、A4、B4、レター、リーガルサイズ、給紙カセット2には、A4、B4、A3、レター、リーガル、11x17（レジャー）サイズの用紙をそれぞれ約500枚（普通紙64g/m^2）セットできます。
トナーカートリッジのセットが終わったら、上段および下段の給紙カセットのストッパやスペーサを取り外し、用紙をセットします。

お願い

紙づまりの原因となることがありますので、次の注意を守ってください。
- **普通紙（64～105g/m^2）以外の用紙をセットしないでください。**
- **しわのある用紙やひどくカールした用紙はセットしないでください。**
- **使用できる用紙についての詳細は、ユーザーズガイドをご覧ください。**
- **給紙カセットの黒いゴムパットには触れないでください。給紙不良の原因となることがあります。**

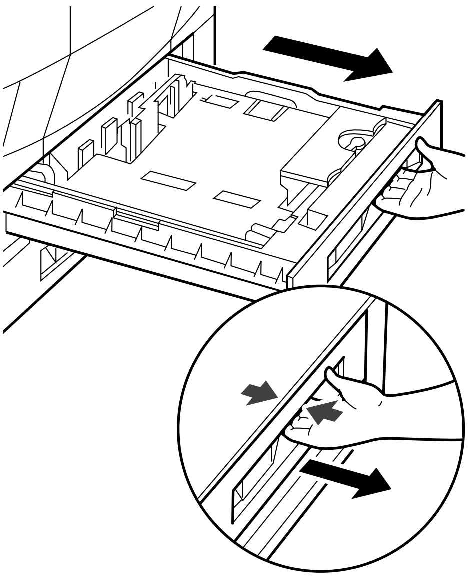


給紙カセット1、給紙カセット2共に用紙のセット方法は同じです。次の手順にしたがって、両方の給紙カセットに正しく用紙をセットしてください。

1

給紙カセットをいっぱいに引き出します。

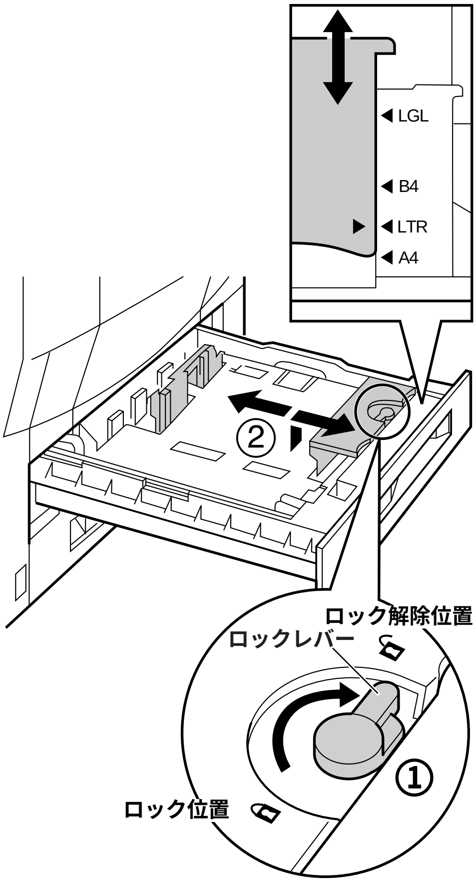
給紙カセットは、前面のハンドルに図のように手を入れ、奥のロックレバーを引いて引き出します。止まるまでいっぱいに引き出してください。



2

右手前側の用紙ガイドのロックレバーをロック解除側に回して外し①、用紙ガイドをセットする用紙のサイズに合わせて移動します②。

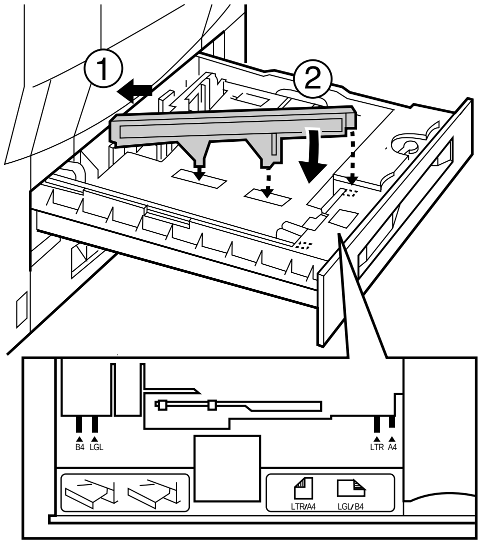
用紙ガイドの位置を合わせたら、ロックレバーをロック側に回してロックします。



3

左端の用紙ガイドを、手前を上に持ち上げて外し、セットする用紙のサイズに合わせて移動します。

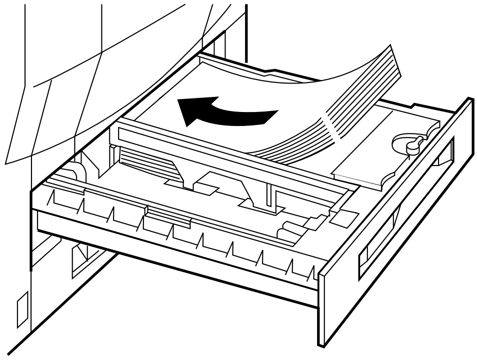
用紙ガイドは、奥を先に差し込んでから①、下側の穴にセットします②。



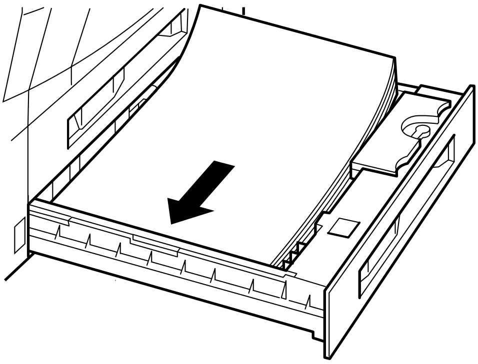
4

用紙を、左側と奥の用紙ガイドに沿わせてセットします。

A4、レターサイズの用紙の場合は矢印の方向（横送り）にセットします。



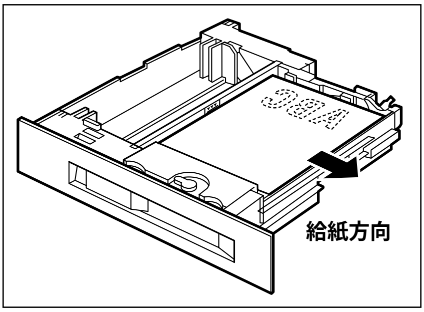
B4、A3、リガール、11x17サイズの用紙の場合は矢印の方向（縦送り）にセットします。



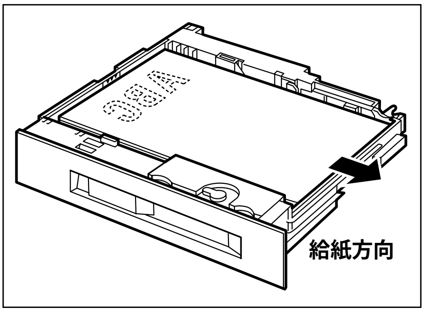
お願い

レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。

- **A4、レターサイズの用紙の場合は、プリントする面を下に向け、用紙の上側を奥側に向けてセットします。**

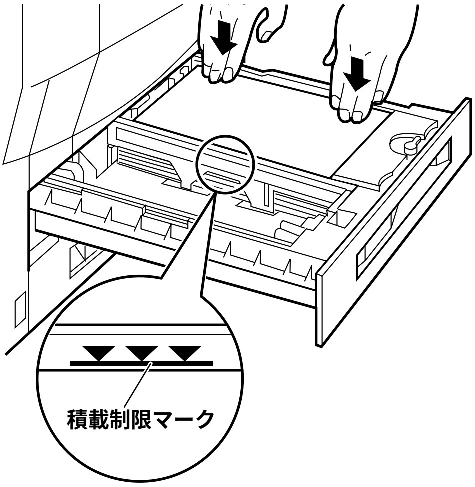


- **B4、A3、リーガル、11x17 サイズの用紙の場合は、プリントする面を下に向け、用紙の上側が左になるようにセットします。**



5

用紙の右側を下へ押さえ、用紙ガイドの積載制限マークを越えていないかどうか確認してください。

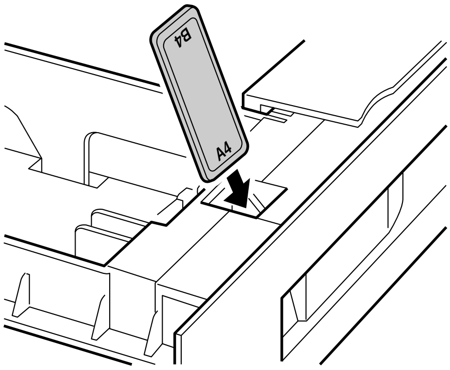


お願い

- **用紙は、絶対に左端の用紙ガイドの積載制限マークを越えない範囲でセットしてください。積載制限マークを越す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となることがあります。**

6

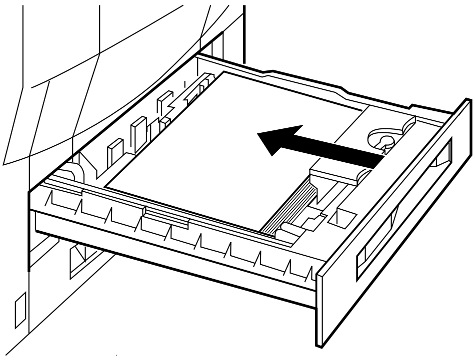
用紙サイズ表示カードにセットした用紙サイズのラベルを貼り、給紙カセットの前面左側の用紙サイズ表示位置に差し込みます。



7

給紙カセットをしっかりと奥まで押し込みます。

給紙カセットの前面が、プリンタの前面と合うまで、しっかりと奥まで押し込んでください。



お願い

- **給紙カセット1、給紙カセット2共に用紙のセット方法は同じです。両方の給紙カセットに正しく用紙をセットしてください。**

パソコンと接続する

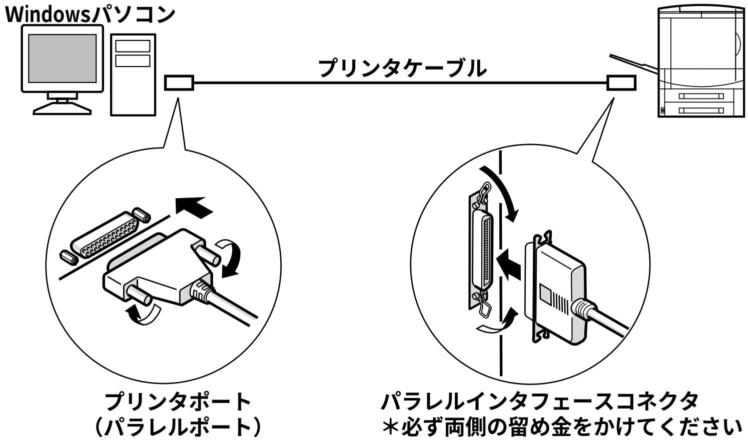
プリンタの準備が終わったら、本プリンタをパソコンやネットワークに、プリンタケーブルやネットワークケーブルで接続します。

お願い

- **本プリンタにプリンタケーブルやネットワークケーブルは付属していません。あらかじめご使用のパソコンやネットワークに合ったケーブル（別売）をご用意ください。**

Windows パソコンとの接続

IBM PC/AT 互換機（DOS/V パソコン）や PC-9821 シリーズ、その他の Windows パソコンのプリンタポートは、一般的にパラレルインタフェース（セントロニクス準拠）です。これらのパソコンは、そのままプリンタケーブルで本プリンタのパラレルインタフェースコネクタに接続します。パソコン本体には、使用している OSに合わせて、本プリンタに付属のプリンタドライバやユーティリティソフトをインストールします。



注意

- **プリンタケーブルを接続するときは、必ず次の手順を守ってください。感電の原因となることがあります。**
  ①本プリンタの電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  ②パソコンの電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

メモ

- **本プリンタは双方向パラレルインタフェースに対応しています。パラレルインタフェースで双方向通信を行う場合、双方向対応のプリンタケーブルが必要です。詳しくはお買い求めの販売店、またはキヤノン販売（株）「お客様相談センター」へお問い合わせください。**

ネットワークとの接続

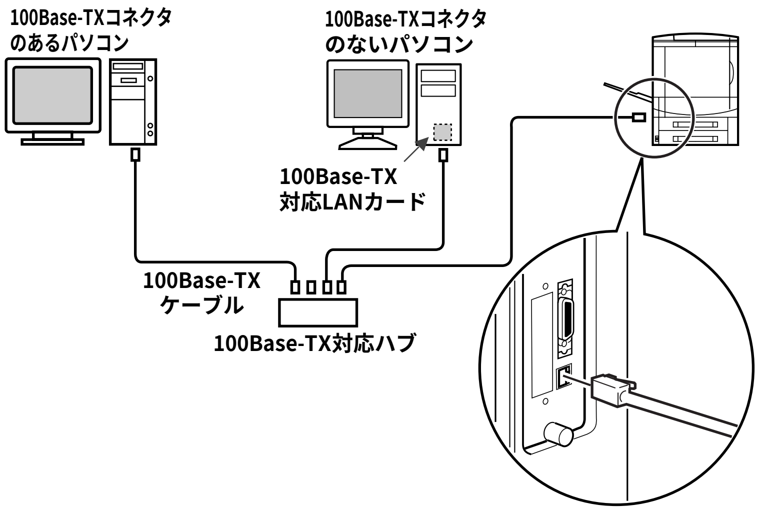
本プリンタには、TCP/IP（LPD、SMB）、AppleTalk、IPX/SPX（NDS PServer、Bindary PServer）に対応したプリントサーバが内蔵されており、UNIX、MacOS、Windows、NetWare® などのネットワークプリンタとして使用することができます。また、本プリンタのプリントサーバは、10Base-T/100Base-TX, 10Base-5（AUI）のコネクタを装備しているので、多くの LAN へすぐに接続することが可能です。
下記の例を参考にお使いの LAN の形式に合わせて、本プリンタをネットワークに接続してください。LAN ケーブルやハブなどは、必要に応じて別途ご用意ください。接続が終わったら、必ず本プリンタのネットワーク設定を行ってください。ネットワーク設定については、第 3 章「ネットワークの設定」（P.68）をご覧ください。

注意

- **ネットワークケーブルを接続するときは、必ず次の手順を守ってください。感電の原因となることがあります。**
  ①本プリンタの電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  ②パソコンの電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● 100Base-TX で接続する場合

本プリンタの10Base-T/100Base-TX コネクタとハブのポートをカテゴリー5対応ツイストペア LAN ケーブル（100Base-TX 用 LAN ケーブル）で接続します。

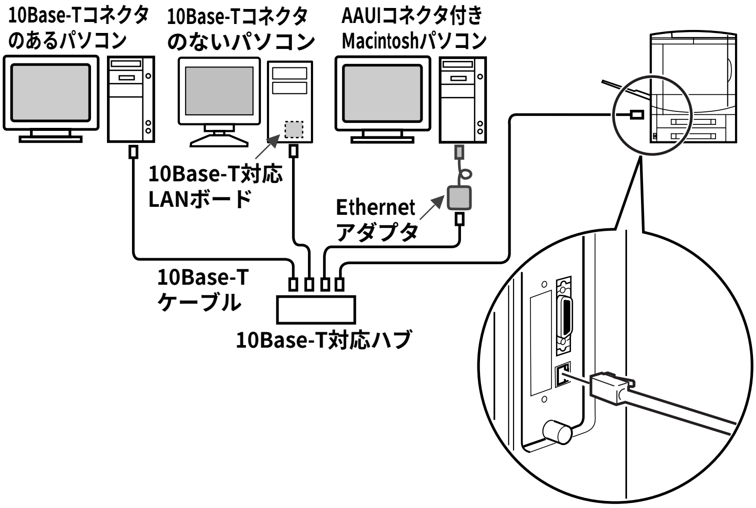


メモ

- **ハブや LAN ケーブル、パソコン用ネットワークボードなど、LAN に接続している機器は、すべて 100Base-TX に対応しているものが必要になります。詳しくはお買い求めの販売店、またはキヤノン販売（株）「お客様相談センター」へお問い合わせください。**

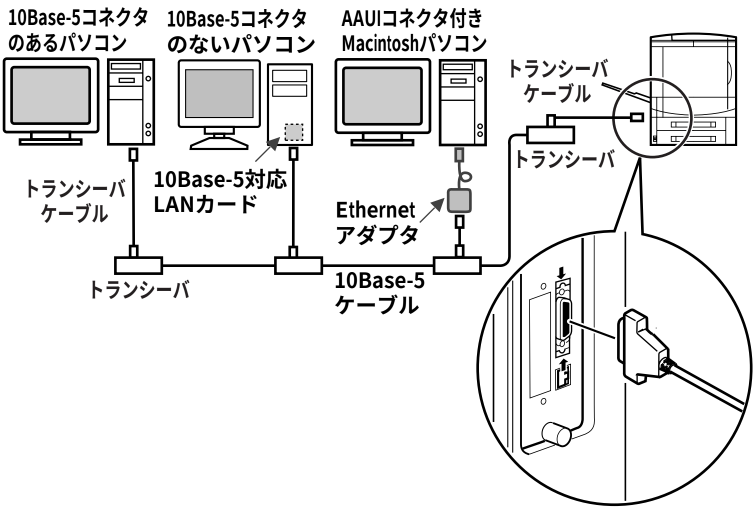
● 10Base-T で接続する場合

本プリンタの10Base-T/100Base-TXコネクタとハブのポートをカテゴリ３以上のツイストペアLANケーブル（10Base-T用LANケーブル）で接続します。ネットワークに対応していないパソコンの場合は、ネットワークボードも必要になります。



● 10Base-5 で接続する場合

本プリンタのAUIコネクタとトランシーバをトランシーバケーブルで接続します。ネットワークに対応していないパソコンの場合は、ネットワークボードも必要になります。



メモ

- **パソコンとLANの接続については、10Base-5対応のハブを追加することにより、10Base-Tで接続することも可能です。詳しくはお買い求めの販売店、またはキヤノン販売（株）「お客様相談センター」へお問い合わせください。**

2

第2章 プリンタの設置

その他のパソコンとの接続

ご使用のパソコンのプリンタポートがパラレルインタフェース（セントロニクス準拠）のときは、そのパソコンのコネクタに合ったインタフェースケーブルで本プリンタと接続します。

注意

- **インタフェースケーブルを接続するときは、必ず次の手順を守ってください。感電の原因となることがあります。**
  ①本プリンタの電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  ②パソコンの電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

動作を確認する

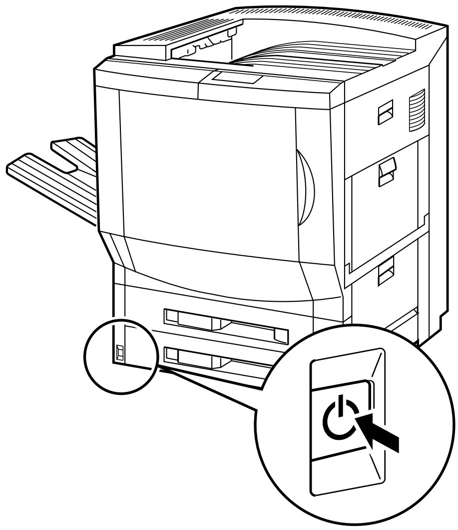
本プリンタの準備や接続が終わったら、テストプリントでプリンタが正しく動作することを確認します。テストプリントは、A4サイズの用紙に行うので、いずれかの給紙元にA4サイズの用紙をセットしてください。(操作パネルでプリンタ設定のデフォルト用紙サイズを"レター"に設定している場合は、レターサイズ用紙をセットしてください。)

テストプリントは、次の手順で行います。

1

プリンタの電源スイッチを押して電源を入れます。

プリンタの準備が終わると、「インサツカノウ」が表示されます。

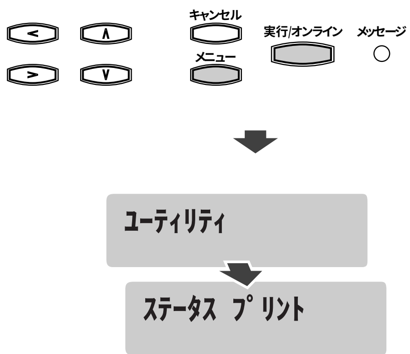


お願い

● **電源を入れた後は、左側面部のケーブル接続部に手を触れないでください。**

2

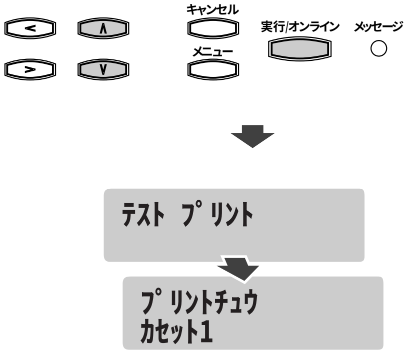
（メニュー）キーを押して「ユーティリティ」メニューを選択し、（実行）キーを押します。



3

∧、∨キーを押して「テスト プリント」選択し、実行キーを押します。

テスト　プリントがプリントされた後、プリントできる状態に戻ります。



テストプリントの内容について

プリンタが正常に動作していると、次のようなパターンがプリントされます。



ソフトウェアをインストールする

本プリンタでプリントするためには、お使いのパソコンに合ったソフトウェアをインストールする必要があります。本プリンタに付属のCD-ROMには、下記のソフトウェアが収録されていますので、必要に応じてインストールを行ってから、お使いください。インストールの方法やソフトウェアの使いかたについては、ソフトウェアガイドをご覧ください。

Windowsの場合

本プリンタをWindowsパソコンから使うためのソフトウェアは、次のものがあります。

●ポストスクリプトプリンタドライバ

Windowsからプリントするためにソフトウェアです。付属のUser Software CD-ROMに収録されていますので、必ずインストールしてください。

●ユーティリティソフト「NetSpot」

本プリンタの各種設定をネットワークから操作したり、プリンタの状態をモニタできるユーティリティです。NetSpotは、付属のNetSpot CD-ROMに収録されています。必要に応じてインストールしてください。

●プリンタ内蔵フォント用スクリーンフォント

付属のUser Software CD-ROMには、本プリンタに内蔵の欧文PostScriptフォント136書体に対応したType1およびTrueTypeスクリーンフォントが収録されています。このスクリーンフォントをWindowsシステムにインストールすることで、本プリンタに内蔵の欧文PostScriptフォントを画面上に正しく表示させることができます。

●追加フォント

付属のUser Software CD-ROMには、本プリンタに内蔵のPostScriptフォント以外に、追加フォントとして和文PostScriptフォント14書体とBitstream社欧文TrueTypeフォント100書体、およびTrueTypeスクリーンフォントが収録されています。必要に応じて使いたいフォントをダウンロード（インストール）してください。

●フォントダウンローダ「Canon Font Downloader」

追加の和文PostScritフォントを本プリンタのハードディスクへダウンロードするためのユーティリティソフトウェアです。また同時にWindowsシステムへTrueTypeスクリーンフォントをインストールすることもできます。付属のUser Software CD-ROMに収録されています。

●各種設定ファイル

アプリケーションソフトやカラーマネジメントソフト用の本プリンタ用設定ファイルです。使用するソフトウェアの説明書を読み、付属のUser Software CD-ROMから指定のフォルダへインストールしてください。

お願い

● パラレルインタフェースで接続した場合は、NetSpotは利用できません。

メモ

● NetSpotのインストール方法や使いかたについては、NetSpot CD-ROMに収録されている「NetSpot設定ユーティリティガイド」をご覧ください。また表示方法などについては、NetSpot CD-ROMの［Manual］フォルダにある「Readme.txt」ファイルをご覧ください。

● 追加フォント、Canon Font Downloaderについては、「ソフトウェアガイド」をご覧ください。

Macintoshの場合

本プリンタをMacintoshパソコンから使うためのソフトウェアは、次のものがあります。

●ポストスクリプトプリンタドライバ

Macintoshからプリントするためのソフトウェアです。付属のUser Software CD-ROMに収録されていますので、必ずインストールしてください。

● PPD ファイル

プリンタドライバで使用する本プリンタ用の設定ファイルです。プリンタドライバをインストールすると、同時に指定のフォルダへインストールされます。

●ユーティリティソフト「NetSpot」

本プリンタの各種設定をネットワークから操作したり、プリンタの状態をモニタできるユーティリティです。NetSpotは、付属のNetSpot CD-ROMに収録されています。必要に応じてインストールしてください。

●プリンタ内蔵フォント用スクリーンフォント

付属のUser Software CD-ROMには、本プリンタに内蔵の欧文PostScriptフォント136書体に対応したType1およびTrueTypeスクリーンフォントが収録されています。このスクリーンフォントをシステムフォルダにインストールすることで、本プリンタに内蔵の欧文PostScriptフォントを画面上に正しく表示させることができます。

●追加フォント

付属のUser Software CD-ROMには、本プリンタに内蔵のPostScriptフォント以外に、追加フォントとして和文PostScriptフォント14書体とBitstream社欧文TrueTypeフォント100書体、およびTrueTypeスクリーンフォントが収録されています。必要に応じて使いたいフォントをダウンロード（インストール）してください。

●フォントダウンローダ「Canon Font Downloader」

追加の和文PostScritフォントを本プリンタのハードディスクへダウンロードするためのユーティリティソフトウェアです。また同時にシステムフォルダへTrueTypeスクリーンフォントをインストールすることもできます。付属のUser Software CD-ROMに収録されています。

● Adobe Type Manager

付属のUser Software CD-ROMには、Adobe Type Manager（ATM）が収録されており、インストールして使うことができます。

●各種設定ファイル

ICCプロファイルやColorSync用のプロファイルなど、アプリケーションソフトやカラーマネジメントソフト用の本プリンタ用設定ファイルです。使用するソフトウェアの説明書を読み、指定のフォルダへインストールしてください。

メモ

- **NetSpotのインストール方法や使いかたについては、NetSpot CD-ROMに収録されている「NetSpot設定ユーティリティガイド」をご覧ください。また表示方法などについては、NetSpot CD-ROMの［Manual］フォルダにある「お読みください」ファイルをご覧ください。**
- **追加フォント、Canon Font Downloaderについては、「ソフトウェアガイド」をご覧ください。**

UNIXの場合

UNIXコンピュータから本プリンタを利用する場合は、サーバに本プリンタを登録し、各クライアントからは、lpコマンドなどシステムに付属のプリントコマンドを利用します。詳しくは、システム管理者にお問い合わせください。

ネットウェアの場合

ネットウェアで本プリンタを利用するためには、ネットウェアサーバに本プリンタを登録し、各パソコンやコンピュータには、クライアント用のソフトウェアのインストールと設定が必要になります。サーバへの登録やプリンタのネットウェア設定については、第3章「ネットウェアの設定」(P.78)をご覧ください。また、クライアントに必要なソフトウェアのインストールについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

第 3 章

ネットワークの設定

ネットワーク情報の設定について

本プリンタをネットワークに接続する場合は､本プリンタのネットワーク情報を設定する必要があります。接続が終わったら、お使いのネットワークプロトコルやOSに合わせて､インターフェースやプロトコル、ネットワークサービスなど、ネットワーク情報の設定を行ってください｡ネットワーク情報は､操作パネルまたはユーティリティソフト「NetSpot」で設定します。

■ NetSpot

ユーティリティソフト「NetSpot」を使うと、LAN上のパソコンから本プリンタのネットワーク情報やプリンタ機能の設定、プリンタの状態表示などが行えます。NetSpotからの設定手順については、NetSpot設定ユーティリティガイドをご覧ください。

■操作パネル

本プリンタの操作パネルでは、インタフェースの設定、TCP/IPの設定、AppleTalkの設定、ネットウェアの設定、SMBの設定などのネットワーク情報を設定することができます。次ページ以降では、操作パネルから設定する手順について説明しています。

メモ

- **操作パネルから設定する場合、使用しないプロトコルについては、設定する必要はありませんので、そのまま実行キーを押して次へ進んでください。**

インタフェースの設定

接続したネットワークに合わせて、イーサネットの形式を設定します。

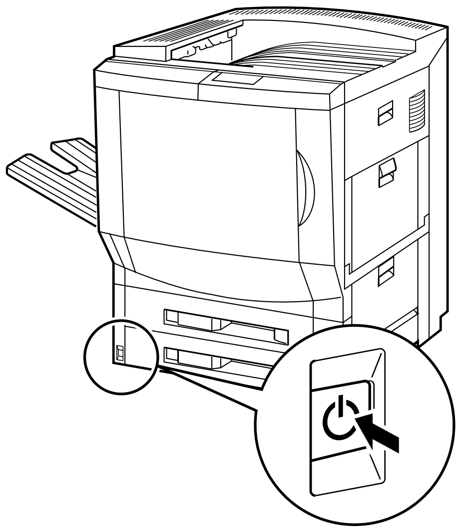
メモ

● **操作パネルから設定する場合、30秒以上何も操作をしないと、自動的にメニュー表示が解除されます。リスタートが必要な設定を変更した場合（設定値を変更して実行キーを押した場合）は、プリンタがリスタートされますので、しばらくお待ちください。それ以外の場合は、「インサツカノウ」の表示に戻ります。**

1

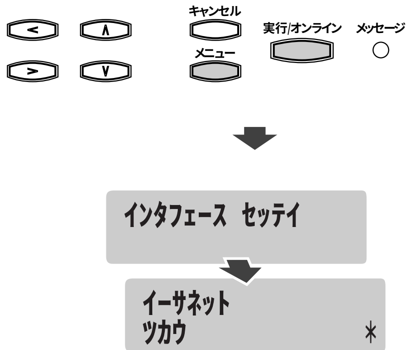
プリンタの電源スイッチを押して電源を入れます。

プリンタの準備が終わると、「インサツカノウ」が表示されます。



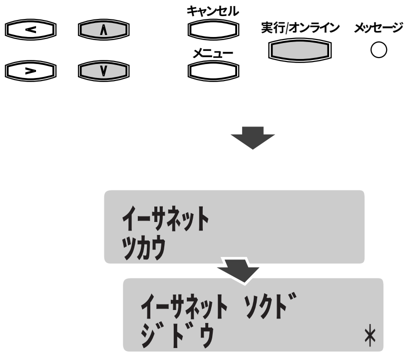
2

（メニュー）キーを押して［インタフェース　セッテイ］メニューを選択し、（実行）キーを押します。



3

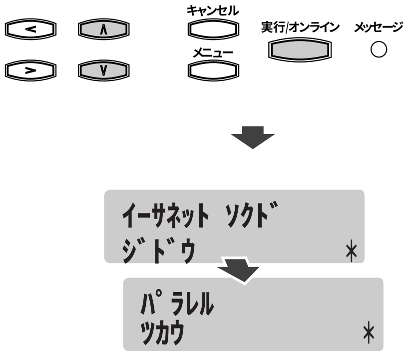
（∧）、（∨）キーを押して「ツカウ」を選択し、（実行）キーを押します。



4

（∧）、（∨）キーを押して使用する速度を選択し、（実行）キーを押します。

イーサネットの形式が設定されます。

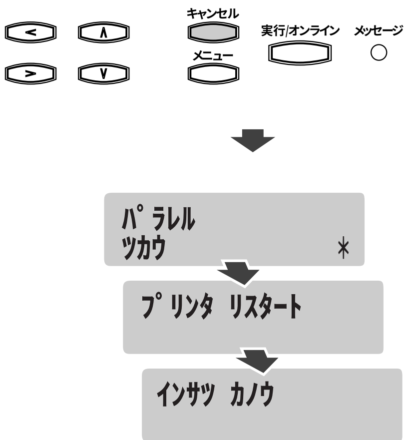


ネットワークプロトコルやネットワークサービスを設定する場合は、引き続き設定を行うことができます。TCP/IP を使用する場合は「TCP/IP の設定」（P.71）の手順 *2*、AppleTalk を使用する場合は「AppleTalk の設定」（P.77）の手順 *2*、ネットウェアを使用する場合は「ネットウェアの設定」（P.80）の手順 *2* へ進んでください。

5

（キャンセル）キーを押します。

プリンタがリスタートされます。しばらくすると、プリントできる状態に戻ります。



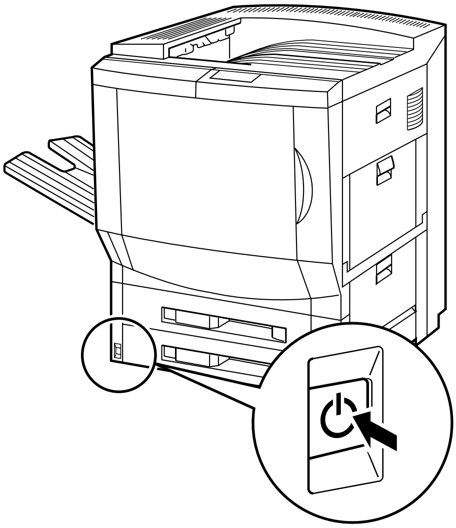
TCP/IP の設定

本プリンタのTCP/IPプロトコルは、DHCPサーバ、BOOTPサーバ、RARPサーバ、固定IPアドレスに対応しています。ネットワーク内でIPアドレスを固定して使用している場合は、あらかじめ本プリンタに割り当てるIPアドレスやサブネットマスク、ゲートウェイアドレスの情報を、ネットワーク管理者へお問い合わせください。
TCP/IPの設定は、次の手順で行います。

1

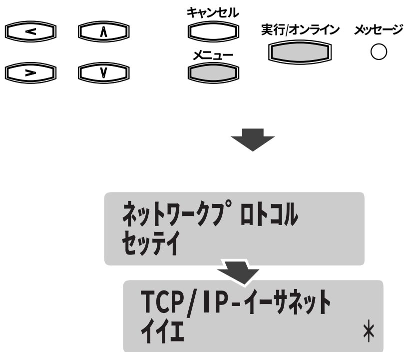
プリンタの電源スイッチを押して電源を入れます。

プリンタの準備が終わると、「インサツカノウ」が表示されます。



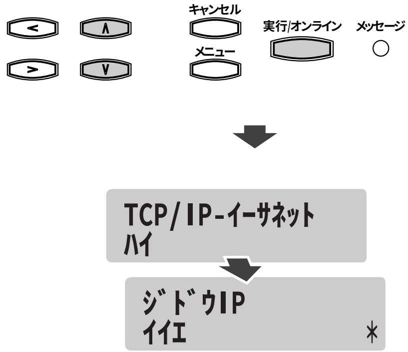
2

メニューキーを押して[ネットワークプロトコルセッテイ]メニューを選択し、実行キーを押します。



3

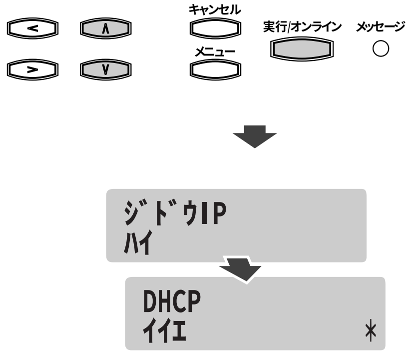
∧、∨キーを押して「ハイ」を選択し、実行キーを押します。



4

∧、∨キーを押して「ハイ」または「イイエ」を選択し、実行キーを押します。

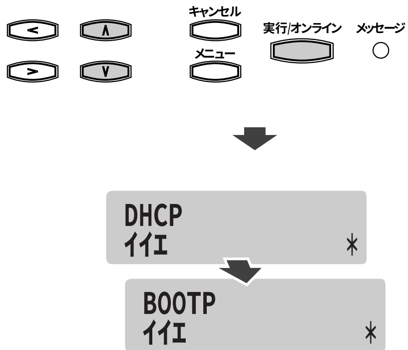
自動IPアドレスを使う場合は、「ハイ」を選択してください。
固定IPアドレスを使用する場合は、「イイエ」を選択し、手順***9***へ進んでください。



5

∧、∨キーを押して「ハイ」または「イイエ」を選択し、実行キーを押します。

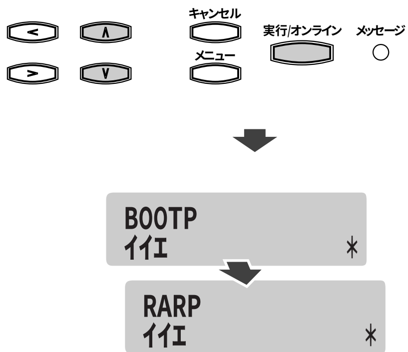
DHCPサーバを使用する場合は、「ハイ」を選択し、手順***8***へ進んでください。
DHCPサーバを使用しない場合は、「イイエ」を選択してください。



6

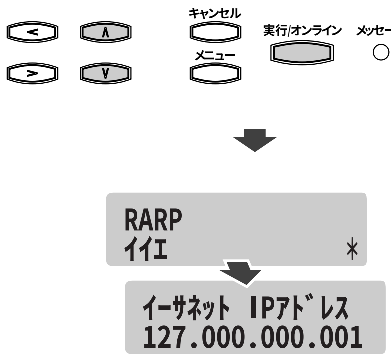
∧、∨キーを押して「ハイ」または「イイエ」を選択し、実行キーを押します。

BOOTPサーバを使用する場合は、「ハイ」を選択し、手順***8***へ進んでください。
BOOTPサーバを使用しない場合は、「イイエ」を選択してください。



7

∧、∨キーを押して「ハイ」または「イイエ」を選択し、実行キーを押します。



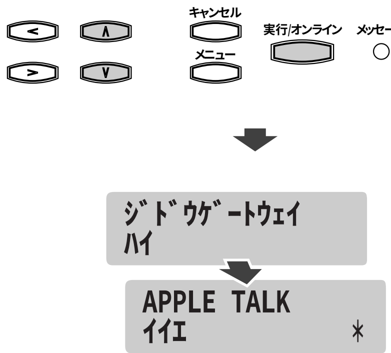
RARPサーバを使用する場合は、「ハイ」を選択し、手順 ***11*** へ進んでください。RARPサーバを使用しない場合は、「イイエ」を選択し、手順***9***へ進んでください。

メモ

- **DHCP サーバ、BOOTP サーバ、RARP サーバのすべてで「イイエ」を選択すると、自動的に固定 IP アドレスの設定へ進みます。**
- **自動IPで設定されたIPアドレスはステータスプリントを印刷することにより確認できます。**

8

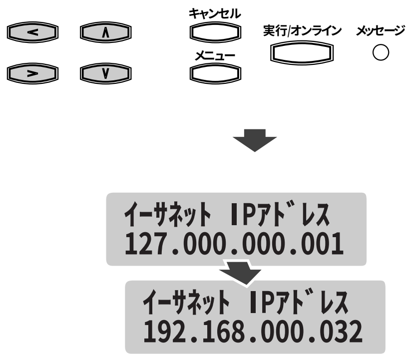
∧、∨キーを押して「ハイ」または「イイエ」を選択し、実行キーを押します。



自動ゲートウェイを使用する場合は、「ハイ」を選択し、手順***15***へ進んでください。自動ゲートウェイを使用しない場合は、「イイエ」を選択し、手順***13***へ進んでください。

9

割り当てられたIP アドレスを 1 桁ずつ ∧、∨キーで設定して、＜、＞キーを押して次の桁へ進みます。



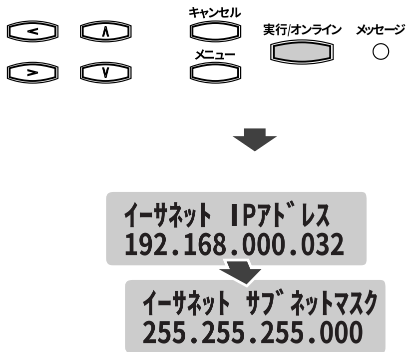
IPアドレスは、すべての桁を設定してください。「0」や「32」のように桁が少ないときは、「000」や「032」のように0を補完して入力してください。

お願い

- **IPアドレスは本プリンタ用のものを正確に入力してください。ネットワーク上の他の機器と同じ番号を設定すると、ネットワークが機能しません。**
- **「xxx.xxx.xxx.000」および「xxx.xxx.xxx.255」は、TCP/IP の規格上入力することはできません。**
- **サブネットマスクの設定に関しては、ネットワーク管理者に前もって確認してください。**

10

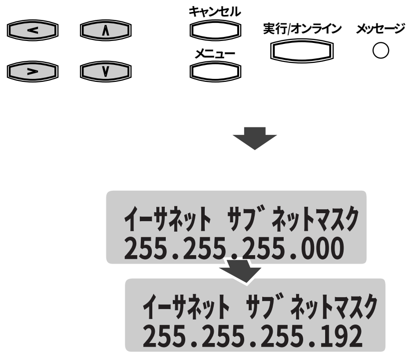
すべて入力し終わったら、実行キーを押します。



IP アドレスが設定されます。

11

イーサネットサブネットマスクを 1 桁ずつ(∧)、(∨)キーで設定して、(<)、(>)キーを押して次の桁へ進みます。



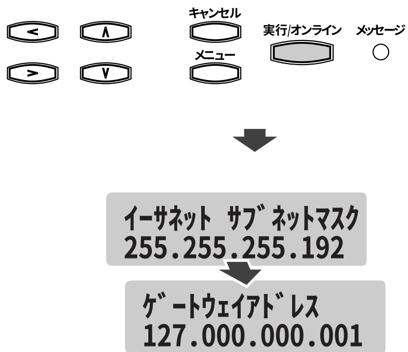
イーサネットサブネットマスクは、すべての桁を設定してください。「0」や「32」のように桁が少ないときは、「000」や「032」のように0を補完して入力してください。

お願い

- **イーサネットサブネットマスクは指定されたものを正確に入力してください。ネットワーク上の機器と違う数値を設定すると、プリンタがネットワーク上で認識されません。**
- **NetSpotでTCP/IPプロトコルの設定を自動取得から手動入力にして値を変更した場合、変更した値はプリンタをリスタートすると有効になりますが、変更しなかった値はプリンタで保持されていた値になります。値を手動入力してプリンタをリスタートした後は、必ずTCP/IPプロトコルの設定を確認してください。**

12

すべて入力し終わったら、(実行)キーを押します。

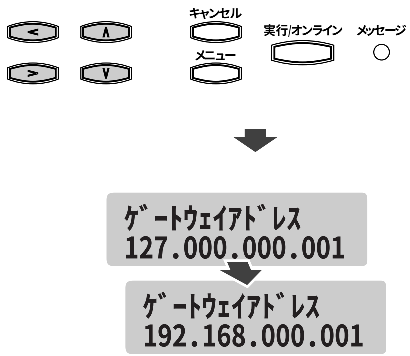


イーサネットサブネットマスクが設定されます。

13

ゲートウェイアドレスを1桁ずつ(∧)、(∨)キーで設定して、(<)、(>)キーを押して次の桁へ進みます。

ゲートウェイアドレスは、すべての桁を設定してください。「0」や「32」のように桁が少ないときは、「000」や「032」のように0を補完して入力してください。



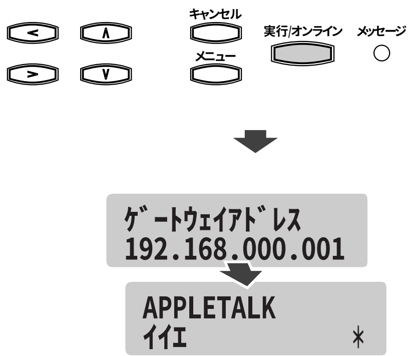
お願い

● **ゲートウェイアドレスは指定されたものを正確に入力してください。**

14

すべて入力し終わったら、(実行)キーを押します。

ゲートウェイアドレスが設定されます。

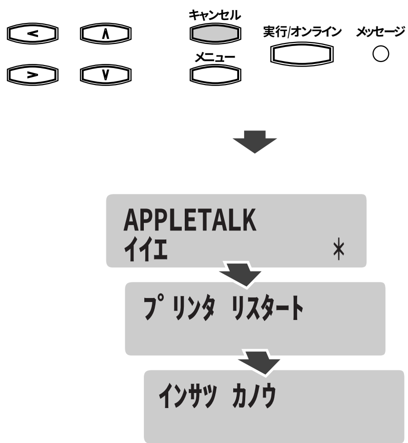


AppleTalkやネットウェアを使用する場合は、引き続き設定を行うことができます。
「AppleTalkの設定」（P.78）の手順*4*へ進んでください

15

(キャンセル)キーを押します。

プリンタがリスタートされます。しばらくすると、プリントできる状態に戻ります。



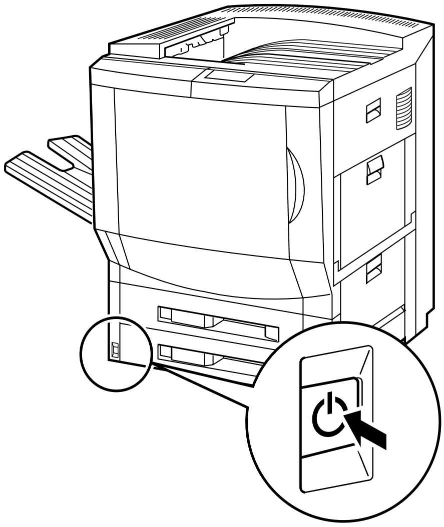
AppleTalk の設定

本プリンタを Macintosh のネットワークで使用する場合は、次の手順で AppleTalk の設定を行います。

1

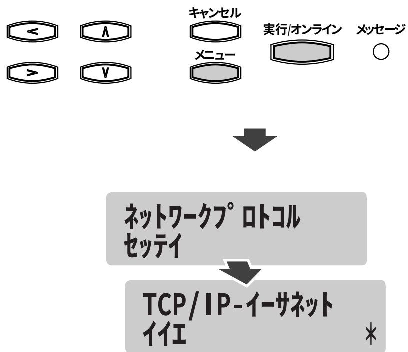
プリンタの電源スイッチを押して電源を入れます。

プリンタの準備が終わると、「インサツカノウ」が表示されます。



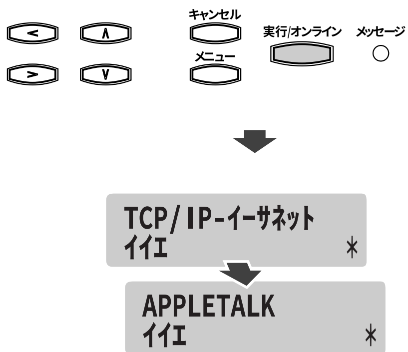
2

（メニュー）キーを押して[ネットワークプロトコルセッテイ]メニューを選択し、（実行）キーを押します。



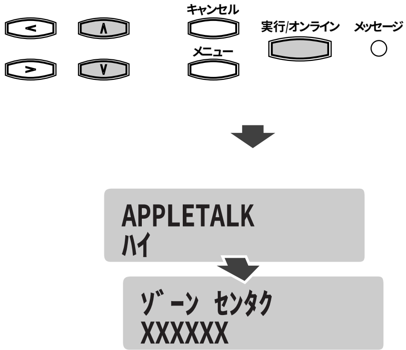
3

何回か（実行）キーを押して、[APPLETALK] を表示します。



4

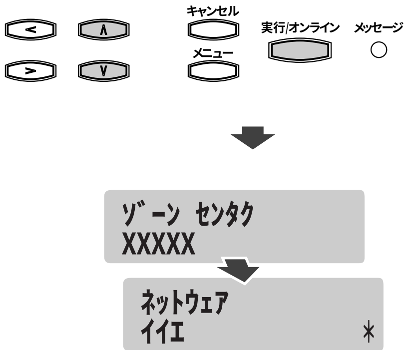
（∧）、（∨）キーを押して「ハイ」を選択し、（実行）キーを押します。



ネットワークにゾーンが設定されている場合は、ゾーン名が表示されます。
ゾーンが設定されていない場合は、「ゾーン ナシ」が表示されますので、手順 ***6*** へ進んでください。

5

（∧）、（∨）キーを押してゾーン名を選択し、（実行）キーを押します。

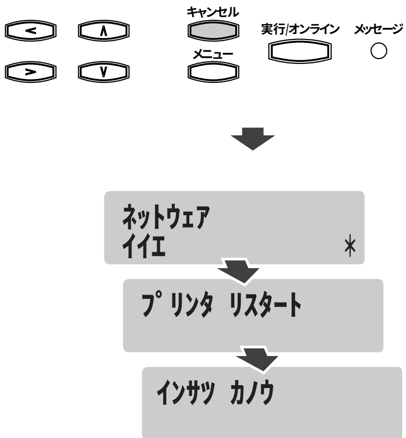


ゾーンが設定されます。

ネットウェアを使用する場合は、引き続き設定を行うことができます。「ネットウェアの設定」（P.81）の手順 *4* へ進んでください

6

（キャンセル）キーを押します。



プリンタがリスタートされます。しばらくすると、プリントできる状態に戻ります。

ネットウェアの設定

本プリンタに内蔵のプリントサーバは、NetWare 4.x の NDS 接続、NetWare 3.12 のバインダリ接続およびNetWare 4.xのバインダリエミュレーションモードに対応しています。お使いのネットウェアのネットワーク仕様に合わせて、設定を行ってください。
本プリンタをネットウェアのネットワークで使用する場合は、次の設定が必要です。

- **プリンタのフレームタイプ設定**
- **ネットウェアサーバのプリントキュー設定**
- **プリンタのネットワークサービス設定**

ここでは、NetWare 4.x で NDS 接続を設定する場合と、NetWare 3.12 でバインダリ接続を設定する場合について説明しています。設定に必要な情報やネットウェア環境の仕様については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

メモ

- **ネットウェアサーバを設定するには、スーパバイザ権限でサーバにログインする必要があります。設定を行う際は、ネットワーク管理者にご相談ください。**
- **ネットウェアのバージョンにより操作が違う場合があります。詳しくは、お使いのシステムの使用説明書をご覧ください。**

NDPS を利用する場合

NDPS（Novell Distributed Print Services：NetWare® 5 に付属の新しいプリントサービス）を利用すると、従来の IPX プロトコルによる NDS 接続、バインダリ接続以外に、TCP/IP（LPD）プロトコルを使って本機でプリントすることが可能となります。
NDPSでTCP/IPを使ってプリントする場合は、本機のTCP/IPを設定してください。
NDPS のインストール、設定に関しては、NDPS および NetWare® 5 の使用説明書を参照してください。

お願い

- **NDPS を利用する場合は、次の点に注意してください。**
  - **本機は、組み込み型プリンタエージェント機能は備えていません。**
  - **本機では、NDPS の双方向コミュニケーション機能はサポートされません。**
  - **プリンタエージェントを作成する際には、NDPS に付属の Novell ゲートウェイを利用してください。**

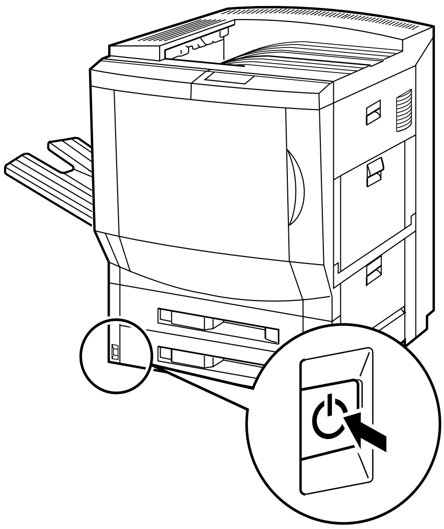
フレームタイプの設定

ネットウェアの仕様に合わせて、使用するフレームタイプを設定します。工場出荷状態では、「ジドウフレームタイプ」に設定されているので、通常は設定を変更する必要はありません。受信データのフレームタイプを判定して、自動的に切り替わります。
フレームタイプを指定して使う場合は、次の手順で設定します。

1

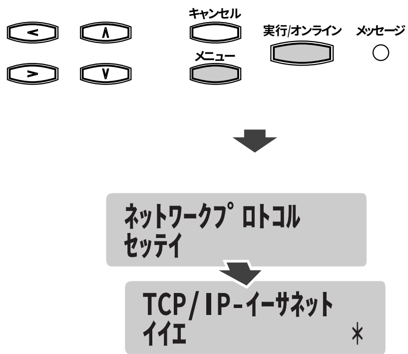
プリンタの電源スイッチを押して電源を入れます。

プリンタの準備が終わると、「インサツカノウ」が表示されます。



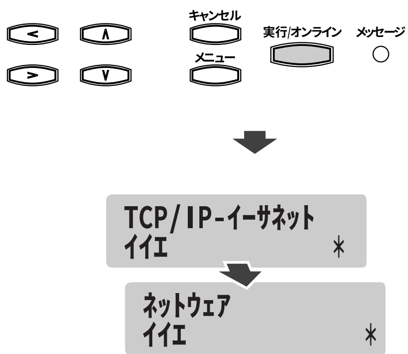
2

（メニュー）キーを押して[ネットワークプロトコルセッテイ]メニューを選択し、（実行）キーを押します。



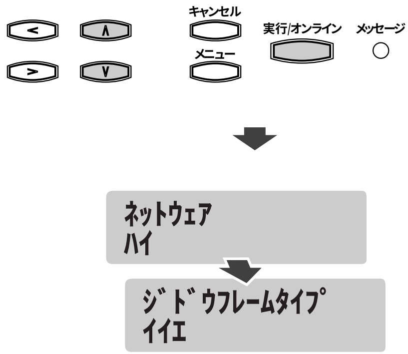
3

何回か（実行）キーを押して、[ネットウェア]を表示します。



4

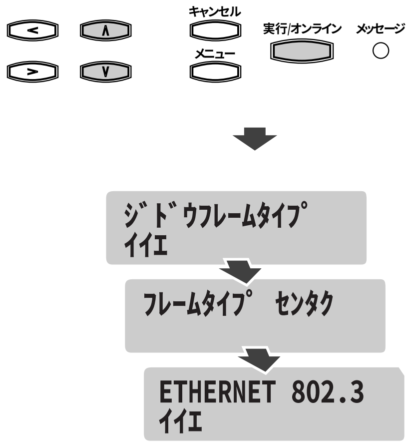
∧、∨キーを押して「ハイ」を選択し、実行キーを押します。



5

∧、∨キーを押して「ハイ」または「イイエ」を選択し、実行キーを押します。

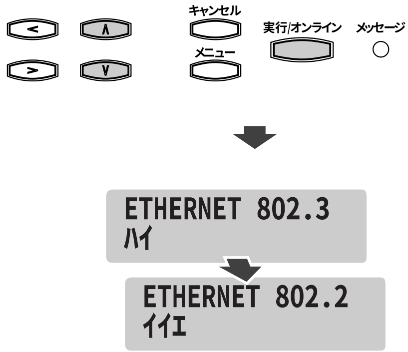
自動フレームタイプを使用する場合は、「ハイ」を選択し、手順**10**へ進んでください。
自動フレームタイプを使用しない場合は、「イイエ」を選択してください。



6

∧、∨キーを押して「ハイ」または「イイエ」を選択し、実行キーを押します。

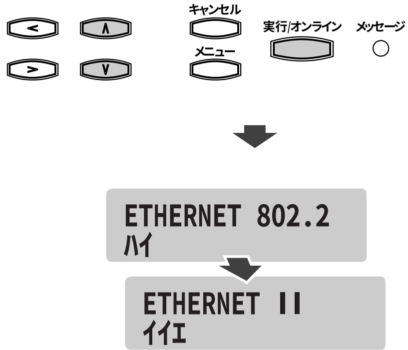
ETHERNET 802.3 を使用する場合は、「ハイ」を選択してください。
ETHERNET 802.3 を使用しない場合は、「イイエ」を選択してください。



7

(∧)、(∨)キーを押して「ハイ」または「イイエ」を選択し、(実行)キーを押します。

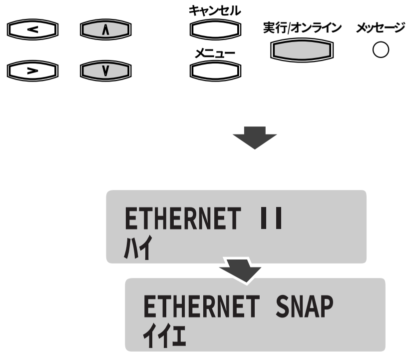
ETHERNET 802.2 を使用する場合は、「ハイ」を選択してください。
ETHERNET 802.2 を使用しない場合は、「イイエ」を選択してください。



8

(∧)、(∨)キーを押して「ハイ」または「イイエ」を選択し、(実行)キーを押します。

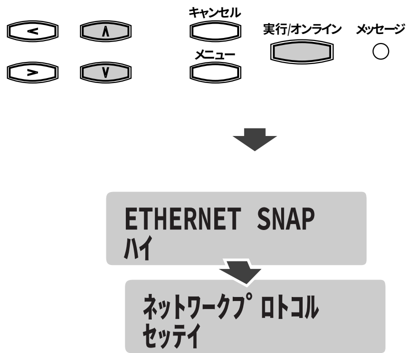
ETHERNET II を使用する場合は、「ハイ」を選択してください。
ETHERNET II を使用しない場合は、「イイエ」を選択してください。



9

(∧)、(∨)キーを押して「ハイ」または「イイエ」を選択し、(実行)キーを押します。

ETHERNET SNAP を使用する場合は、「ハイ」を選択してください。
ETHERNET SNAP を使用しない場合は、「イイエ」を選択してください。



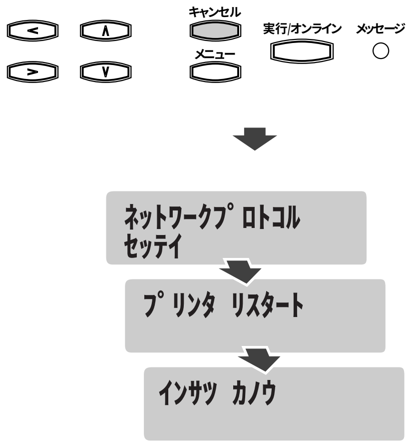
メモ

- **すべてのフレームタイプで「イイエ」を選択すると、自動的にネットウェアが「イイエ」に設定されます。**
- **手動でフレームタイプを設定した場合、本プリンタは設定されたフレームタイプでネットワーク上のサーバを定期的に検索するために、IPX パケットを送出します。上記４つのフレームタイプをすべて［ハイ］に設定すると、ネットワーク上により多くのパケットが送出されることになります。余分なパケットを減らしたい場合は使用するフレームタイプのみを［ハイ］に設定してください。**

10

（キャンセル）キーを押します。

プリンタがリスタートされます。しばらくすると、プリントできる状態に戻ります。



NDS 接続の設定

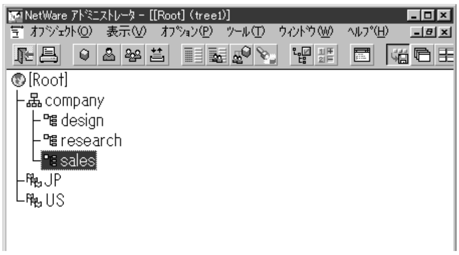
NDS接続の場合は、ネットウェアサーバにプリントキューやNDSプリントサーバを設定した後、本プリンタからNDSツリーを選択します。

NDS プリントキューを作成する

NDS プリントキューは、NetWare アドミニストレータで作成します。

1

［NetWare アドミニストレータ］を起動し、プリントキューを定義するためのコンテナを選択します。



2

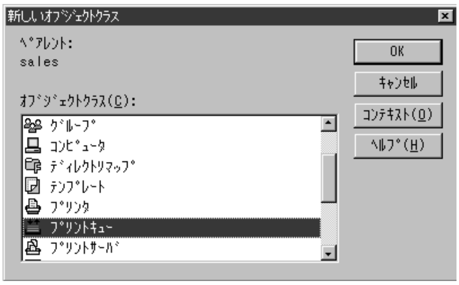
［オブジェクト］メニューから［作成］を選択します。

［新しいオブジェクトクラス］ダイアログボックスが表示されます。

3

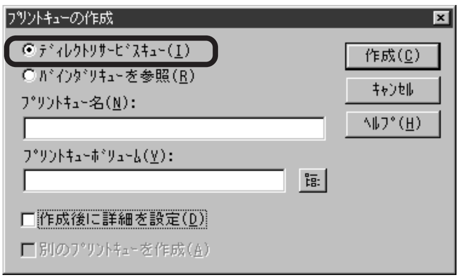
［プリントキュー］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

［プリントキューの作成］ダイアログボックスが表示されます。



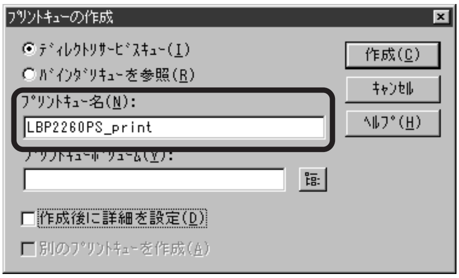
4

［ディレクトリサービスキュー］を選択します。



5

［プリントキュー名］欄に末尾名称付きのプリントキュー名を入力します。



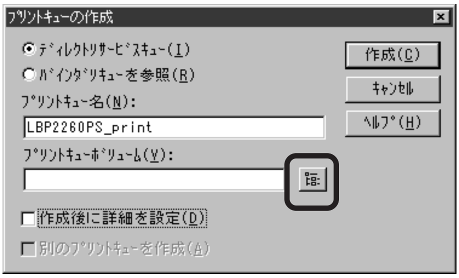
キュー名は、半角英数字で入力してください。また末尾名称は必ず小文字で入力してください。

メモ

- **末尾名称には次のものがあり、ジョブの受信方法や処理が違います。**
  - **_print（印刷キュー）：受信したジョブは一旦ハードディスクにスプールされ、受信順に RIP 処理と印刷処理が行われます。**
  - **_hold（待機キュー）：受信したジョブはハードディスクにスプールされます。WebTools 等でプリントを実行するまでは、RIP 処理と印刷処理が行われません。**
  - **_direct（直接接続）：受信したジョブは、ハードディスクのスプールを介さずに RIP 処理と印刷処理が行われます。**

6

［プリントキューボリューム］右側のツリーアイコンをクリックします。



［オブジェクトの選択］ダイアログボックスが表示されます。

7

［オブジェクト］一覧で印刷ジョブを格納するボリュームを選択し、［OK］ボタンをクリックします。

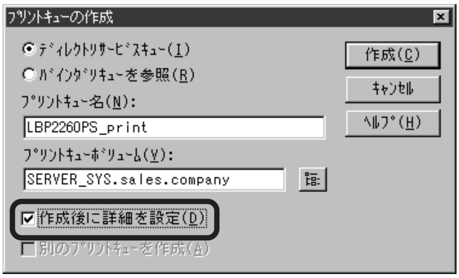


［プリントキューの作成］ダイアログボックスが表示されます。選択したボリュームにキューの印刷ジョブが格納されますので、空き容量が十分あるボリュームを選択してください。

8

［作成後に詳細を設定］を選択してから、［作成］ボタンをクリックします。

［プリントキュー］ダイアログボックスが表示されます。



9

［ユーザ］ボタンをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。



10

guest を追加し、guest アクセスを使用可能に設定します。

キューを使用可能にするには、少なくとも guest アクセスを使用可能にしておく必要があります。guest 以外のユーザを登録することもできます。

11

［OK］ボタンをクリックし、プリントキュー画面を閉じます。

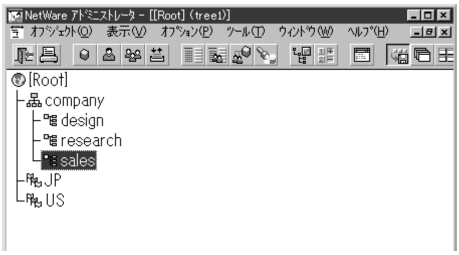


NDS プリンタを作成する

NDS プリンタは、NetWare アドミニストレータで作成します。

1

[NetWareアドミニストレータ]画面で、プリンタを定義するためのコンテナを選択します。



2

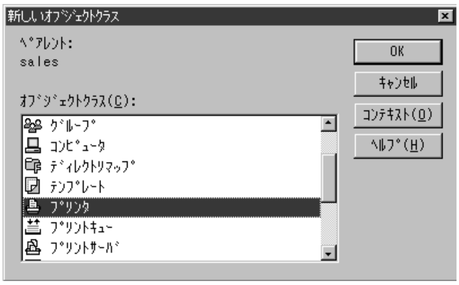
[オブジェクト] メニューから [作成] を選択します。

［新しいオブジェクトクラス］ダイアログボックスが表示されます。

3

[プリンタ] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

［プリンタの作成］ダイアログボックスが表示されます。



4

プリンタ名を入力します。



5

[作成後に詳細を設定] を選択してから、[作成] ボタンをクリックします。

［プリンタ］ダイアログボックスが表示されます。



6

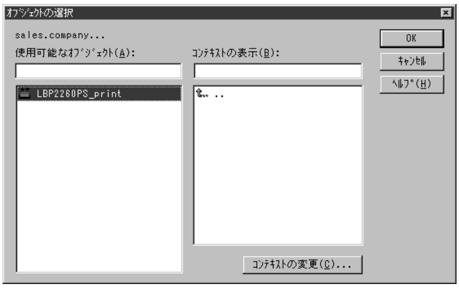
［割り当て］ボタンをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。

［オブジェクトの選択］ダイアログボックスが表示されます。



7

［オブジェクト］一覧で該当のプリントキューを選択し、［OK］ボタンをクリックします。



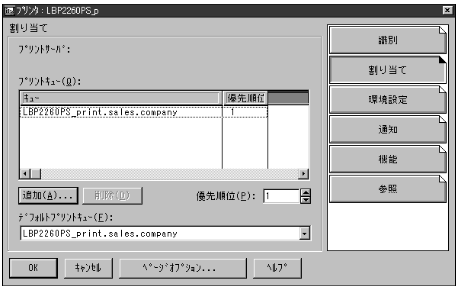
8

［環境設定］ボタンをクリックし、［プリンタタイプ］に「その他 / 不明」、［バーナータイプ］に「ポストスクリプト」を選択して、［OK］ボタンをクリックします。



9

［OK］ボタンをクリックし、プリントキュー画面を閉じます。

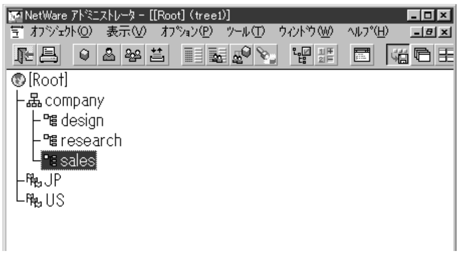


NDS プリントサーバを作成する

NDS プリントサーバは、NetWare アドミニストレータで作成します。

1

[NetWareアドミニストレータ]画面で、プリントサーバを定義するためのコンテナを選択します。



2

[オブジェクト] メニューから [作成] を選択します。

[新しいオブジェクトクラス] ダイアログボックスが表示されます。

3

[プリントサーバ] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



4

プリントサーバ名を入力します。



5

[作成後に詳細を設定] を選択してから、[作成] ボタンをクリックします。



[プリントサーバ] ダイアログボックスが表示されます。

6

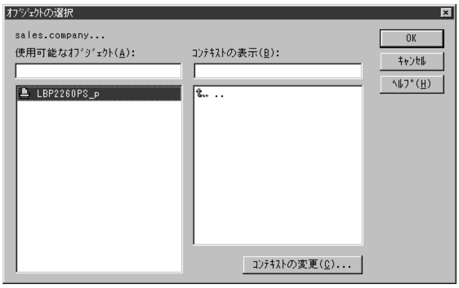
［割り当て］ボタンをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。

［オブジェクトの選択］ダイアログボックスが表示されます。



7

［オブジェクト］一覧で該当プリンタを選択し、［OK］ボタンをクリックします。



8

［OK］ボタンをクリックします。



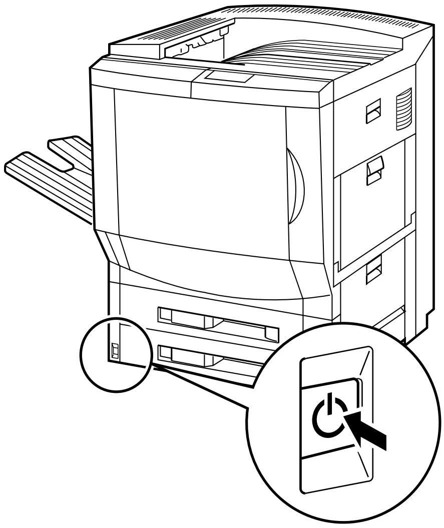
ネットワークサービスを設定する

ネットワークサービスの設定は、プリンタの操作パネルで行います。

1

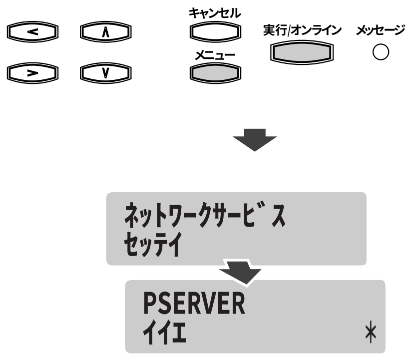
プリンタの電源スイッチを押して電源を入れます。

プリンタの準備が終わると、「インサツカノウ」が表示されます。



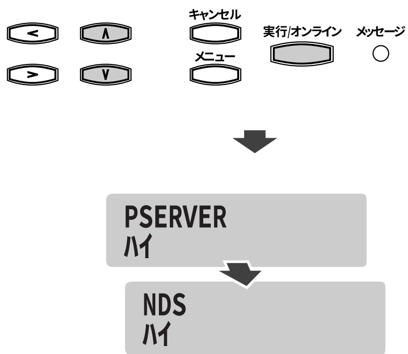
2

メニューキーを押して[ネットワークサービスセッテイ]メニューを選択し、実行キーを押します。



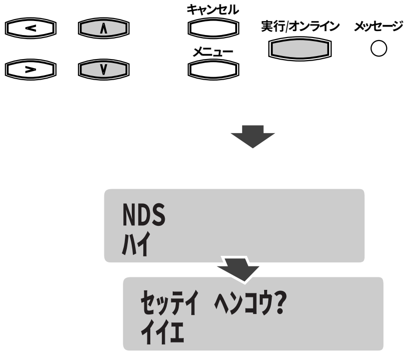
3

∧、∨キーを押して「ハイ」を選択し、実行キーを押します。



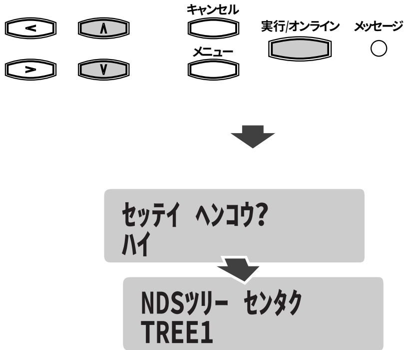
4

∧、∨キーを押して「ハイ」を選択し、実行キーを押します。



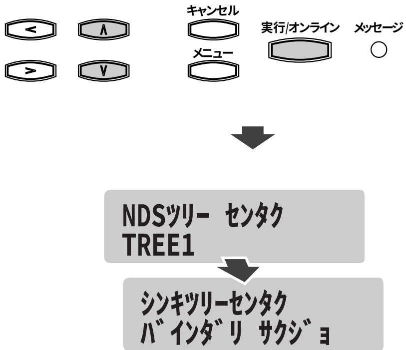
5

∧、∨キーを押して「ハイ」を選択し、実行キーを押します。



6

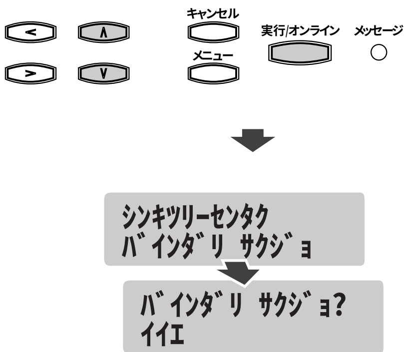
∧、∨キーを押して該当ツリー名を選択し、実行キーを押します。



7

実行キーを押します。

NDSの設定を行うと、すでに設定されているバインダリ設定が消去されます。消去したくないときは、次の手順で「イイエ」を選んでください。NDS設定がキャンセルされます。

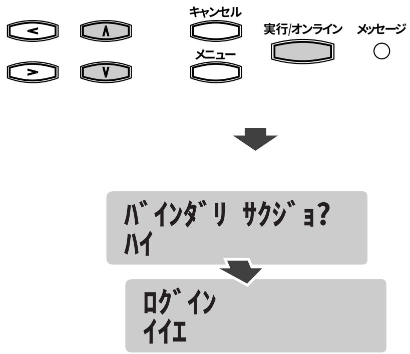


メモ

● NDS設定の他にバインダリ設定も行いたいときは、NDS設定完了後にバインダリ設定を行ってください。

8

∧、∨キーを押して「ハイ」を選択し、実行キーを押します。



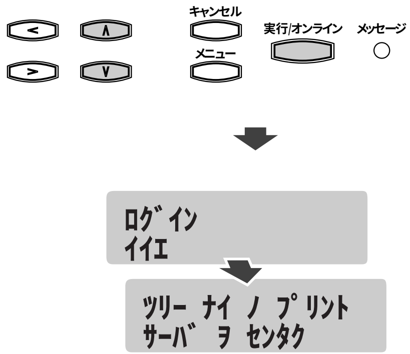
バインダリ設定を残したいときは、「イイエ」を選択してください。NDS設定がキャンセルされます。

メモ

- **NDSの設定を新規追加もしくは変更する場合には、バインダリ設定を一度消去する必要があります。**

9

∧、∨キーを押して「イイエ」を選択し、実行キーを押します。

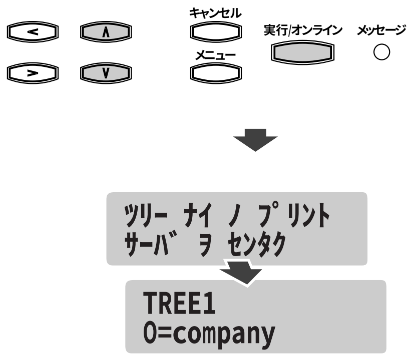


メモ

- **プリンタキューに使用制限やパスワードを設定してある場合は、「ハイ」を選択してログインを行ってください。プリンタキューの使用権限やパスワードについては、ネットワーク管理者へお問い合わせください。**

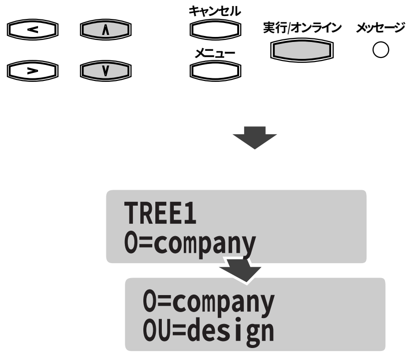
10

実行キーを押します。



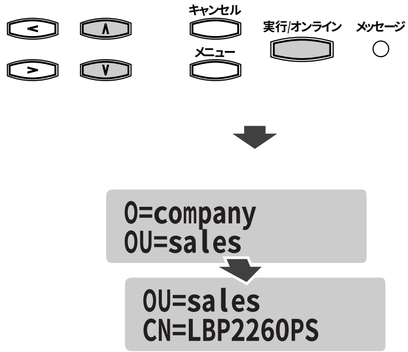
11

∧、∨キーを押して組織名を選択し、実行キーを押します。



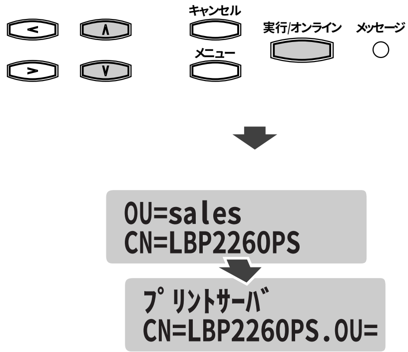
12

∧、∨キーを押して部門名を選択し、実行キーを押します。



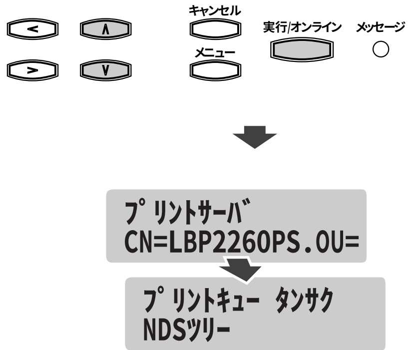
13

∧、∨キーを押してプリントサーバ名を選択し、実行キーを押します。



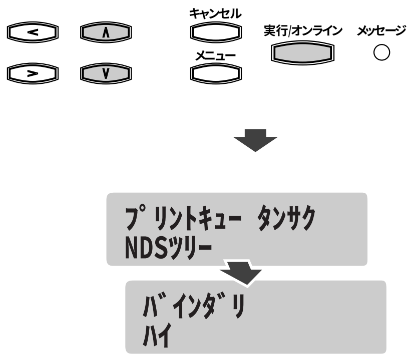
14

選択したプリントサーバ名を確認し、実行キーを押します。



15

∧、∨キーを押して「NDS ツリー」を選択し、実行キーを押します。

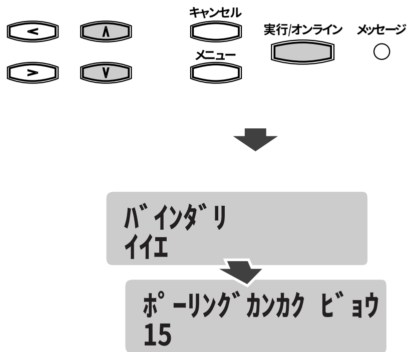


メモ

- ツリーを指定するときは、「サブツリー」を選択し、ツリー名を選択してください。目的のサブツリーを選択し、実行キーを押します。サブツリーを確定するためには「.」（ピリオド）が表示されるまで∧、∨キーを押して、表示されたら実行キーを押します。
- バインダリの設定を行わない場合は、バインダリ設定を「ハイ」から「イイエ」に変更してください。

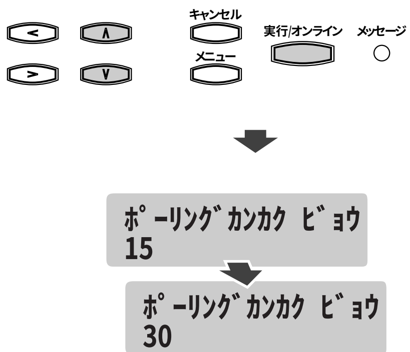
16

∧、∨キーを押して「イイエ」を選択し、実行キーを押します。



17

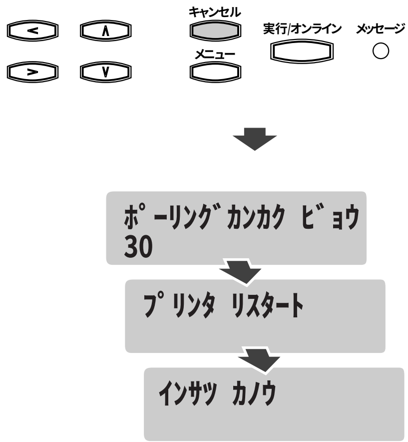
∧、∨キーを押してポーリング間隔の時間を設定し、実行キーを押します。



18

（キャンセル）キーを押します。

プリンタがリスタートされます。しばらくすると、プリントできる状態に戻ります。



バインダリ接続の設定

バインダリ接続の場合は、ネットウェアサーバにプリントキューを設定した後、本プリンタからプリントキューを選択します。NetWare 4.x のバインダリエミュレーションモードで設定を行うときは、先にバインダリコンテキストの設定を行ってください。

バインダリコンテキストを設定する

バインダリコンテキストの設定は、NetWare 4.x の場合のみ必要で、NetWare 3.12 の場合は操作不要です。NetWare 3.12の場合は、「バインダリ用プリントキューを設定する」（P.98）へ進んでください。
バインダリのコンテキストは、次の手順で設定します。

1

プリントキュー用のファイルサーバと本プリンタ内蔵プリンタサーバとの接続を確立します。

この作業は、ファイルサーバのコンソールからネットワーク管理者が行ってください。

メモ

- **ファイルサーバの設定については、ネットウェアの使用説明書をご覧ください。**

2

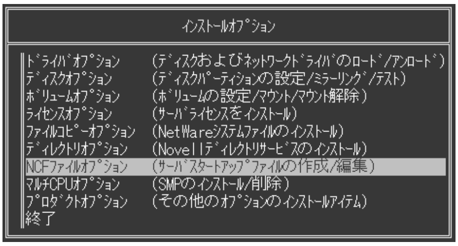
ネットウェアサーバのコマンド入力行で、「load install」と入力します。

［インストールオプション］画面が表示されます。

3

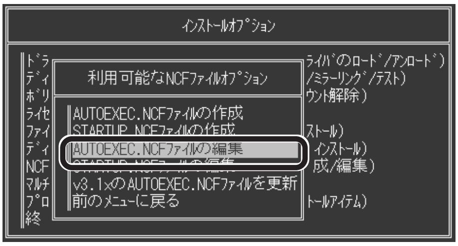
［NCF ファイルオプション］を選択し、［Enter］キーを押します。

［使用可能な NCF ファイルオプション］画面が表示されます。



4

［AUTOEXEC.NCFファイルの編集］を選択し、［Enter］キーを押します。



5

任意の空白行に、「set Bindery Context = xxxxx」を入力します。

xxxxx には、ネットワーク管理者が決めたバインダリコンテキストを入力してください。



6

［ESC］キーを押してウィンドウを閉じます。

7

ネットウェアサーバを再起動します。

再起動時に追加したコマンドがロードされます。ネットウェアサーバを再起動できないときは、コマンド入力画面で「set Bindery Context = xxxxx」を入力して、コマンドをロードしてください。

バインダリ用プリントキューを設定する

プリントキューはpconsoleで設定します。ここでは、NetWare 3.12の画面を例に説明しています。

1

ネットウェアサーバにSUPERVISORとしてログインします。

NetWare 4.xの場合は、adminとしてログインしてください。

2

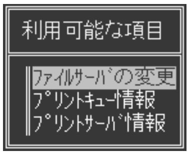
MS-DOS画面で「pconsole」と入力します。

［pconsole］画面が表示されます。NetWare 4.xの場合は、［F4］キーを押して［バインダリ］モードを選択してください。

3

［ファイルサーバの変更］を選択し、［Enter］キーを押します。

NetWare 4.xの場合は、［NetWareサーバの変更］を選択してください。



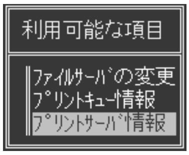
4

矢印キーでファイルサーバ名を選択し、［Enter］キーを押します。



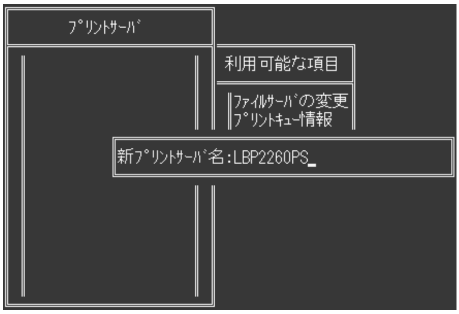
5

[利用可能な項目] で [プリントサーバ情報] を選択し、[挿入] キーを押します。



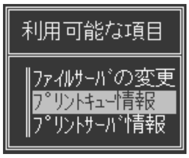
6

新しいプリントサーバ名を入力して [Enter] キーを押し、[ESC] キーを押します。



7

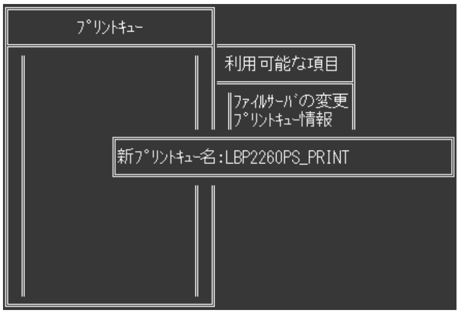
[利用可能な項目] で [プリントキュー情報] を選択し、[挿入] キーを押します。



8

新しいプリントキュー名を入力して [Enter] キーを押し、[ESC] キーを押します。

キュー名は、必ず半角英数字で入力してください。



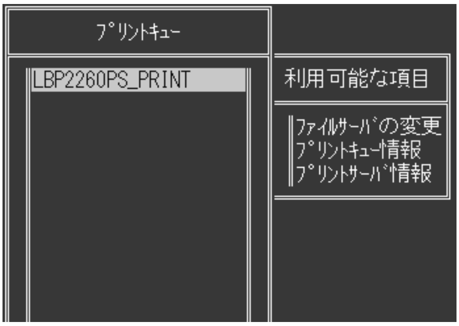
メモ

- 末尾名称には次のものがあり、ジョブの受信方法や処理が違います。
  - _print（印刷キュー）：受信したジョブは一旦ハードディスクにスプールされ、受信順に RIP 処理と印刷処理が行われます。
  - _hold（待機キュー）：受信したジョブはハードディスクにスプールされます。WebTools 等でプリントを実行するまでは、RIP 処理と印刷処理は行われません。
  - _direct（直接接続）：受信したジョブは、ハードディスクのスプールを介さずに RIP 処理と印刷処理が行われます。
- NetWare 3.12 の場合は、入力した文字がすべて大文字になります。NetWare 4.xの場合は、小文字で入力することができます。末尾名称は、小文字で入力してください。

9

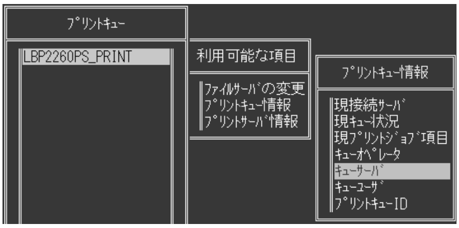
［プリントキュー］リストで作成したキュー名が選択されていることを確認し、［Enter］キーを押します。

［プリントキュー情報］メニューが表示されます。



10

［キューサーバ］を選択し、［Enter］キーを押します。



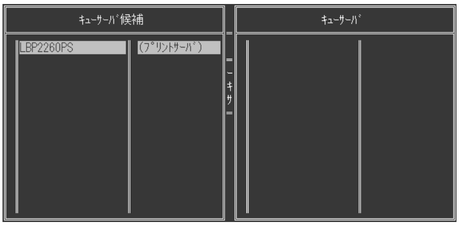
11

［挿入］キーを押します。
［キューサーバ候補］リストが表示されます。

12

矢印キーでプリントサーバ名を選択し、［Enter］キーを押します。

選択したプリントサーバ名が［キューサーバ］リストに表示されます。



メモ

- 別のファイルサーバ上にプリントサーバを設定する場合は、［ESC］キーでウィンドウを閉じて［利用可能な項目］メニューまで戻り、手順 ***3*** からの操作を繰り返します。

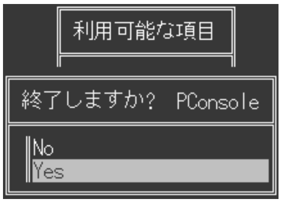
13

設定が終わったら、4回［ESC］キーを押します。

「終了しますか? PConsole」が表示されます。

14

「Yes」を選択し、［Enter］キーを押して終了します。



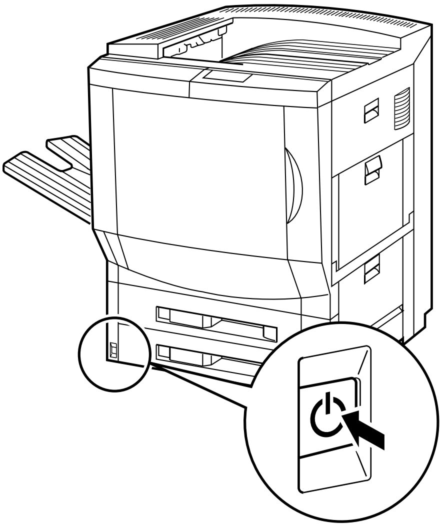
ネットワークサービスを設定する

ネットワークサービスの設定は、プリンタの操作パネルで行います。

1

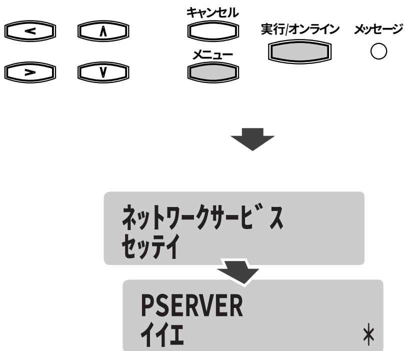
プリンタの電源スイッチを押して電源を入れます。

プリンタの準備が終わると、「インサツカノウ」が表示されます。



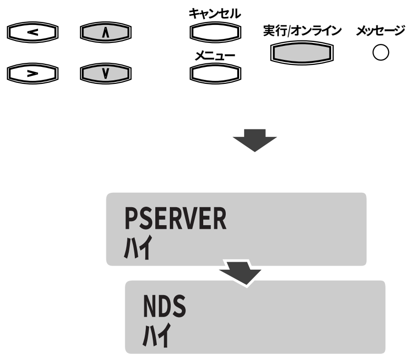
2

（メニュー）キーを押して［ネットワークサービスセッテイ］メニューを選択し、（実行）キーを押します。



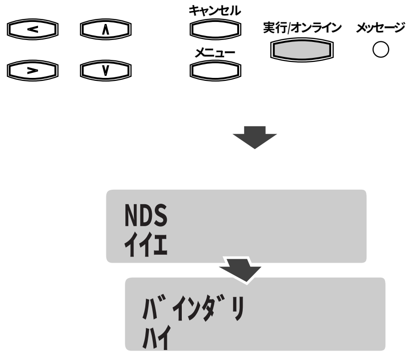
3

Ʌ、V キーを押して「ハイ」を選択し、実行 キーを押します。



4

Ʌ、V キーを押して「イイエ」を選択し、実行 キーを押します。

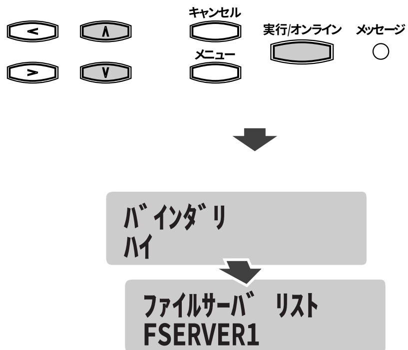


メモ

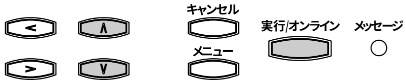
- NDSとバインダリの設定を同時に行う場合は、NDS設定で「ハイ」を選択し、次の設定変更の確認で「イイエ」を選択してください。

5

Ʌ、V キーを押して「ハイ」を選択し、実行 キーを押します。



6



∧、∨キーを押して該当ファイルサーバを選択し、実行キーを押します。

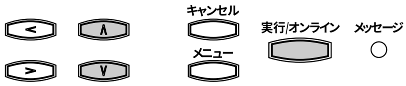
ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ ﾘｽﾄ
FSERVER1

ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ
LBP2260PS

メモ

- プリンタキューに使用制限やパスワードを設定した場合は、ログインを行ってください。プリンタキューの使用権限やパスワードについては、ネットワーク管理者へお問い合わせください。
- 本書では、Guestアカウントが NetWare サーバに存在し、かつ Guest アカウントがパスワードを持たない場合を例に説明しています。もし Guest アカウントがNetWareサーバに存在しない、もしくはGuestアカウントにパスワードが設定されている場合は、プリンタのメニューに［ファイルサーバ　ログイン］画面が表示されます。その場合は、ログインユーザ名とパスワードを本プリンタの操作パネルから入力してください。

7



∧、∨キーを押して該当プリントサーバ名を選択し、実行キーを押します。

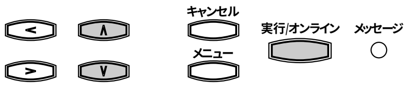
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ
LBP2260PS

ﾎｶﾉｻｰﾊﾞ ｾﾝﾀｸ?
ｲｲｴ

メモ

- プリンタサーバにパスワードが設定されている場合は、パスワード入力画面が表示されますので、パスワードを入力してください。パスワードについては、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

8



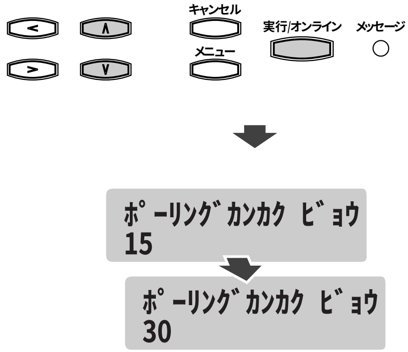
実行キーを押します。

ﾎｶﾉｻｰﾊﾞ ｾﾝﾀｸ?
ｲｲｴ

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞｶﾝｶｸ ﾋﾞｮｳ
15

9

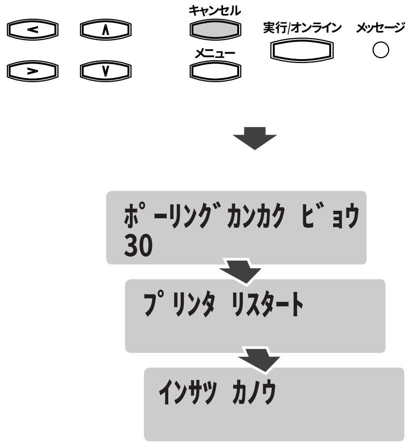
∧、∨キーを押してポーリング間隔の時間を設定し、実行キーを押します。



10

キャンセルキーを押します。

プリンタがリスタートされます。しばらくすると、プリントできる状態に戻ります。



ネットウェアWindowsクライアントの設定

ネットウェアサーバに設定されたプリントキューは、ネットウェアクライアントソフトがインストールされているクライアントパソコンから利用することができます。ネットウェアサーバの設定と本プリンタの設定が終わったら、クライアントパソコンに次の設定を行ってください。

- ネットウェア用のネットワークプロトコルをインストールし、ネットワークアダプタカードへプロトコルをバインドして、クライアントがネットウェアファイルサーバへログインする許可を与えます。
  Windows 95/98の場合は、［コントロールパネル］の［ネットワーク］でIPX/SPX互換プロトコルとネットウェアネットワーククライアントをロードします。
  WindowsNT 4.0ワークステーションの場合は、Client service for NetWareをインストールし、［コントロールパネル］の［CSNWオプション］で印刷設定やネットウェアサーバの選択を行います。
  Windows 2000 Professionalの場合は、［ローカルエリア接続］にNWLink IPX/SPX/NetBIOSトランスポートプロトコルとネットウェア用クライアントサービスがインストールされている必要があります。
- 付属のUser Software CD-ROMからPostScriptプリンタドライバやプリンタ記述ファイル（PPDファイル）をインストールします。
- ネットワークポートを追加し、設定したネットウェアサーバのプリントキューにクライアントを接続します。

メモ

● ネットウェアの操作については、ネットウェアの使用説明書をご覧ください。

Windows の設定

本プリンタは、Windowsのネットワーク（NetBIOS over IP）で使用することができます。ネットワーク上に Windows NT サーバがある（WINS サーバがある）場合は、SMB の設定で Windows NT サーバの IP アドレスとドメイン名を設定します。
ネットワークに Windows 95/98 パソコンのみを接続して使用している（WINS サーバがない）場合は、SMBの設定でワークグループ名を設定し、各パソコンのネットワーク設定でファイル共有機能を有効に設定します。

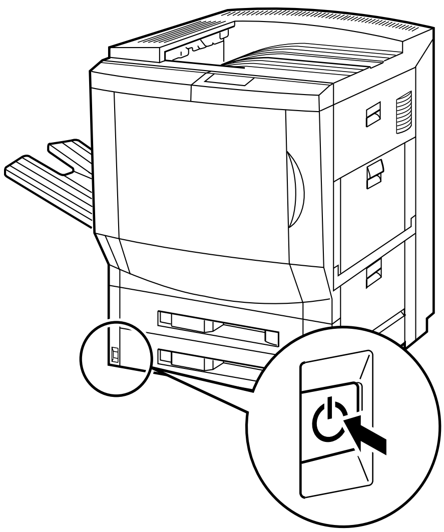
SMB の設定

SMB の設定は、先に TCP/IP の設定（P.71）を行った後、次の手順で行います。

1

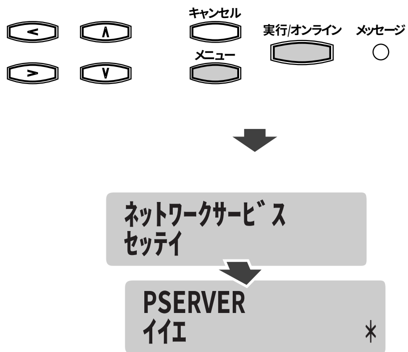
プリンタの電源スイッチを押して電源を入れます。

プリンタの準備が終わると、「インサツカノウ」が表示されます。



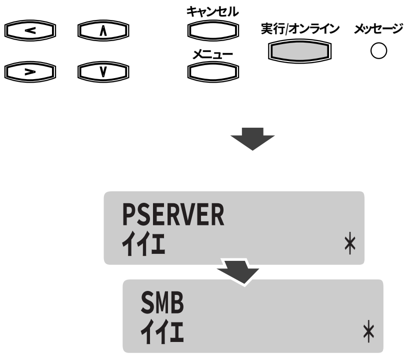
2

メニューキーを押して［ネットワークサービスセッテイ］メニューを選択し、実行キーを押します。



3

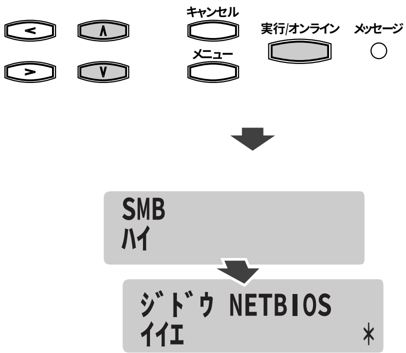
何回か実行キーを押して、［SMB］を表示します。



4

∧、∨キーを押して「ハイ」を選択し、実行キーを押します。

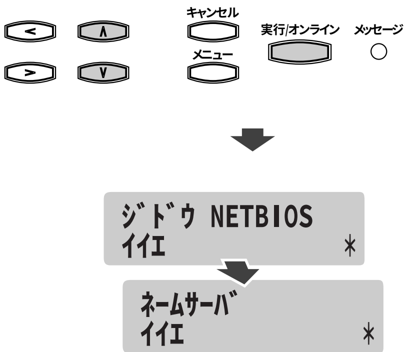
固定 IP アドレスを使用している場合は、手順 ***6*** へ進んでください。



5

∧、∨キーを押して「ハイ」または「イイエ」を選択し、実行キーを押します。

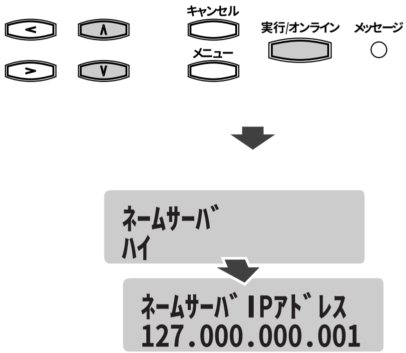
自動NetBIOSを使用する場合は、「ハイ」を選択し、手順 ***9*** へ進んでください。
自動 NetBIOS を使用しない場合や Windows95/98 パソコンのみの場合（WINS サーバがない場合）は、「イイエ」を選択してください。



6

∧、∨キーを押して「ハイ」または「イイエ」を選択し、実行キーを押します。

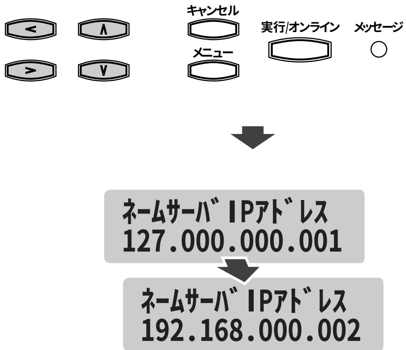
WindowsNTサーバ（WINSサーバ）がある場合は、「ハイ」を選択してください。Windows95/98パソコンのみの場合（WINSサーバがない場合）は、「イイエ」を選択し、手順**9**へ進んでください。



7

ネームサーバIP アドレスを 1 桁ずつ∧、∨キーで設定して、<、>キーを押して次の桁へ進みます。

ネームサーバIPアドレスは、すべての桁を設定してください。「0」や「12」のように桁が少ないときは、「000」や「012」のように0を補完して入力してください。



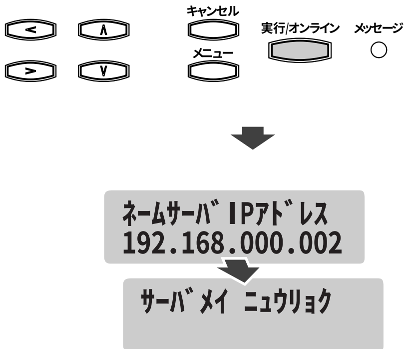
お願い

- **ネームサーバIP アドレスは指定されたものを正確に入力してください。ネームサーバIP アドレスに該当する機器がない場合、プリンタがネットワーク上で正しく機能しません。**

8

すべて入力し終わったら、実行キーを押します。

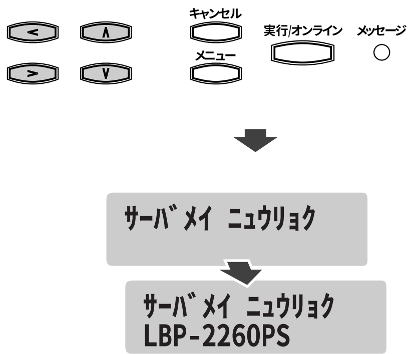
ネームサーバIPアドレスが設定されます。



9

サーバ名を 1 桁ずつ∧、∨キーで設定して、<、>キーを押して次の桁へ進みます。

サーバ名は、最大 15 文字まで入力できます。



お願い

- **サーバ名は、ネットワーク上の他の機器と違う名称を設定してください。同じ名前が重複すると、プリンタがネットワーク上で正しく機能しません。**
- **サーバ名にスペース（空白）が含まれていると、ソフトウェアのバージョンによって Windows ネットワーク上で認識されないことがあります。**

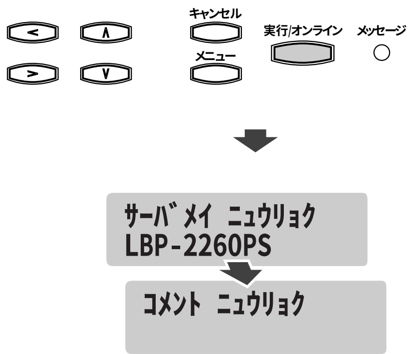
メモ

- **サーバ名やドメイン名、コメントには、次の文字が使用できます。0-9,A-Z,-,.,_,!,#,$,@,%,&,'.(,),^,{,},~, スペース（空白）**

10

すべて入力し終わったら、実行キーを押します。

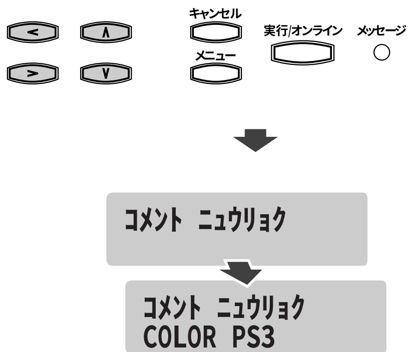
サーバ名が設定されます。



11

コメントを 1 桁ずつ∧、∨キーで設定して、<、>キーを押して次の桁へ進みます。

コメントは、最大 15 文字まで入力できます。省略することもできます。

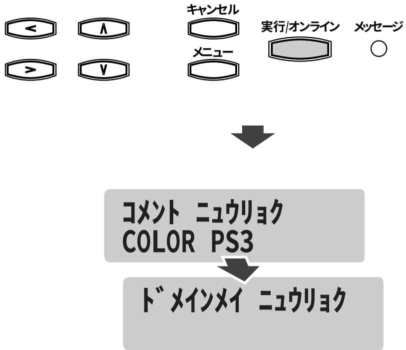


3
第 3 章 ネットワークの設定

12

すべて入力し終わったら、［実行］キーを押します。

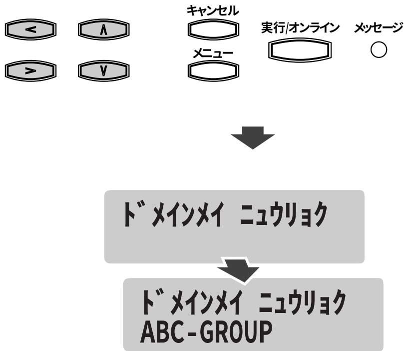
コメントが設定されます。



13

ドメイン名を 1 桁ずつ［∧］、［∨］キーで設定して、［<］、［>］キーを押して次の桁へ進みます。

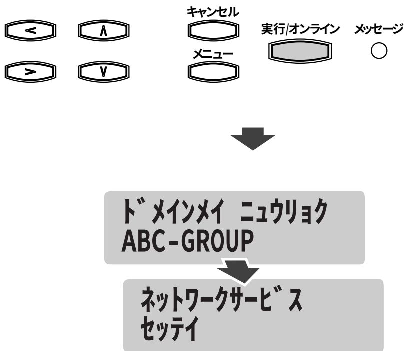
ドメイン名は、最大 15 文字まで入力できます。
WindowsNTサーバ（WINSサーバ）がある場合は、ドメイン名を入力します。
Windows95/98 パソコンのみの（WINSサーバがない）場合は、パソコンで使用しているワークグループ名を入力します。



14

すべて入力し終わったら、［実行］キーを押します。

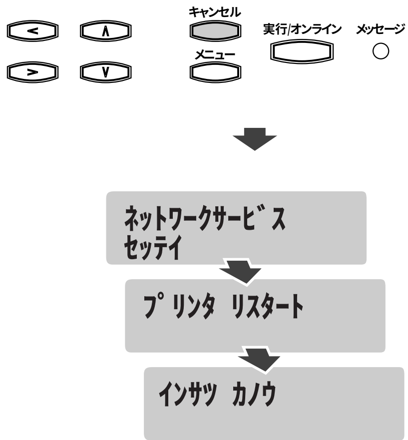
ドメイン名またはワークグループ名が設定されます。



15

キャンセルキーを押します。

プリンタがリスタートされます。しばらくすると、プリントできる状態に戻ります。



Windows95/98パソコンのネットワーク設定

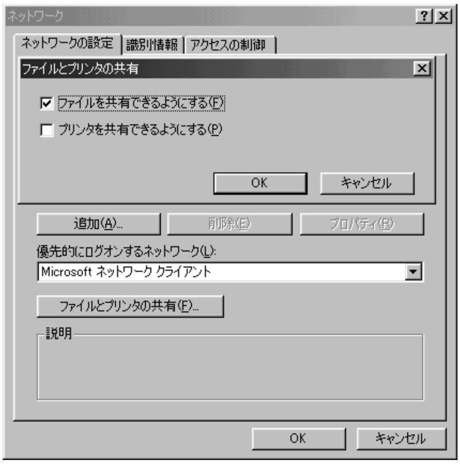
Windows 95/98 パソコンのみでで使用している（WINS サーバがない）場合は、次の手順で各パソコンのネットワーク設定でファイル共有機能を有効にしてください。

1

各Windows 95/98パソコンで［コントロールパネル］の［ネットワーク］を開きます。

2

［ファイルとプリンタの共有］ボタンをクリックし、［ファイルを共有できるようにする］をチェックして、［OK］ボタンをクリックします。



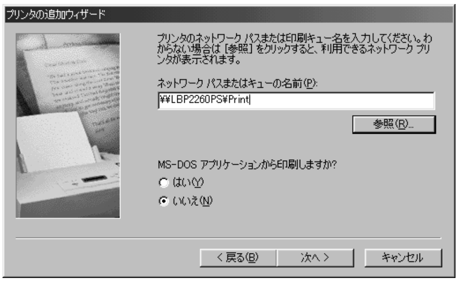
これで、Windows95/98 でネットワークを参照した際に、本機が表示されます。



メモ

● 次の場合、Windows でネットワークを参照しても本機は表示されません。
- 本機がネットワーク上で起動してから十分な時間（最長 15 分間）が経過していない場合
- 本機を接続したネットワークとコンピュータが別のサブネット上に存在する場合
- 本機に設定したワークグループ名とコンピュータが属しているワークグループ名が異なる場合

ただし、デスクトップ上に本機が表示されなくても、コンピュータから本機で印刷することは可能です。
「プリンタの追加ウィザード」の「ネットワークパスまたはキューの名前」に直接次のフォーマットでネットワークパスを入力してください。
\\（SMB サーバ名）\print



コンピュータと本機が IP ネットワークで正しく接続されているかどうかは、Windows の MS/DOS プロンプトで PING コマンドを入力して確認できます。また、コンピュータおよびプリンタのワークグループ名（またはドメイン名）が正しく設定されていれば、［スタート］ボタンの［検索］-［他のコンピュータ］で LBP-2260PS を検索することができます。

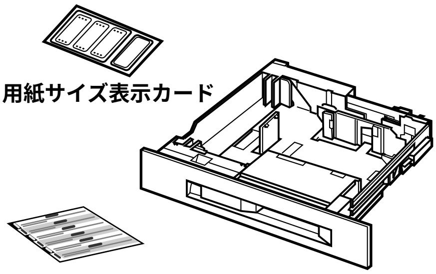
第 4 章

オプションの取り付け

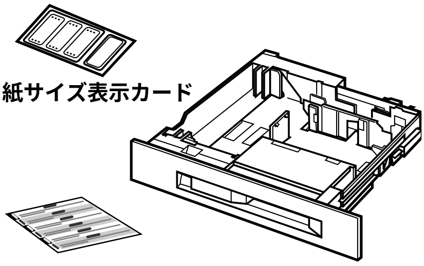
500 枚カセット

500 枚カセット CS-82（B5R、A5R）や 500 枚ユニバーサルカセット UC-82 は、プリンタ本体の上段カセット（カセット 1）または 2 × 500 枚ペーパーデッキの上段カセット（カセット 3）と入れ替えて使用します。500 枚ユニバーサルカセット UC-82K はプリンタ本体の下段カセット（カセット 2）または 2 × 500 枚ペーパーデッキ下段（カセット 4）と入れ替えて使用します。
取り付け作業を始める前に、以下のものがパッケージにすべて揃っているか確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

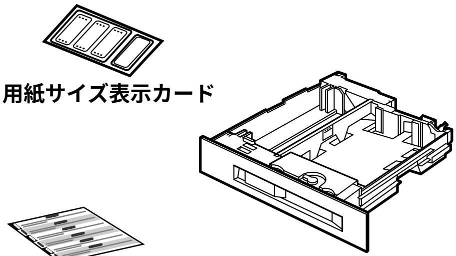
● 500 枚カセット CS-82 B5R



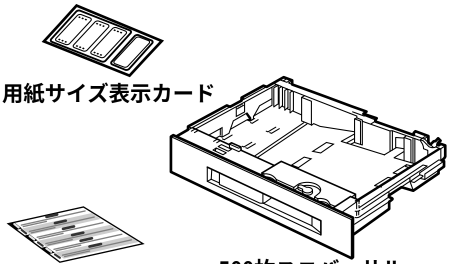
● 500 枚カセット CS-82 A5R



● 500 枚ユニバーサルカセット UC-82



● 500 枚ユニバーサルカセット CS-82K



お願い

● 500 枚カセット CS-82（B5R、A5R）は、プリンタ本体の上段カセット（カセット 1）および 2 × 500 枚ペーパーデッキの上段カセット（カセット 3）の交換用カセットです。プリンタ本体の下段カセット（カセット 2）または 2 × 500 枚ペーパーデッキ下段（カセット 4）に取り付けることはできません。

500 枚カセットは、次の手順で取り付けます。上段カセット、下段カセット共に同様の手順で交換できます。

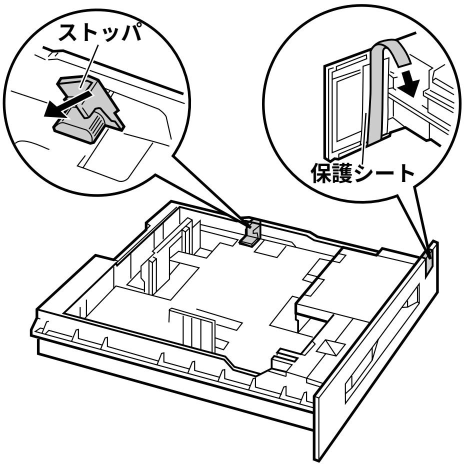
1

給紙カセットをパッケージから取り出します。

2

給紙カセット内部のストッパと保護シート、ビニール袋を取り除きます。

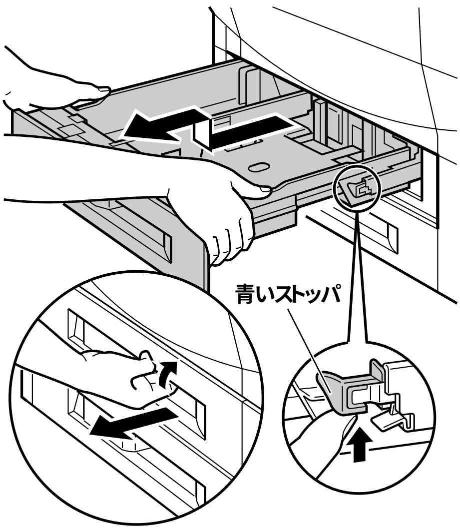
ストッパは､カセット内の金属プレートを押し下げながら､ストッパを左奥方向へ倒して取り外します。



3

標準装備の給紙カセットを抜き取ります。

給紙カセットのロックレバーを引いて給紙カセットをいっぱいに引き出した後、右側面の青いストッパを上に押し上げながら給紙カセットを上に持ち上げてさらに引くと外れます。



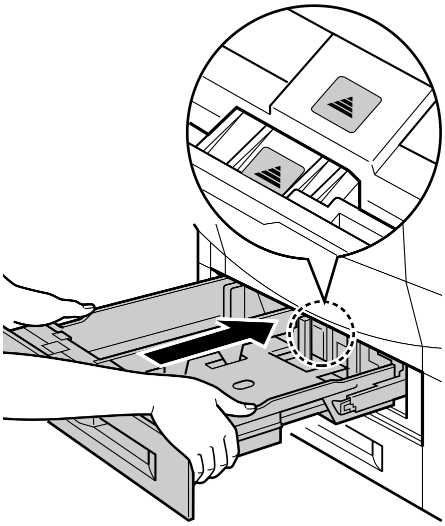
お願い

● **抜き取った給紙カセットは、安全な場所に保管しておいてください。**

4

オプションの給紙カセットをセットします。

給紙カセット下部の溝と左側をプリンタ本体のガイドに合わせ、まっすぐに押し込みます。



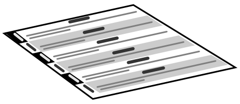
プリンタ本体の三角マークと給紙カセットの三角マークを合わせ、給紙カセットの左端を本体のガイドに載せる

お願い

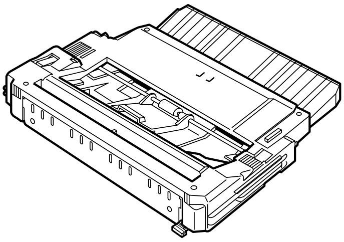
- **上下や左右にゆがんだ状態で無理に押し込まないでください。給紙カセットが破損する原因となります。**
- **500 枚カセット CS-82（B5R、A5R）に用紙をセットするときは、用紙を縦送り方向でセットしてください。**

両面ユニット

両面ユニットは、本体左下カバーの内部に取り付けます。取り付け作業を始める前に、以下のものがパッケージにすべて揃っているか確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。



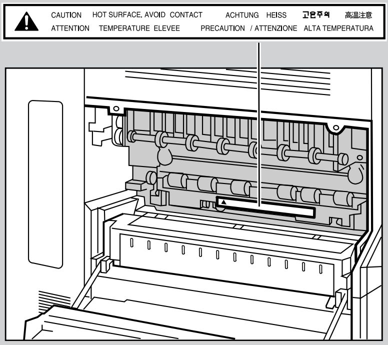
ガイドシート



両面ユニット DU-82

注意

- **本体左下カバー内部の定着器や排紙部付近は、プリンタの使用中には非常に高温になっており、不用意に触るとやけどをする恐れがあります。プリンタを直前まで使用していた状態で両面ユニットの取り付け作業を行うときは、電源をオフにしてからしばらく時間をおき、完全に冷えてから作業を行ってください。**



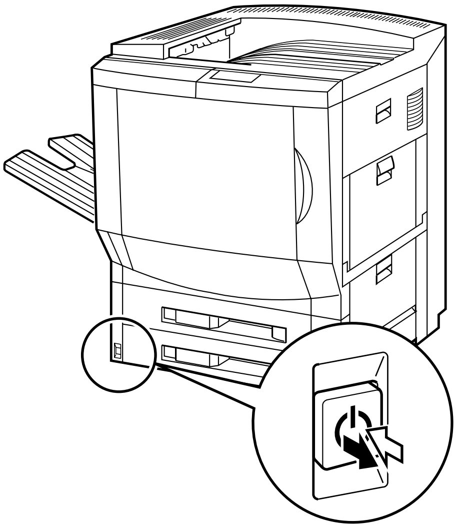
お願い

- **プリンタ本体の設置やペーパーデッキと同時にオプションの両面ユニットを取り付けるときは、プリンタ本体を 2000 枚ペーパーデッキまたは 2 × 500 枚ペーパーデッキ、2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L、ペディスタルに設置した後で取り付けてください。**
- **プリンタ本体の設置後に両面ユニットを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにしてから作業を行ってください。**

両面ユニットは、次の手順で取り付けします。

1

電源スイッチを押して、プリンタをオフにします。

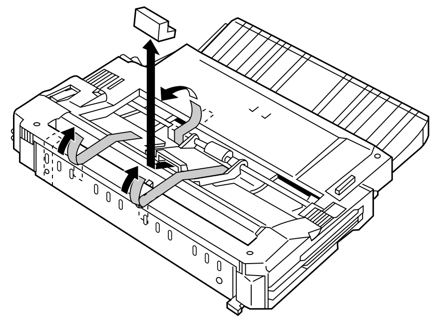


2

両面ユニットをパッケージから取り出します。

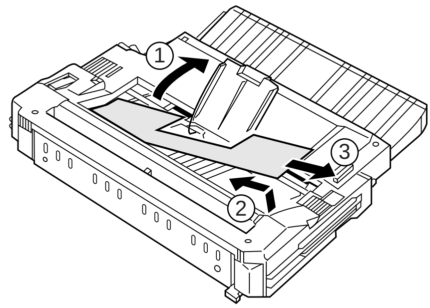
3

ストッパやスペーサを取り除きます。



4

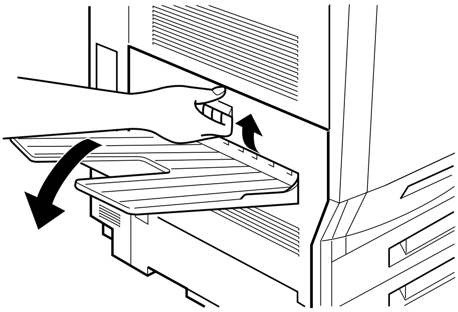
保護シートを取り除きます。



5

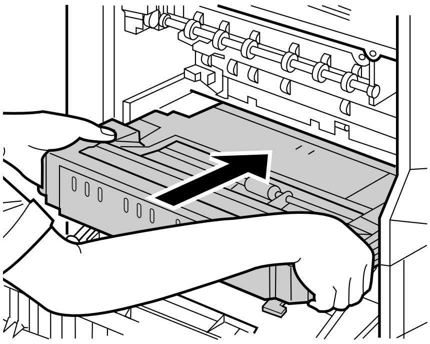
本体左下カバーを開きます。

カバーは、ハンドルに手を入れ、奥のレバーを手前に引くとロックが外れます。そのままゆっくりと下まで開きます。



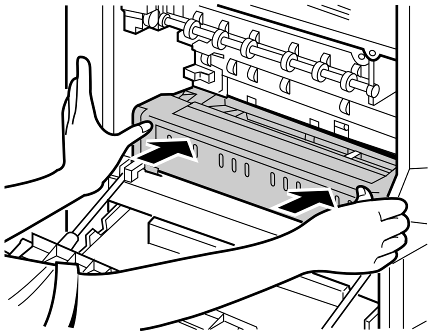
6

両面ユニットを図のように両手で持ち、両面ユニット用スロットに差し込みます。



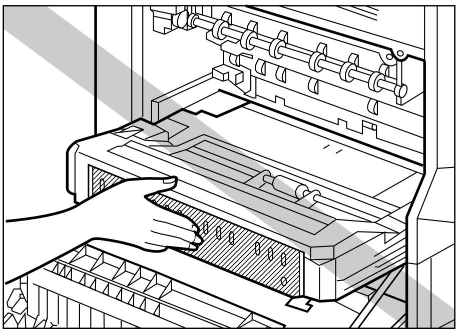
7

両面ユニットを途中まで差し込んだら、図のように両面ユニットの両側に親指をかけ、カチッと音がしてロックするまで押し込みます。



お願い

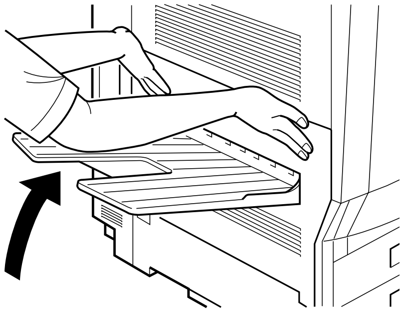
- **両面ユニット背面の金属板の部分を押さないでください。金属板が変形して、給紙不良や紙づまりの原因となることがあります。**



8

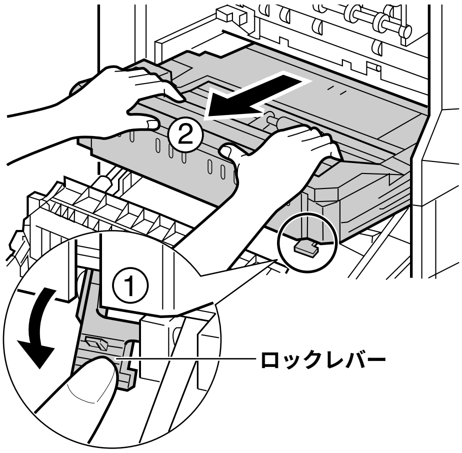
本体左下カバーを閉じます。

カチッと音がしてロックするまで､両手でしっかりと押さえてください。



両面ユニットを取り出すときは
一度取り付けた両面ユニットを取り外すときは、次のように操作します。

① 両面ユニット右下のロックレバーを押し下げます。
② 両面ユニットを図のように両手で引き出し、ゆっくりと取り出します。

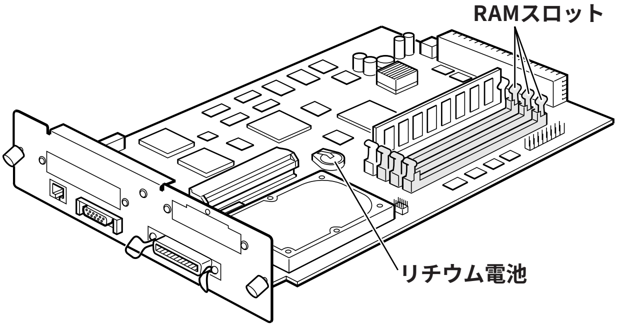


お願い

● 両面ユニット背面の金属板の部分を押さないでください。金属板が変形して、給紙不良や紙づまりの原因となることがあります。

拡張RAM

拡張RAMは、本体内部のインタフェースボードに取り付けます。RAMスロットは4つあり、標準で64MBのRAM DIMMが1枚取り付けられています。拡張RAMは、合計3枚まで取り付けることができます。



警告

- インタフェースボード上のリチウム電池には、直接手を触れないでください。また、絶対に分解しないでください。

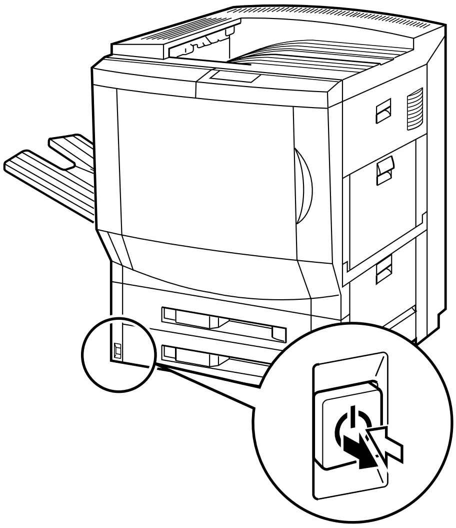
お願い

- プリンタ本体の設置後に拡張RAMを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、インタフェースケーブルや電源コードを取り外し、作業しやすい場所に移動して作業を行ってください。
- 拡張RAMやインタフェースボードには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気によるの破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のようなことをお守りください。
  - 一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業をしてください。
  - 作業中に、コンピュータのディスプレイなど、静電気を発生しやすいものに触れないでください。
  - 基板の部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - 静電気の影響を避けるために、拡張RAMは取り付ける直前まで袋から取り出さないでください。

拡張 RAM は、次の手順で取り付けます。

1

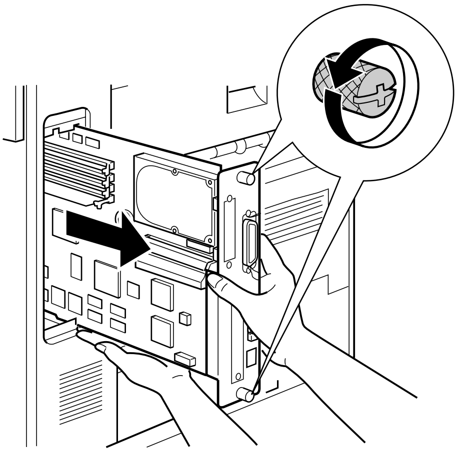
プリンタの電源スイッチをオフにし、インタフェースケーブルと電源ケーブルを取り外します。



2

インタフェースボードを、上下のネジをゆるめて抜き取ります。

インタフェースボードのネジを緩めたらネジを持って途中まで引き出し、図のように両手で持って取り外します。



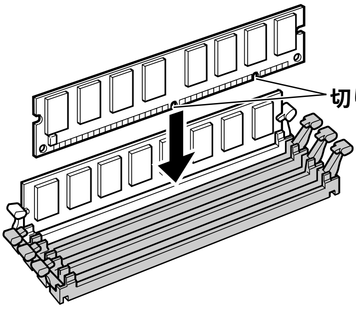
お願い

- **取り出したインタフェースボードは、水平で作業しやすい場所に置いてください。**
- **作業中にネジなどの金属がインタフェースボードにつかないように注意してください。**

3

両側のレバーを開き、RAM をスロットに取り付けます。

RAM は、切り欠きの位置をスロットガイド溝の突起に合わせてしっかりと差し込みます。RAM が完全に差し込まれるとレバーが戻り、ロックします。



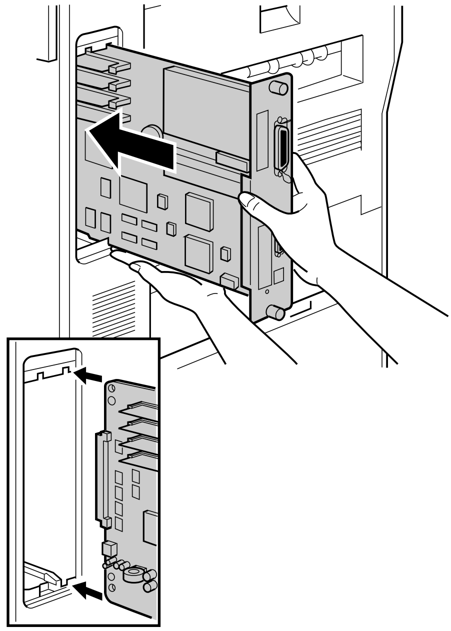
お願い

- **拡張RAMの表面やインタフェースボードの部品には直接手を触れないでください。**

4

RAMを取り付けたインタフェースボードをプリンタ本体に戻します。

インタフェースボードは、図のように両手で持って本体のインタフェースボード取付部上部のレールと下部の青色のレールに載せ、まっすぐに押し込みます。

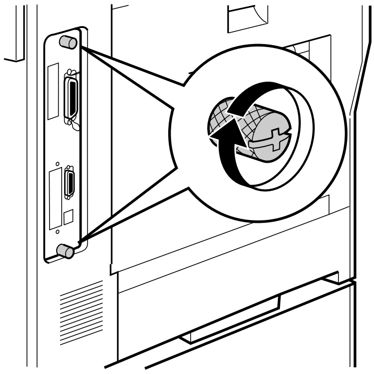


お願い

- **インタフェースボードのパネル面がプリンタ本体にぴったりと合うまでしっかりと押し込んでください。**

5

インタフェースボード上下のネジを締めて固定します。

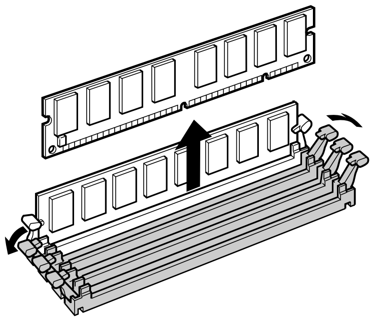


6

取り外した電源ケーブルやインタフェースケーブルを元に戻します。

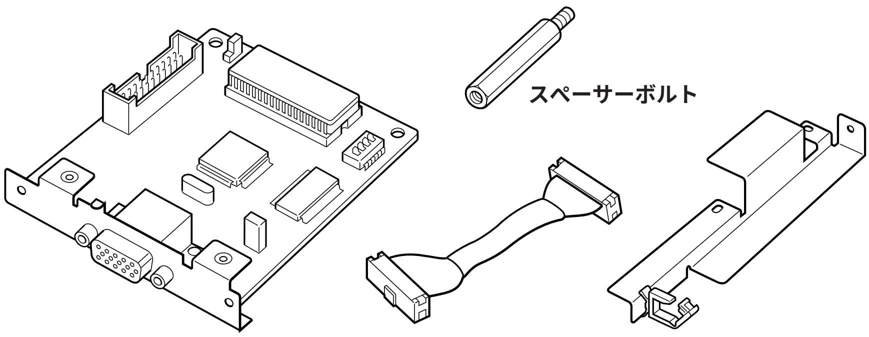
RAM を取り外すときは

スロットに取り付けた RAM は、スロットのレバーを押し下げると外れます。



オプションコントローラ

オプションコントローラは、7ビンソータや2000枚ペーパーデッキ、2×500枚ペーパーデッキ、2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L を接続する場合に必要なコントローラボードです。取り付け作業を始める前に、以下のものがパッケージにすべて揃っているか確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。



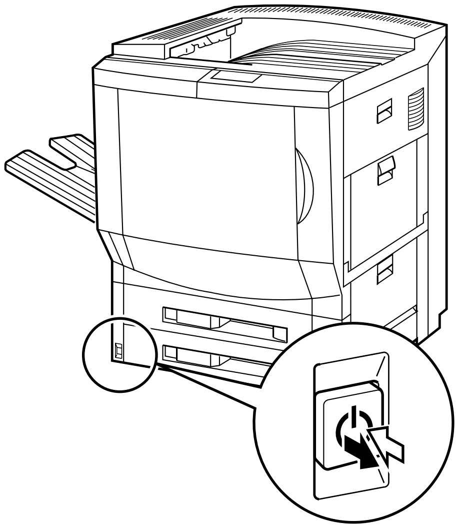
お願い

- **プリンタ本体の設置後にオプションコントローラを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、インタフェースケーブルや電源コードを取り外し、作業しやすい場所に移動して作業を行ってください。**
- **オプションコントローラやインタフェースボードには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のようなことをお守りください。**
  - **一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業をしてください。**
  - **作業中に、コンピュータのディスプレイなど、静電気を発生しやすいものに触れないでください。**
  - **基板の部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。**
  - **静電気の影響を避けるために、オプションコントローラは取り付ける直前まで袋から取り出さないでください。**

オプションコントローラは、次の手順で取り付けます。取り付けには、プラスのドライバーが必要になりますので、作業を始める前にご用意ください。

1

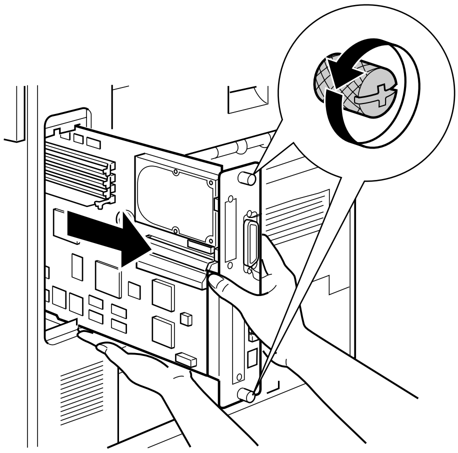
プリンタの電源スイッチをオフにし､インタフェースケーブルと電源ケーブルを取り外します。



2

インタフェースボードを､上下のネジをゆるめて抜き取ります。

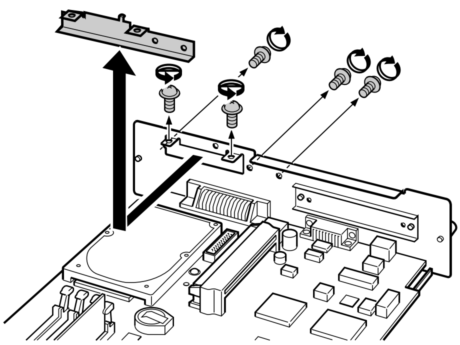
インタフェースボードのネジを緩めたらネジを持って途中まで引き出し､図のように両手で持って取り外します。



3

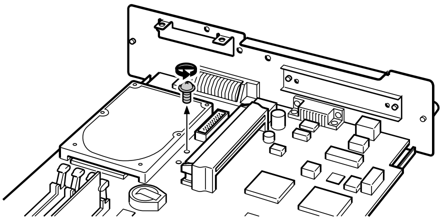
図の5本のネジを取り外し､オプションコントローラスロットカバーを取り除きます。

取り外したネジは、オプションコントローラの取り付けで必要になるので､無くさないでください。



4

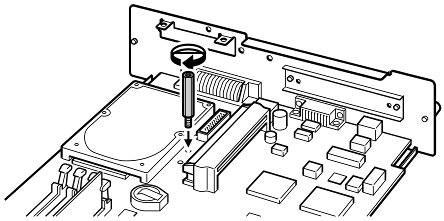
ハードディスク脇のネジを取り外します。



取り外したネジは、オプションコントローラの取り付けで必要になるので、無くさないでください。

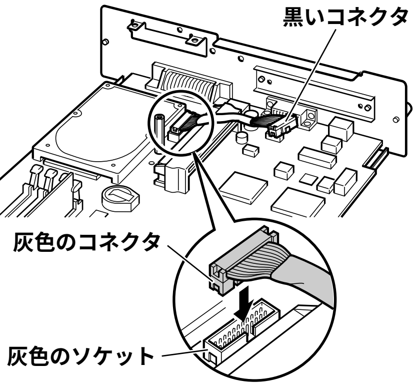
5

ネジを取り外した穴に付属のスペーサーボルトを取り付けます。



6

コネクタケーブルの灰色コネクタをインタフェースボードの灰色ソケットに取り付けます。



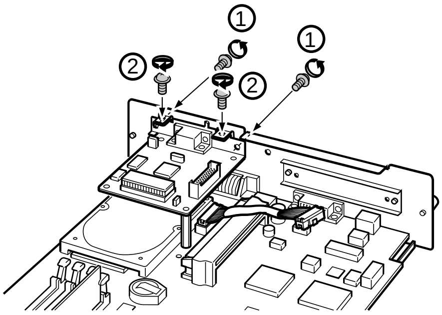
コネクタは突起のある側をスロットの切り欠きに合わせ、奥まで差し込んでください。

お願い

● コネクタは、真上からまっすぐ差し込んでください。斜めに差し込むと、端子が変形し、動作不良や故障の原因となります、

7

オプションコントローラをスロットに合わせ、手順3で取り外したネジを使って取り付けます。



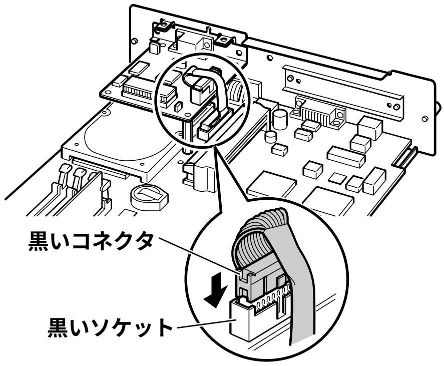
ネジは、図の順に締め付けてください。

メモ

●ネジ穴が合わせにくいときは、①ネジをいったん仮止めして②のネジを取り付けから、番号の順に締め付けてください。

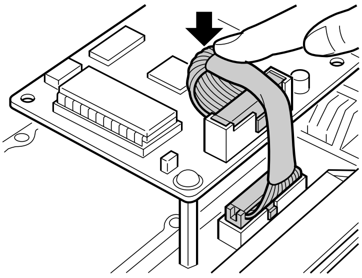
8

コネクタケーブルの黒いコネクタをオプションコントローラの黒いソケットに取り付けます。



お願い

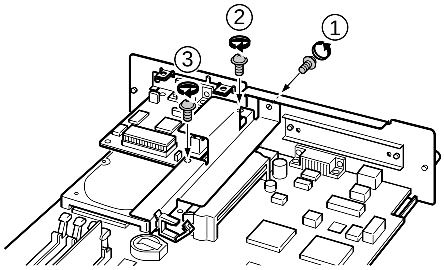
● **コネクタケーブルをオプションコントローラに取り付けたら、コネクタケーブルを図のように押してくせを付けてください。コネクタケーブルが立っていると、プロテクタープレートが取り付けにくいことがあります。**



9

保護プレートを手順*3*と*4*で取り外したネジで取り付けます。

保護プレートは、図の順番で取り付けてください。



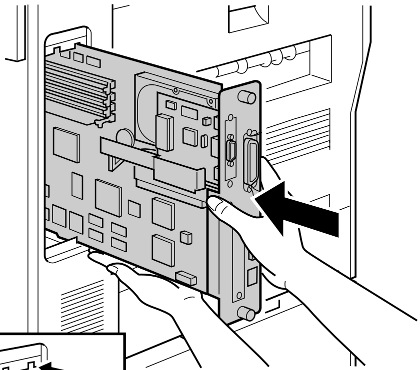
メモ

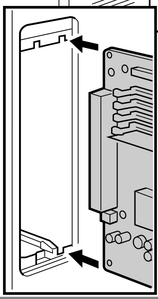
●ネジ穴が合わせにくいときは、各ネジをいったん仮止めしてから、番号の順に締め付けてください。

10

オプションコントローラを取り付けたインタフェースボードをプリンタ本体に戻します。

インタフェースボードは、図のように両手で持って本体のインタフェースボード取付部上部のレールと下部の青色のレールに載せ、まっすぐに押し込みます。



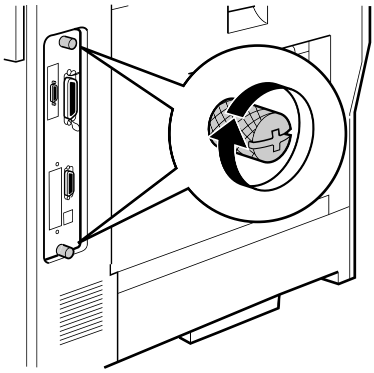


お願い

● **インタフェースボードのパネル面がプリンタ本体にぴったりと合うまでしっかりと押し込んでください。**

11

インタフェースボード上下のネジを締めて固定します。

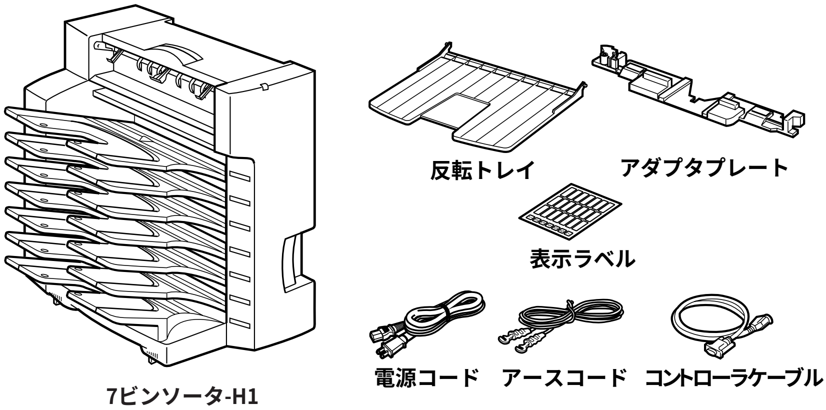


12

取り外した電源ケーブルやインタフェースケーブルを元に戻します。

7 ビンソータ

7 ビンソータは、プリンタ本体の左側に取り付けます。取り付けや紙づまり処理で7 ビンソータを引き出すことがありますので、必ず7ビンソータとプリンタは水平で障害物のない場所に設置してください。
取り付け作業を始める前に、以下のものがパッケージにすべて揃っているか確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。



お願い

- **7ビンソータを使用するときは、オプションのオプションコントローラも必要になります。オプションコントローラの取り付けについては、121 ページをご覧ください。**

梱包材の取り外し

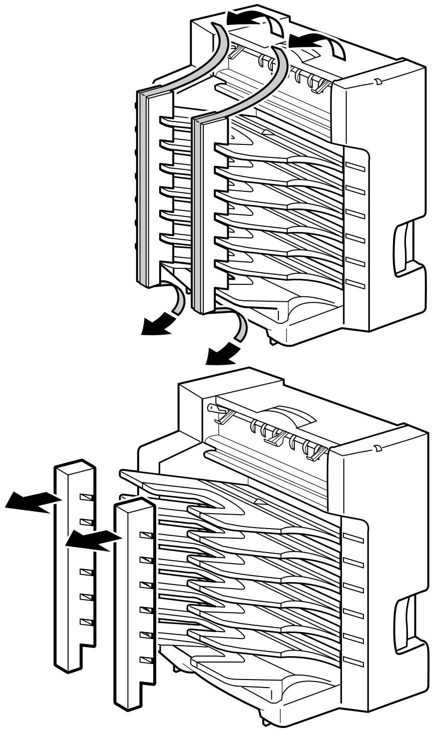
1

7ビンソータと付属部品をパッケージから取り出し、7 ビンソータを立てて置きます。

7 ビンソータは、プリンタ左側の少し離した場所に立てておいてください。

2

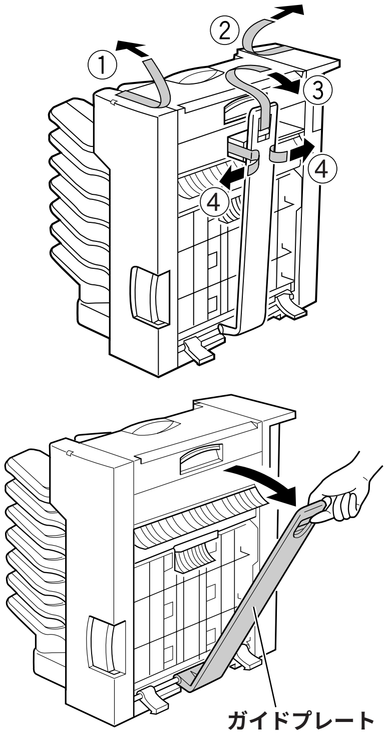
図のテープを取り外し、ビンを止めているスペーサを取り除きます。



3

7ビンソータの各部を止めているテープを図の順に取り外し、ガイドプレートを開いて、床に降ろします。

③、④のテープを取り外すときは、ガイドプレートが倒れないように押さえながら取り外してください。



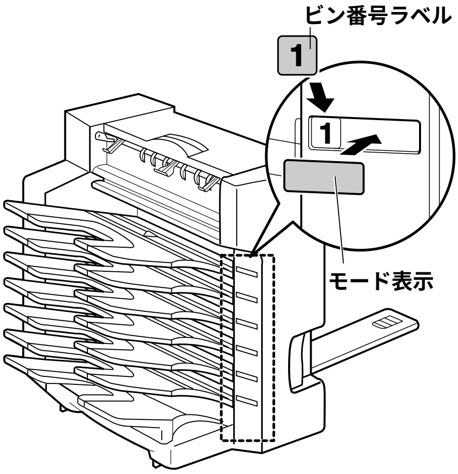
お願い

- **ガイドプレートが倒れないように押さえながら梱包材を取り外してください。**
- **7ビンソータを移動するときは、必ず取り外した梱包材でガイドプレートを固定して運搬してください。**

4

ビン番号のラベルとモード表示ラベルを7 ビンソータの側面に貼り付けます。

ビン番号ラベルは、一番上のビンから順に1～7のラベルを貼ってください。
モード表示ラベルは、使いかたに合わせて、区分を書き込んでお使いください。

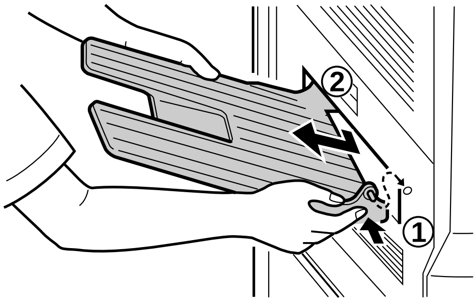


7 ビンソータの取り付け

7 ビンソータは、次の手順でプリンタに取り付けます。

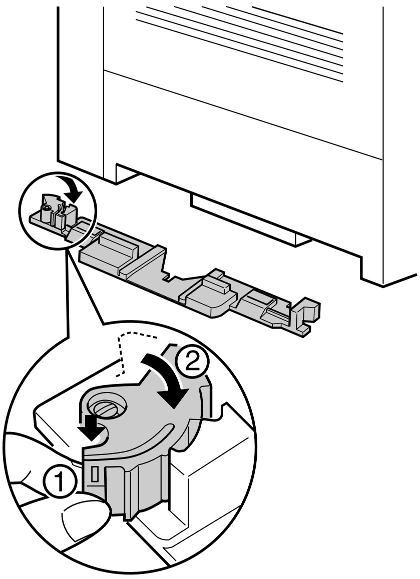
1

サブ排紙トレイの側面を押して、プリンタから取り外します。



2

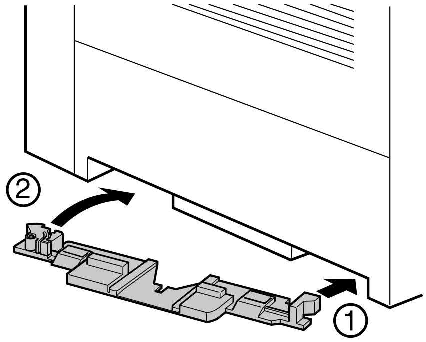
付属のアダプタプレートを図のように置き、ロックを押しながら①、ロックレバーを回して引き出します②。



3

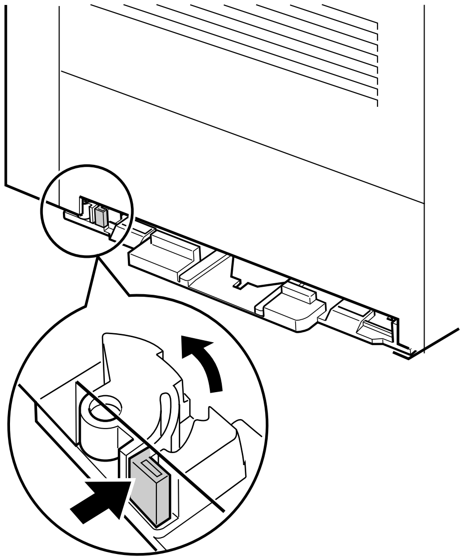
アダプタプレートを図の順でプリンタ左側の取っ手部に取り付けます。

アダプタプレートは、奥まで差し込んでください



4

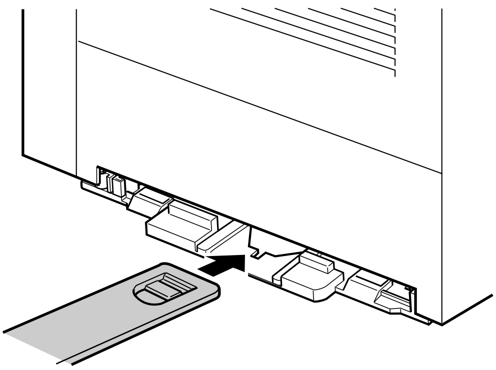
ロックレバーをロックするまで回し、アダプタプレートを固定してください。



5

7ビンソータをプリンタの横に並行に置いて、ガイドプレートをアダプタプレートに差し込みます。

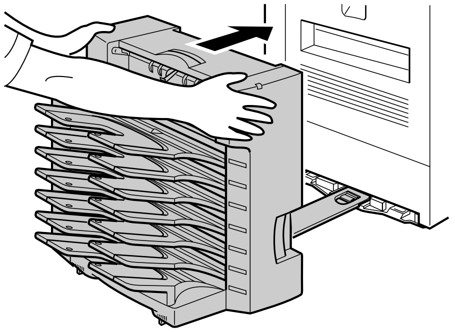
ガイドプレートが直角になるように7ビンソータの位置や向きを調整してから、ガイドプレートを差し込んでください。

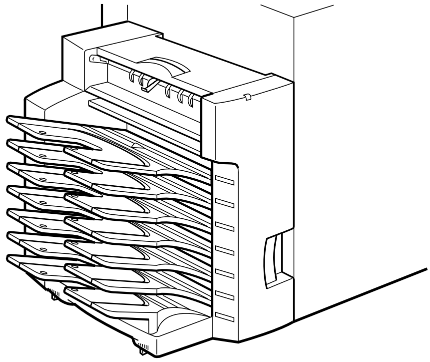


6

7ビンソータを静かに押して、プリンタに接続します。

7ビンソータは、プリンタ側面と接触するまで寄せてください。

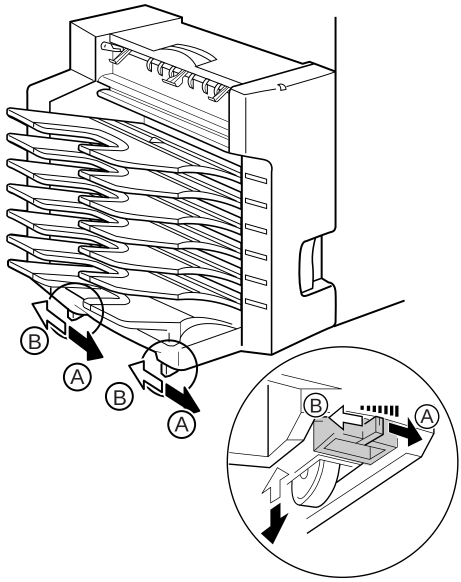




7

図の調整レバーで 7 ビンソータとプリンタの隙間を調整します。

7ビンソータとプリンタ側面の上側に隙間ができる場合は、図の調整レバーを両側共にⒶの方向へ押して、隙間がなくなるように調整してください。
7ビンソータとプリンタ側面の下側に隙間ができる場合は、図の調整レバーを両側共にⒷの方向へ押して、隙間がなくなるように調整してください。

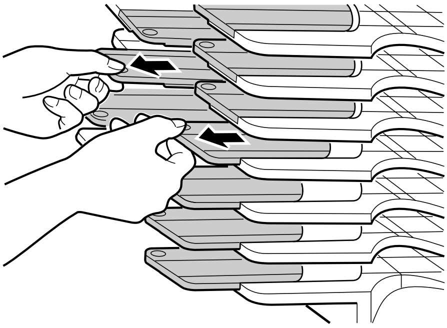


お願い

- もし、7ビンソータがプリンタに寄らない場合は、7ビンソータの向きをプリンタと並行に直してからやり直してください。7ビンソータが斜めになっていると、ガイドプレートが奥まで入りません。
- どうしても調整できない場合は、設置場所が水平で平らな場所か確認し、設置場所を見直してください。
- 調整レバーが動かしにくいときは、7ビンソータを少し持ち上げながら動かしてください。

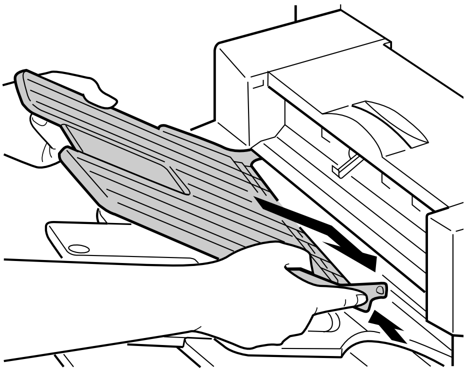
8

ビンの延長トレイを図のように両手で持ち、下のビンから順に引き出します。



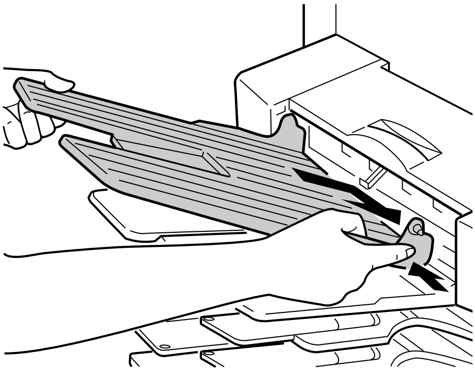
9

付属の反転トレイを図のように側面を押しながら、取り付けます。



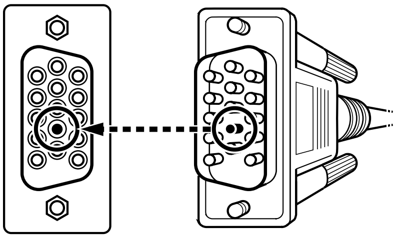
10

プリンタ本体に付属のサブ排紙トレイを図のように側面を押しながら､取り付けます。



コントローラケーブルの接続

7 ビンソータには、ピン数が 15 ピンと 14 ピンの 2つのオプションコントローラコネクタがあります。7ビンソータの取り付けが終わったら、付属のコントローラケーブルでオプションコントローラと接続します。また、2000枚ペーパーデッキや2×500枚ペーパーデッキなどのオプション機器にも同様のコネクタがあり、同様の手順でペーパーデッキから7ビンソータの順で15ピンコネクタと14ピンコネクタを接続していきます。



注意

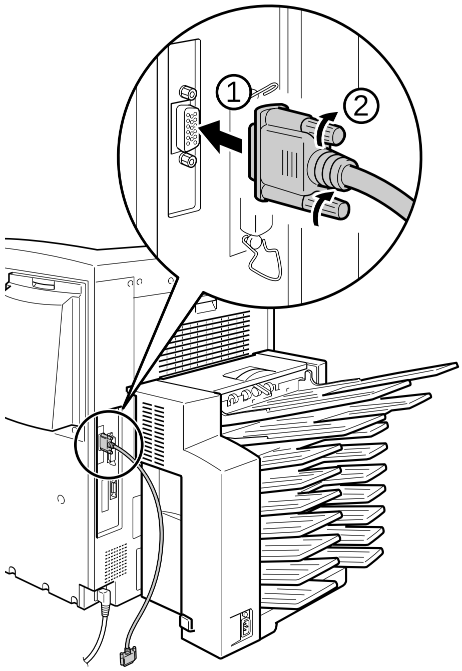
● **コントローラケーブルの接続は、必ずプリンタの電源をオフにして作業を行ってください。オンのまま作業を行うと、感電やプリンタ故障の原因となります。**

コントローラケーブルは、次の手順で取り付けます。

1

コントローラケーブルの14ピン側コネクタをオプションコントローラのコネクタ（14 ピン）に接続します。

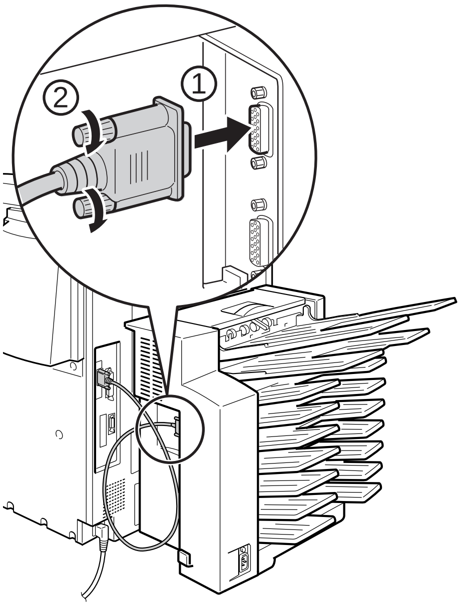
コネクタを差し込んだら①、両側のネジを締め付けて固定してください②。



2

コントローラケーブルの15ピン側コネクタを7ビンソータの15ピンコネクタ（上側）に接続します。

コネクタを差し込んだら①、両側のネジを締め付けて固定してください②。



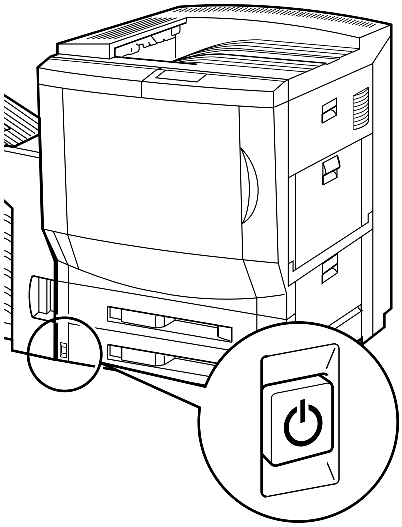
電源コードの接続

次の手順で電源コードとアースコード接続します。コンセントは、プリンタ本体とは別に必要となります。

1

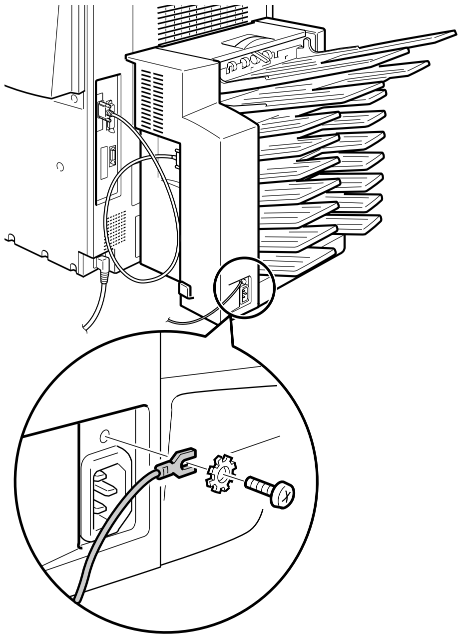
プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認してください。

電源スイッチは、飛び出した状態になっています。



2

7ビンソータの電源コード接続部にアースコードを取り付けます。

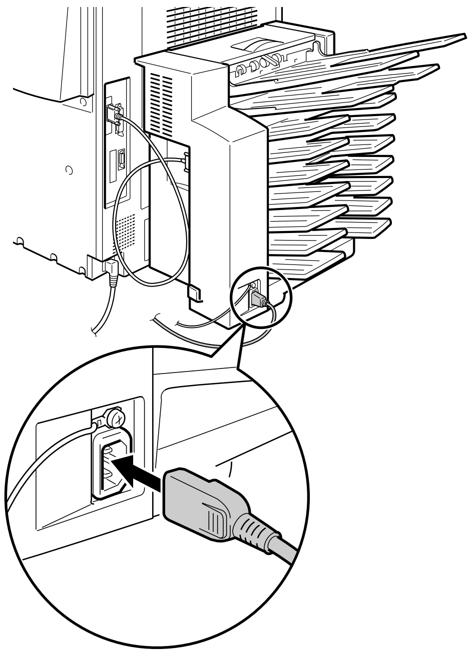


お願い

● アースコードが、電源コード接続部にかからないようにアースコードの向きに注意してください。

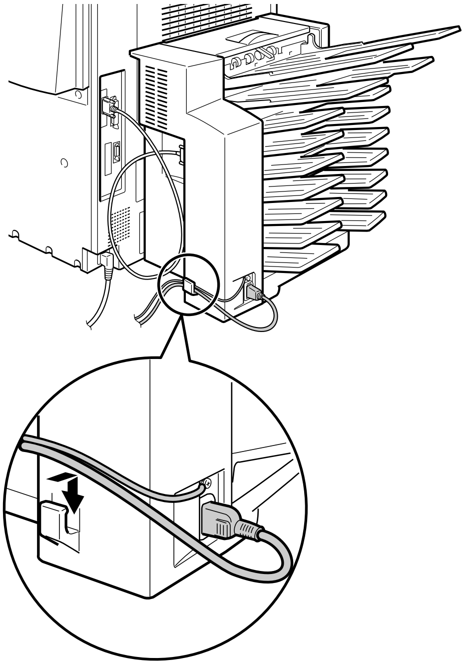
3

7ビンソータの電源コード接続部に電源コードを取り付けます。



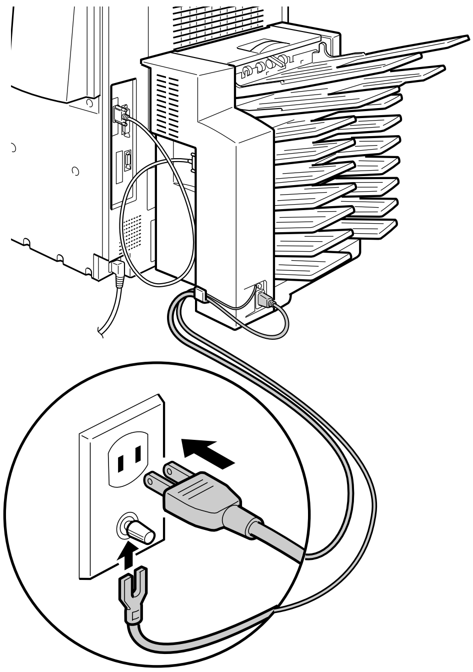
4

電源コードとアースコードをコードホルダに通します。



5

電源コードをコンセントに接続します。



注意

● **必ず、アースコードを接続してください。**

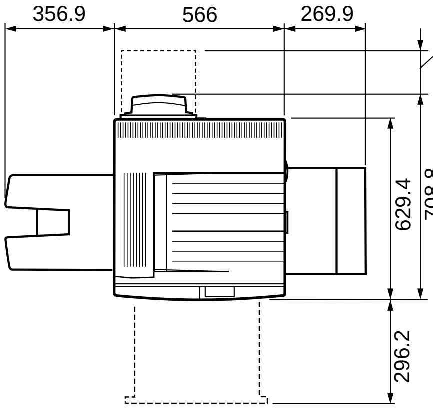
付録

各部の寸法

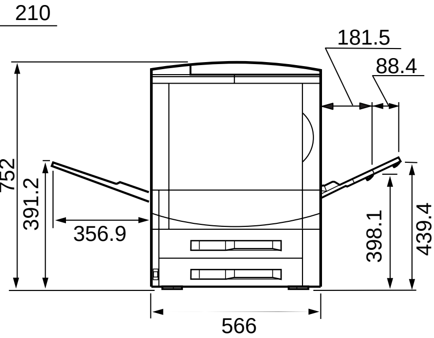
■プリンタ本体

●標準仕様

（単位は mm）



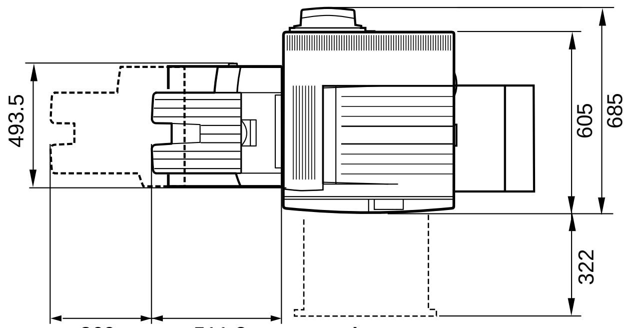
上面



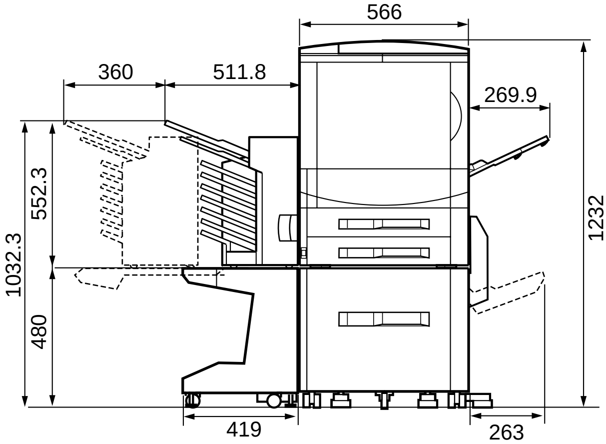
前面

●オプション装備仕様

（単位は mm）



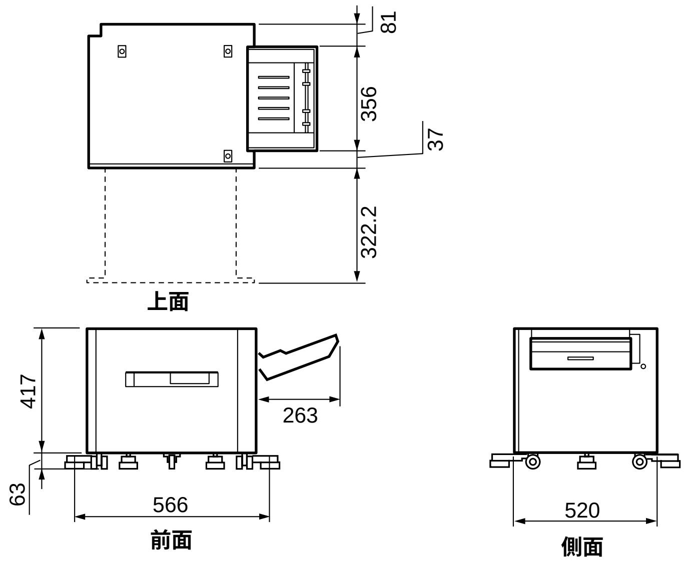
上面



前面

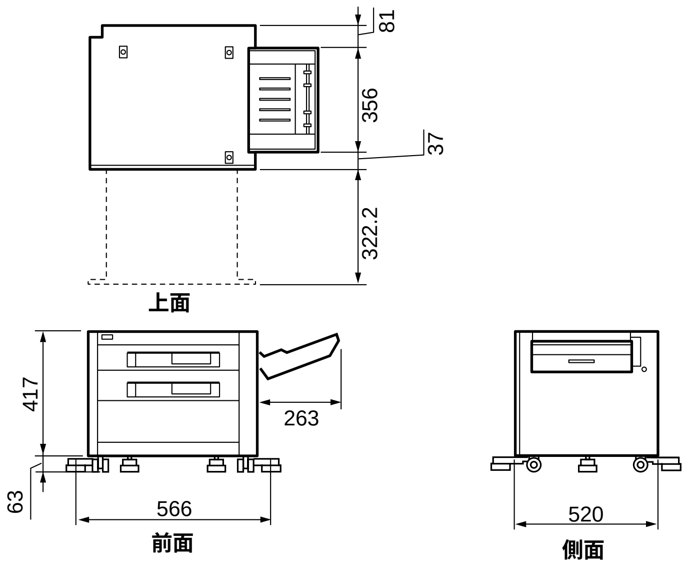
■ 2000 枚ペーパーデッキ

（単位は mm）



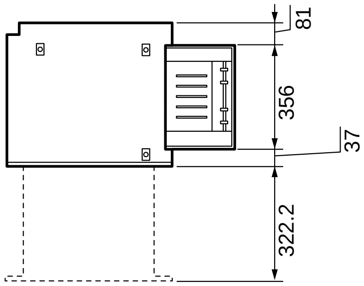
■ 2 × 500 枚ペーパーデッキ

（単位は mm）

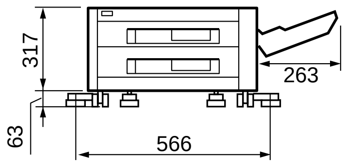


■2×500枚ペーパーデッキ-C1L

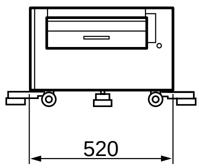
（単位はmm）



上面



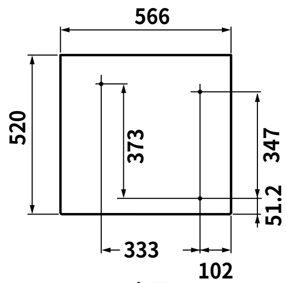
前面



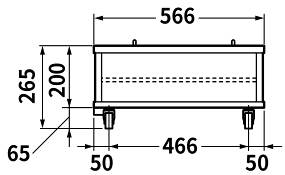
側面

■ペディスタル

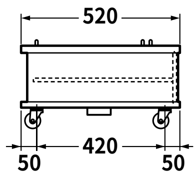
（単位はmm）



上面



前面

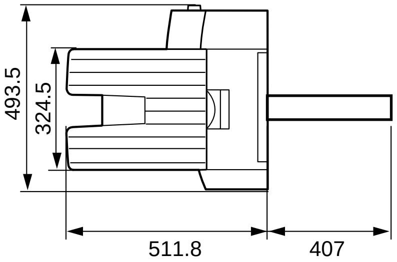


側面

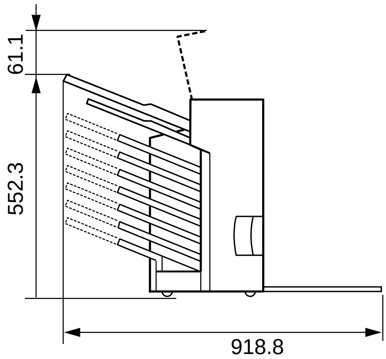
付録

■ 7 ビンソータ

（単位は mm）



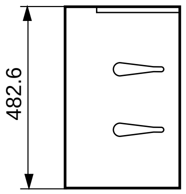
上面



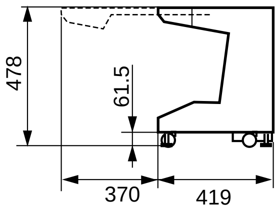
前面

■ 7 ビンソータ用ペディスタル

（単位は mm）



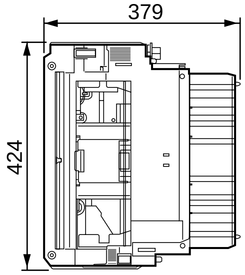
上面



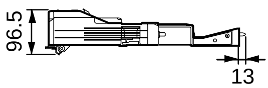
前面

■両面ユニット

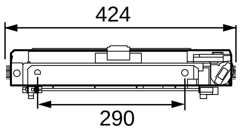
（単位は mm）



上面



前面



側面

付録

索引

付録

ナ行

ハ行

ヤ行

ラ行

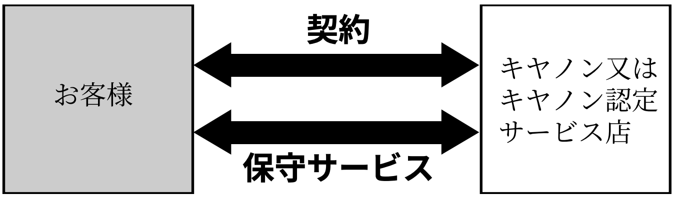
保守契約制度のご案内

ご購入製品をいつまでもベストの状態で ご使用いただくために

このたびはレーザショットプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザショットプリンタの無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キヤノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持・管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ便利でお得な当制度に是非ともご加入いただき、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）



精密機器だからこそ保守契約が必要です

ご購入いただきました機械は精密機器です。この機械は大切な情報の計算、記録、保管、伝達等の目的でご購入いただいております。万一にでも、思いがけないトラブルが発生した場合、お仕事の上に時間的なロス等の不便が生じます。そこでトラブルが起こってからではなく、トラブルを未然に防ぐために日頃の専門的な「手入れ」が必要になります。この「手入れ」をキヤノンでは保守契約制度で完全に実施いたします。また、万一のトラブルにも「サービスエンジニア」が修理にあたる万全の体制を備えています。

＊保守契約制度は、キヤノン製品を安心してお使いいただくために設けたお客様のための制度です。
＊トナーカートリッジ、などの消耗品は保守契約の対象外です。

付録

本製品には、無償保証期間後の保守契約制度として、A方式（定期交換部品代金を含まない方式）とB方式（定期交換部品代金を含む方式）を用意しています。本保守契約制度にご加入いただきますと、ただちに「お客様用カルテ」を作成し、コンピュータに登録を行い、ご愛用品の「健康管理」を開始いたします。

キヤノン保守契約制度の内容およびメリット

内　容	メリット
●定期点検の実施 **キヤノン認定のサービスエンジニアが定期的に機械の保守点検を実施します。** （製品により定期点検回数が異なります。また、一部定期点検を設けていない製品もあります。）	**トラブルの発生を未然に防止することで、製品の信頼性を高め、更に製品の寿命も伸びます。**
●優先サービス **万一トラブルが発生した場合には、最優先のサービスが受けられます。**	**トラブル時の業務停止時間を最小限に押さえます。**
●保守契約料金は一定 **保守契約料金は契約時に定額を支払うだけです。**	**サービス費用の予算がたてやすく、また事務の簡素化が計れます。**
●修理料金は無料 **保守契約料金には定期点検と偶発的に発生したトラブル時の訪問料金、部品代、技術料等いっさいを含んでおります。（B方式）**	**契約期間中に発生したトラブルは、その内容や回数にかかわらず無料です。（B方式）** （但し天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。）
●スポット料金より割安 **トラブルの内容により保守契約料金より１回のスポット料金の方が高い場合もあります。**	**スポット料金より年間維持経費は大巾に割安になります。**
●定期交換部品の交換料金は無料 **（A方式は部品代のみ有償）** **本プリンタでは、定着器、中間転写体ユニット、オゾンフィルタなどの定期交換を行います。定期交換部品の詳細については、ユーザーズガイド「定期交換部品のご案内」をご覧ください。**	**契約期間中に定期交換が発生した場合は、その内容や回数にかかわらず無料です。** （但し、機種により一部特定部品は有償。天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。）

購入時契約のおすすめ

ご愛用品は原則として保守契約に加入してご使用願うことになっております。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。

キヤノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキヤノン販売（株）までお願いいたします。

付録

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、パソコンをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はパソコン、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

この印刷物はエコマーク認定の再生紙を使用しています。